DIGITAL CAMERA

FinePix S5200

使用説明書/ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ
ファインピックス S5200および付属のソフトウェアの使い方が
まとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/または http://www.finepix.com/

BL00484-100（1） J

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

重　要

お客様へ…ご使用になられる前に必ずお読みください。

ご注意：CD-ROMのパッケージ開封前に必ずお読みください。

富士写真フイルム株式会社がお客様に提供するCD-ROMのパッケージ開封前に必ず本ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。お客様は、本ソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合にのみ、CD-ROMに記録されたソフトウェアを使用できます。
お客様がCD-ROMのパッケージを開封された場合、お客様は本ソフトウェア使用許諾契約書に同意されたものとみなします。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様と富士写真フイルム株式会社（以下富士フイルムといいます）は、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROMに記録されたソフトウェアの使用につき、以下のとおり契約します。富士フイルム以外の事業者のソフトウェアで、本契約とは別の使用許諾契約が付されたソフトウェアの使用については、当該使用許諾契約の規定が本契約に優先するものとします。

１．定義
(１)本CD-ROMとは、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROM「Software for FinePix」を指します。
(２)本ソフトとは、富士フイルムがお客様に提供する、本CD-ROMに記録されたソフトウェアを指します。
(３)関連資料等とは、富士フイルムがお客様に提供する本ソフトの使用説明書その他本ソフトに関する資料を総称して指します。
(４)本製品とは、富士フイルムが提供する本CD-ROMと関連資料等を総称して指します。

２．使用権の許諾
富士フイルムはお客様に対し、本ソフトに関する以下の非独占的、譲渡不能の権利を許諾します。
①機械読み取り可能な形式で、１台のコンピュータに本ソフトをインストールし、使用する権利
②バックアップ目的にて本ソフトを１部に限り複製する権利

３．禁止事項
(１)お客様は富士フイルムの事前の書面による承諾なく、本ソフト、本CD-ROMおよび関連資料等の第三者への譲渡、貸与または占有の移転その他の処分をし、また富士フイルムより許諾された権利を第三者に再許諾等してはいけません。
(２)お客様は、本契約にて明示的に認められた場合を除き、本ソフトおよび関連資料等を複製してはいけません。
(３)お客様は、本ソフトおよび関連資料等を改変・変更・翻案し、また本ソフトおよび関連資料等に付された著作権表示その他財産権の表示を削除してはいけません。
(４)お客様は、本ソフトのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをしてはいけません。また第三者をしてこれらの行為をさせてはいけません。

４．著作権その他の知的財産権
本ソフトおよび関連資料等に関する著作権その他の知的財産権は、富士フイルムまたは本ソフトおよび関連資料等に記載された権利者に帰属します。本契約によりお客様に許諾された場合を除き、明示または黙示を問わずいかなる権利もお客様に譲渡されまたは許諾されません。

５．保証および免責
(１)お客様が本製品をお買上げ後90日以内に本CD-ROMに読み取り不能等の物理的欠陥が見つかった場合、富士フイルムは無償にて良品と交換します。
(２)本製品による第三者の著作権その他知的財産権の侵害の有無に関し、富士フイルムは何ら保証を行わないものとし、本製品の使用による第三者の著作権その他知的財産権の侵害およびそれによって生じるすべての損害につき、富士フイルムは一切責任を負いません。
(３)本製品は提供時の状態のままお客様に提供されるものです。富士フイルムは、第(１)項に定めるほか、商品性の保証、特定目的への適合性その他本製品につき、一切保証しません。

6．責任の制限
富士フイルムは、「5．保証および免責」に明記されている場合を除き、いかなる場合においても、本製品の使用や使用不能から生じる損害（逸失利益、付随的、特別あるいは結果的な損害を含みますがこれに限りません）について一切責任を負いません。

7．輸出関連法の遵守
お客様は、本ソフトを日本国の「外国為替及び外国貿易法」その他の輸出規制関連法に違反して日本国外に持ち出す等の行為を行ってはなりません。

8．解除
お客様が本契約に違反した場合は、富士フイルムは何らの通知・催告をすることなく直ちに本契約を解除することができます。

9．契約期間
本契約は、お客様が本ソフトの使用を開始した日に発効し、「8．解除」に基づき本契約が解除され、またはお客様が本ソフトの使用を終了するときまで有効とします。

10．契約終了後の義務
本契約が終了した場合、お客様はお客様の責任にて本ソフト（複製物を含む）、本CD-ROMおよび関連資料等をすべて消去・廃棄するものとします。

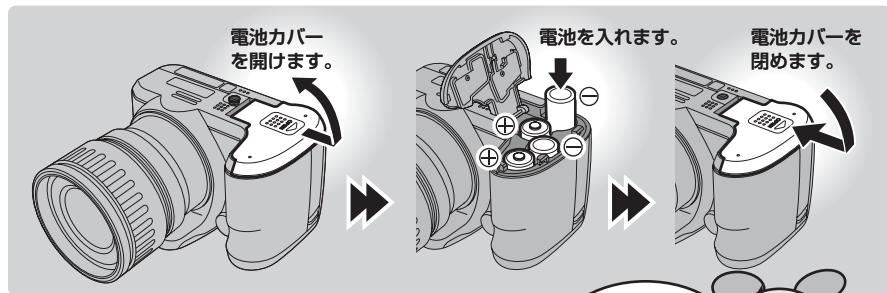
本製品に同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。
耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

本書はパーソナルコンピュータ（以下パソコンといいます）とWindows、Macintoshの使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。
パソコンとWindows、Macintoshの使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。
表示される画面やメニューが本書と異なる場合がありますがご了承ください。

FinePix 簡単操作ガイド

このガイドで基本的な使い方を覚えて、さっそく写真を撮ってみましょう。

1. まずは準備から…

電池を入れる（➡P.13）

電池カバーを開けます。

電池を入れます。

電池カバーを閉めます。

電池もメディアも入れる向きが大事なわけね！

xD-ピクチャーカード（別売）を入れる（➡P.14）

スロットカバーを開けます。

金色のマークと接触面をあわせる。

xD-ピクチャーカード（別売）を入れます。

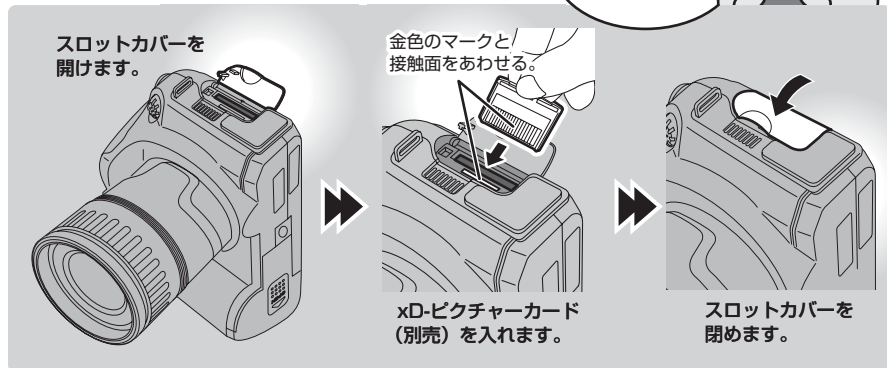
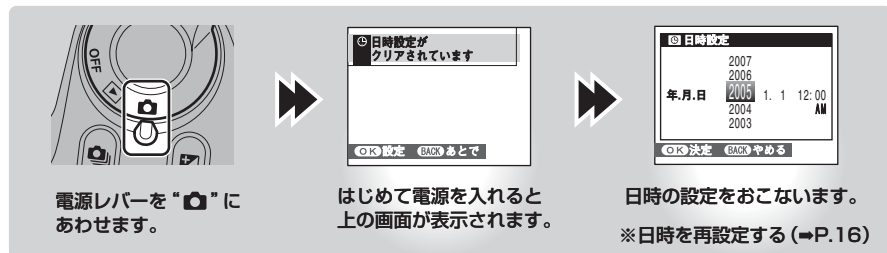
スロットカバーを閉めます。

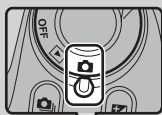
電源を入れる/日時を設定する（➡P.15）

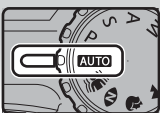
電源レバーを“📷”にあわせます。

はじめて電源を入れると上の画面が表示されます。

日時の設定をおこないます。

※日時を再設定する（➡P.16）

2. 撮影してみましょう

“カシャ”って
いった…？

❶電源レバーを
“ ”にあわせます。

❷モードダイヤルを
“ AUTO ”にあわせます。

❸撮りたいものにカメラを向けましょう。

構図が決まったら、
シャッターを半押しして
ピントを合わせましょう。

ピピッ

そのままシャッター
ボタンを奥まで押し込む
と、画像が記録されます。

カシャ

3. 撮影した画像を見てみましょう

※詳しいこと、わからないことは本編で確認しましょう。

目　次

1 準備編

2 使ってみよう編

3 応用編

◆静止画を撮影する

◆再生

1
2
3
4
5
6

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを
大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。
＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意
あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録された xD-ピクチャーカード の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について
液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合：
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意
- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

■製品の取り扱いについて
本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について
- xD-Picture Card、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™は富士写真フイルム（株）の商標です。
- Macintosh、iMac、iBook、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

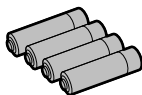
直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところでの本機の使用および保管は避けてください。

カメラの特長/付属品

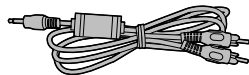
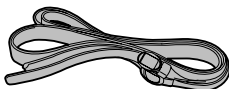
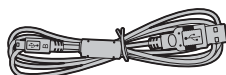
カメラの特長

●第5世代スーパーCCDハニカム HR
微細加工技術を駆使した新世代のスーパーCCDハニカム HRを搭載し高画素化しました。
さらに新開発の画像処理エンジン「リアルフォトエンジン」を搭載し高画質化しました。
●高倍率光学10倍ズームレンズ搭載
●ナチュラルフォトモード
光量の少ないシーンでも、目で見たままの雰囲気を美しく撮影できます。
また、フラッシュを使えない場所での撮影にも適したモードです。
●FinePix Photo mode（ファインピックスフォトモード）
静止画撮影中にフォトモード“**F**”ボタンを押すと、ピクセル（記録画素数）、感度やFinePixカラーの設定画面を直接呼び出すことができ、簡単に設定の変更が可能です。
再生中に押すと、プリント予約（DPOF）の設定ができ、プリントするコマや枚数を簡単に設定することが可能です。

付属品

●単3形アルカリ乾電池 LR6（4本）

●ストラップ（1本）

●レンズキャップ（1個）

●専用A/V（音声／映像）ケーブル（1本）
φ2.5mmミニミニプラグ×ピンプラグ

●USBケーブル(mini-B)（1本）

●CD-ROM（1枚）
Software for FinePix CX

●使用説明書（本書1部）

●安全上のご注意（1部）

●保証書（1部）

各部の名称

＊(　)内のページに詳しい説明があります。

【モードダイヤル】

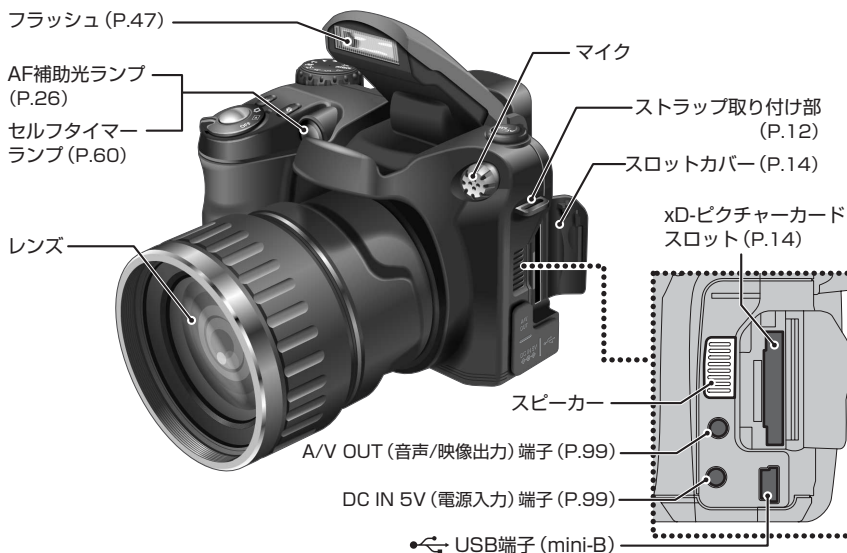
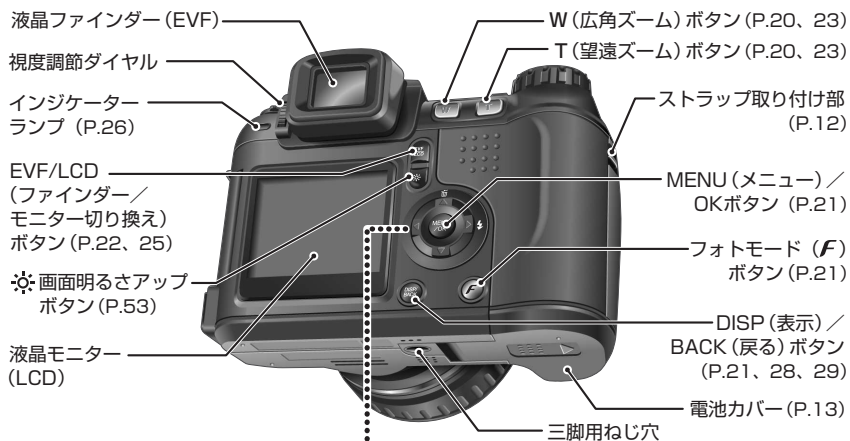
静止画撮影

AUTO オート(P.38)
ブレ軽減(P.38)
ナチュラルフォト(P.38)
人物(P.38)
風景(P.38)
夜景(P.38)

P プログラムオート(P.39)
S シャッター優先オート(P.40)
A 絞り優先オート(P.41)
M マニュアル(P.42)

動画撮影

動画(P.85)

フラッシュ (P.47)
AF補助光ランプ (P.26)
セルフタイマーランプ(P.60)
レンズ
マイク
ストラップ取り付け部 (P.12)
スロットカバー(P.14)
xD-ピクチャーカード スロット(P.14)
スピーカー
A/V OUT (音声/映像出力) 端子 (P.99)
DC IN 5V (電源入力) 端子 (P.99)
USB端子 (mini-B)

▲▼◀▶（十字）ボタン（P.21）

【撮影時】◀／（マクロ）ボタン（P.46）
▶／（フラッシュ）ボタン（P.47）

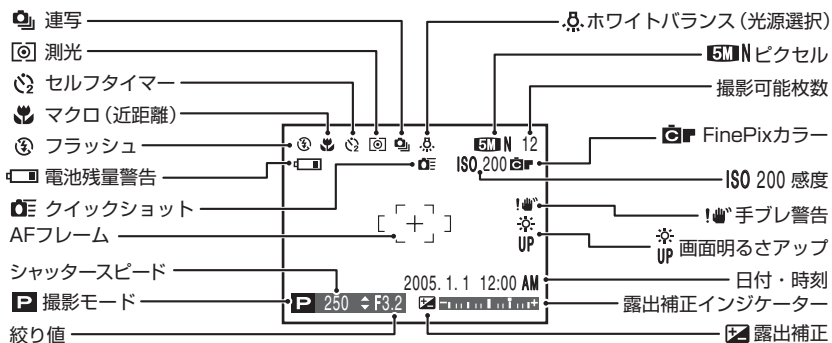
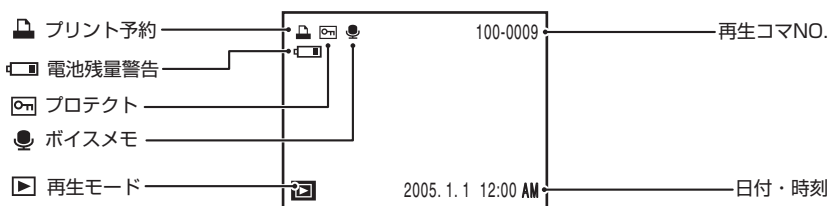
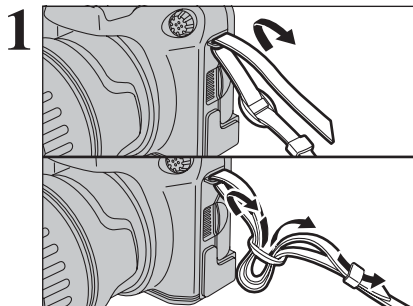
【再生時】▲／（1コマ消去）ボタン（P.33）

画面の文字表示例

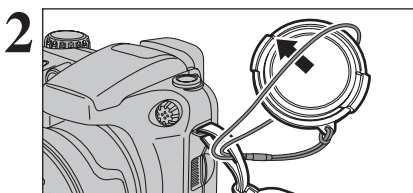
■静止画撮影モード

■再生モード

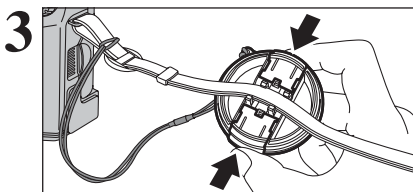
ストラップ、レンズキャップを取り付ける

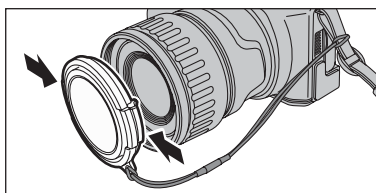
1

ストラップをストラップ取り付け部に取り付けます。両端を取り付けたら、ストラップが外れないことを十分にご確認ください。

❗ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかり取り付けてください。

2

レンズキャップのヒモをストラップに通して取り付けます。

❗レンズキャップをなくさないように、ヒモの取り付けをおすすめします。

3

レンズキャップの取り付け

撮影時はレンズキャップの写り込みを防ぐため、レンズキャップをストラップに取り付けます。

レンズキャップは両側を押しながら取り付け、取り外しをします。

電池を入れる

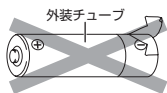
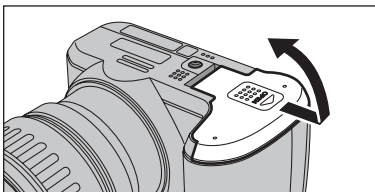
使用する電池

●単3形アルカリ乾電池（4本）、または別売の単3形ニッケル水素電池（4本）

! 単3形アルカリ乾電池は付属のものと同銘柄のご使用をおすすめします。

◆電池について◆

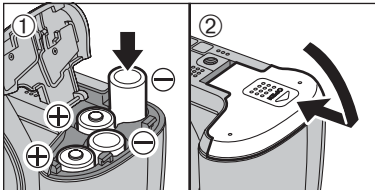
外装チューブ

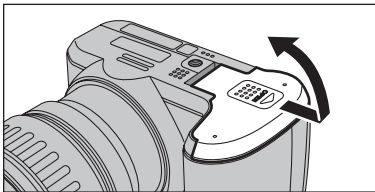
- 電池の液もれ、発熱により重大な事故の原因になるため、以下の電池は絶対に使用しないでください。
  1. 外装チューブが破れたりはがれたりしている電池
  2. 種類の違う電池や、新しい電池と使用した電池を混ぜての使用
- マンガン乾電池やニカド電池は使用しないでください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、使用可能時間が極端に短くなることがあります。
- 単3形アルカリ乾電池（以下アルカリ乾電池）は銘柄により使用可能時間に差があり、付属のアルカリ乾電池に比べ、使用可能時間が短い場合があります。また、アルカリ乾電池はその特性上、低温環境（0℃～＋10℃）では使用時間が短くなるため、単3形ニッケル水素電池の使用をおすすめします。
- 単3形ニッケル水素電池は、別売の充電器で充電してください。
- **電池についてのご注意は140、141ページをご参照ください。**
- **お買い上げ時や長い間使用しなかった単3形ニッケル水素電池は、使用可能時間が短くなることがあります。詳細については141ページをご参照ください。**

1

電源が切れていること（電源レバーがOFFになっていること）を確認してから、電池カバーを開けます。

! 電源が入った状態で電池カバーを開けると、電源が切れます。

! 電池カバーに無理な力を加えないでください。

電池カバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。 xD-ピクチャーカード または画像ファイルなどが壊れることがあります。

2

①電池を表示に従って正しく入れます。
②電池カバーで電池を押しながら、電池カバーをスライドさせて閉めます。

◆電池を交換したいときは◆

必ず電源を切ってから電池カバーを開け、電池を取り出してください。

! 電池カバーを開閉するときは、電池を落とさないようにご注意ください。

xD-ピクチャーカード™を入れる

使用する xD-ピクチャーカード™（別売）

●DPC-16（16MB）●DPC-64（64MB）●DPC-256（256MB）●DPC-M512（512MB）
●DPC-32（32MB）●DPC-128（128MB）●DPC-512（512MB）●DPC-M1GB（1GB）

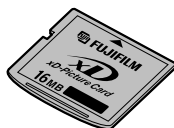
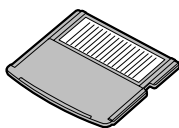
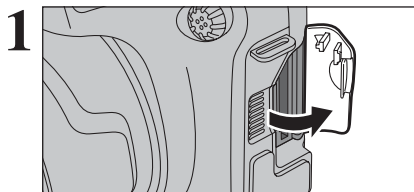



表　　　裏

❗本カメラでの動作保証は弊社製 xD-ピクチャーカード のみとなります。

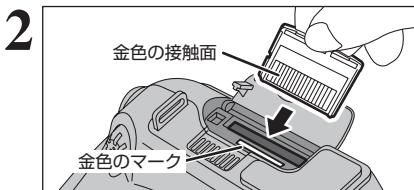
❗ xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

❗ xD-ピクチャーカード についてのご注意は144ページをご参照ください。

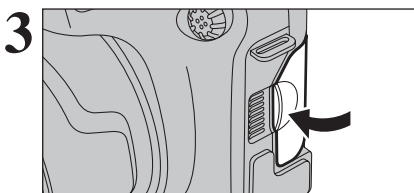
1

電源レバーを “OFF” に合わせてから、スロットカバーを開けます。

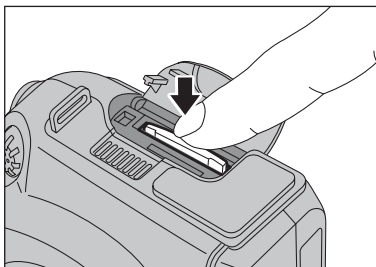
❗電源が入った状態でスロットカバーを開けると電源が切れます。

スロットカバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。 xD-ピクチャーカードまたは画像ファイルなどが壊れることがあります。

2

指標どうしが向き合うようにして、xD-ピクチャーカードスロットに **xD-ピクチャーカード** を確実に奥まで差し込みます。

❗ xD-ピクチャーカード の向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

3

スロットカバーを閉めます。

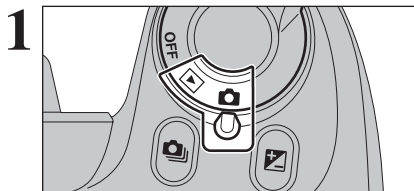
◆ xD-ピクチャーカード を交換したいときは◆

xD-ピクチャーカード を押し込んだあと静かに指を戻すと、ロックが外れて **xD-ピクチャーカード** が押し出されます。
押し出されたあと、 **xD-ピクチャーカード** を引き出すことができます。

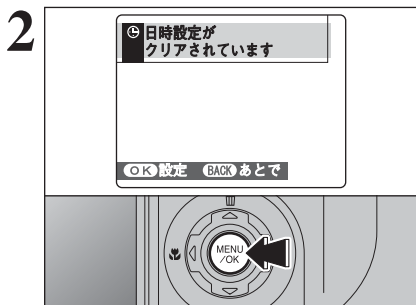
❗ xD-ピクチャーカード を保管するときは、専用ケースまたは専用キャリングケースに入れてください。

❗ロックが外れた直後に xD-ピクチャーカード から急に指を離すと、 xD-ピクチャーカード が飛び出す場合がありますのでご注意ください。

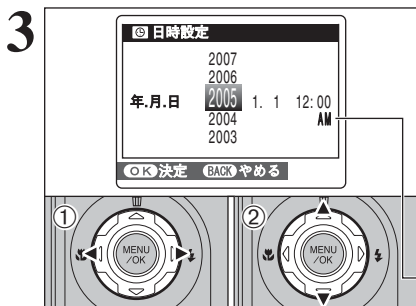
電源を入れる/切る、日時の設定をする

※日時の再設定（➡16ページ）

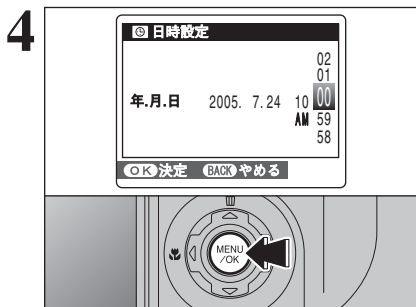
1

電源を入れるには電源レバーを“📷”または“▶”に合わせます。
電源を切るには“OFF”に合わせます。

2

ご購入後初めて電源を入れると、日時がクリアされています。
“MENU/OK”ボタンを押して日時を設定します。

- 電池を取り外してカメラを長期間保管したときも確認画面が表示されます。
- あとで設定するときは“DISP/BACK”ボタンを押します。
- 日時を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。

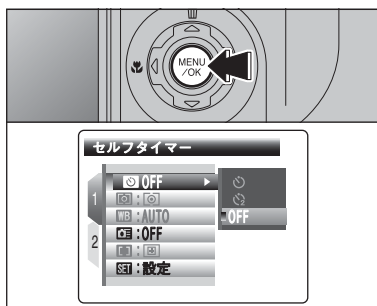
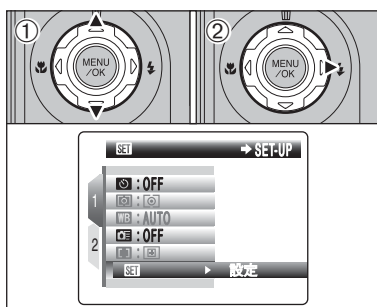
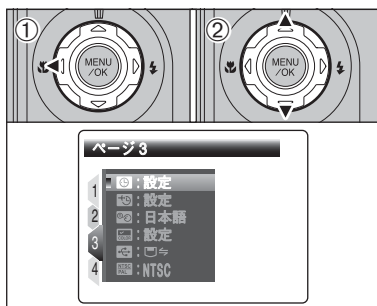
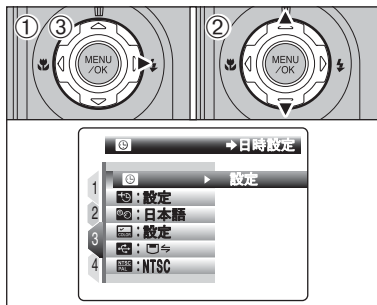
3

①“◀▶”で年、月、日、時、分を選びます。
②“▲▼”で設定します。

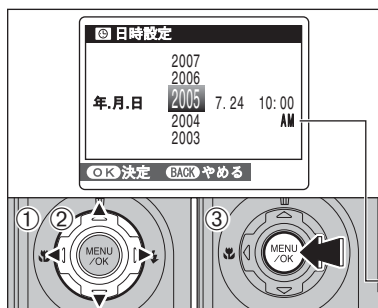
- “▲”または“▼”を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時設定で“12”を越えると、自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。

4

日時を設定したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押します。
決定すると撮影または再生モードになります。

- ご購入時および長時間電池を抜いて放置したあとは、日時設定などの各種設定がクリアされてしまいます。各種設定は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約2時間以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約6時間保持されます。

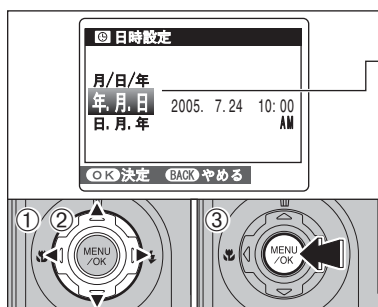
日時の再設定をする、日付の並び順を変更する

1 “MENU/OK” ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ①“▲▼” で “SET” SET-UPを選びます。
②“▶” を押します。

3 ①“◀” でページ番号に移ります。
②“▲▼” で “ページ3” を選びます。

4 ①“▶” で項目に移ります。
②“▲▼” で “⏲” 日時設定を選びます。
③“▶” を押します。

5

日時を再設定するには

①"◀▶" で年、月、日、時、分を選びます。
②"▲▼" で設定します。
③設定が終了したら、必ず "MENU/OK" ボタンを押します。

"▲" または "▼" を押し続けると、数字が連続して変わります。

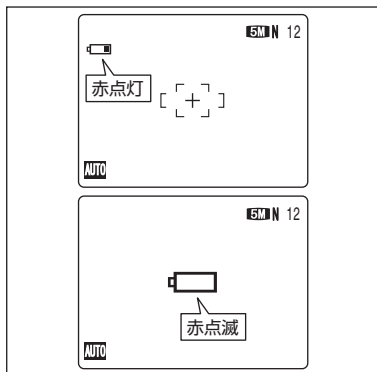
時設定で "12" を越えると、自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。

日付の並び順を変更するには

①"◀▶" で "日付の並び順" を選びます。
②"▲▼" で並び順を設定します。設定については下記の表を参照してください。
③設定が終了したら、必ず "MENU/OK" ボタンを押します。

日付の並び順	設定例
年.月.日	2005.7.24
月/日/年	7/24/2005
日.月.年	24.7.2005

電池残量の確認をする

電源を入れ、電池残量を確認します。

①電池の残量はあります。
②電池の残量が少なくなっています。
新しい電池を準備してください。
③電池の残量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。
電池を交換してください。

“[電池アイコン]”は画面の左端に小さく表示されます。
“[電池アイコン]”は画面に大きく表示されます。

上記は撮影モードでの目安です。モードや電池の種類によっては“[電池アイコン]”から“[電池アイコン]”になるまでの時間が短くなることがあります。

温度が低いところで使用したとき、電池の特性上電池残量不足“[電池アイコン]”が早く表示される場合があります。故障ではありません。電池をポケットなどで温めて使用することをおすすめします。

＊電池残量表示

1）カメラの動作状態により消費電力は大きく変化します。このために、再生モードでは電池残量表示“[電池アイコン]、[電池アイコン]”が出ていなくても、撮影モードでは表示が出る場合があります。
2）電池の消耗の度合いや電池の種類によっては、電池残量表示が出ないでカメラの電源が切れることがあります。一度、電池切れになった電池を再使用した場合にはこの現象が起こりやすくなります。

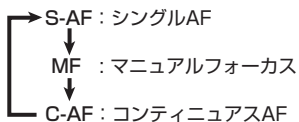
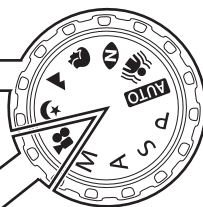
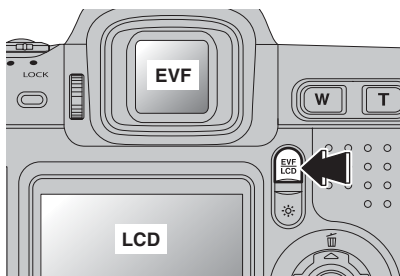
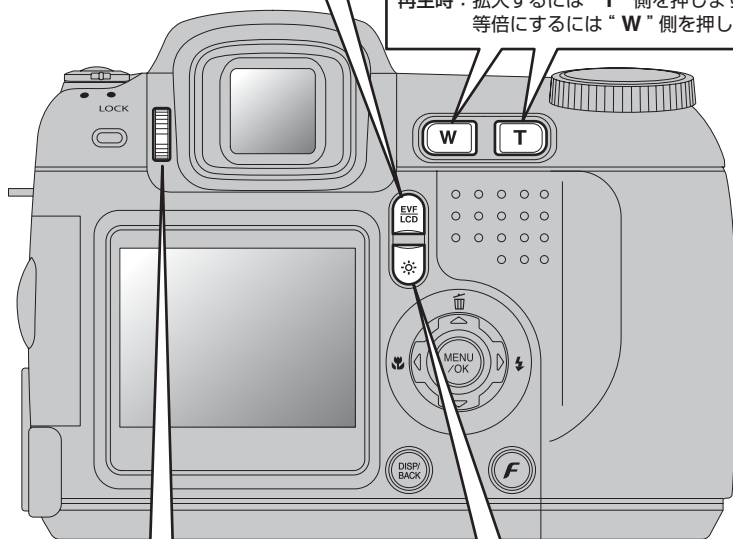
上記の2)の場合は、新しい電池または充電済みの電池にすぐに交換してください。

◆オートパワーオフ機能◆

オートパワーオフ機能は2分間（5分間）操作しないと自動的に電源が切れます（➡96ページ）。
電源を入れ直すには、いったん電源レバーを“OFF”に合わせ、再度“[カメラアイコン]”または“[再生アイコン]”に合わせます。

基本操作ガイド

準備編をお読みいただき、撮影の準備が終わっていることと思います。
使ってみよう編では、「撮る」➡「見る」➡「消す」という基本操作を説明していきます。

本カメラの機能について説明します。

EVF/LCD(モニター切り換え)ボタン
"EVF/LCD" ボタンを押すたびにファインダー(EVF)と液晶モニター(LCD)が切り換わります。
撮影状況に応じて使用します。
EVF
LCD
LOCK
W
T
EVF LCD
ズームボタン
撮影時：望遠にするには " T " 側を押します。
広角にするには " W " 側を押します。
再生時：拡大するには " T " 側を押します。
等倍にするには " W " 側を押します。
MENU /OK
DISP/ BACK
視度調節ダイヤル
ファインダー内の像を見やすくします。AFフレームが最もシャープに見える位置に合わせてください。
(画面の明るさアップ)ボタン
画面の明るさを一時的に明るくします。

◀▶ボタン

撮影時：◀ボタン　マクロ（🌷）のON / OFF
▶ボタン　フラッシュ（⚡）の設定

再生時：コマの移動、動画のコマ送り

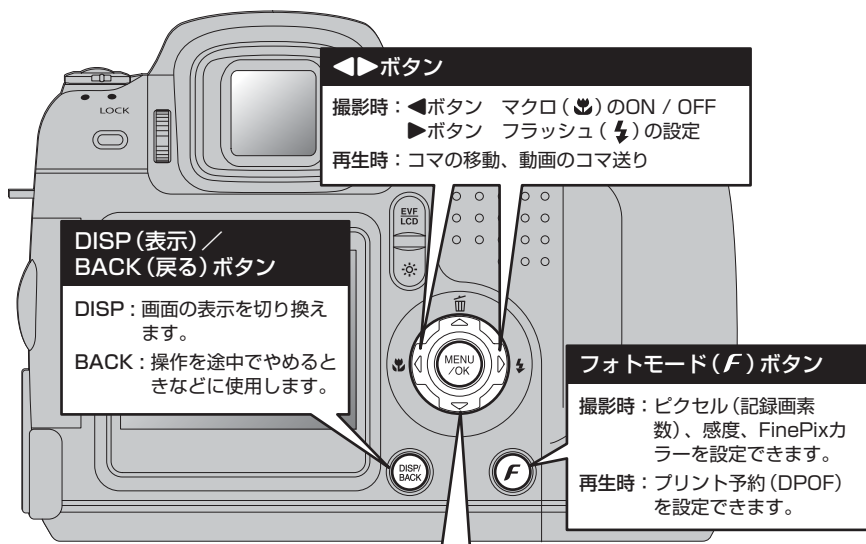
DISP（表示）／BACK（戻る）ボタン

DISP：画面の表示を切り換えます。

BACK：操作を途中でやめるときなどに使用します。

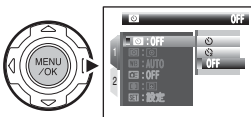
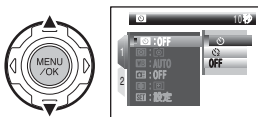
フォトモード（F）ボタン

撮影時：ピクセル（記録画素数）、感度、FinePixカラーを設定できます。

再生時：プリント予約（DPOF）を設定できます。

メニューの操作

①メニューの表示
“MENU/OK” ボタンを押します。

②メニューの選択
十字ボタンの上、下を押します。

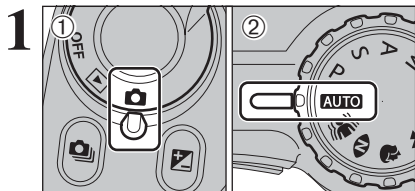
③項目の選択
十字ボタンの右を押します。

④設定の選択
十字ボタンの上、下を押します。

⑤設定の決定
“MENU/OK” ボタンを押します。

◆ガイダンス（案内）表示について◆

画面下部に、次のステップに進むためのガイダンス（案内）が表示されますので、対応するボタンを押してください。
右の画面の場合、消去するには “MENU/OK” ボタンを、やめるには “DISP/BACK” ボタンを押します。

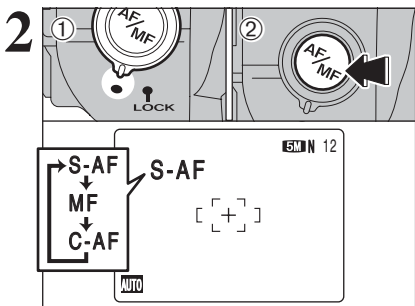
使用説明書では、上、下、左、右を三角マークで表します。
上、下のときは “▲▼” となります。左、右のときは “◀▶” となります。

静止画モード 静止画を撮影してみましょう（オート撮影）

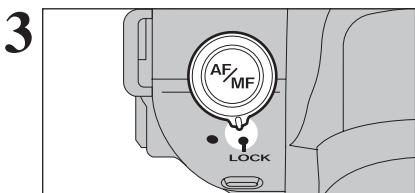
1

①電源レバーを“📷”に合わせます。
②モードダイヤルを“AUTO”に合わせます。

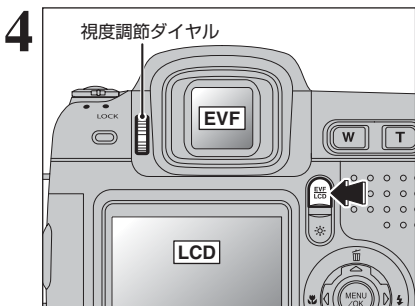
●撮影可能距離
広角側：約90cm〜無限遠（∞）
望遠側：約2m〜無限遠（∞）

❗約90cmより近づいた場合にはマクロを設定してください（➡46ページ）。
❗［カードエラー］、［フォーマットされていません］、［空き容量がありません］、［カードがありません］が表示された場合は、145ページをご参照ください。

2

①フォーカスモード切り換えボタンのロックを解除します。
②フォーカスモード切り換えボタンを押して、フォーカスモードを“S-AF（シングルAF）”に設定します。

❗コンティニュアスAF“C-AF”、マニュアルフォーカス“MF”については44、45ページをご参照ください。

3

誤操作を防ぐためフォーカスモード切り換えボタンをロックします。

4

“EVF/LCD”ボタンを押すたびに、ファインダー（EVF）と液晶モニター（LCD）のどちらを使用するか切り換えられます。
“EVF/LCD”ボタンを押して、ファインダー（EVF）にします。
ファインダー（EVF）内のAFフレームが見にくいときは、視度調節ダイヤルで調節してください。

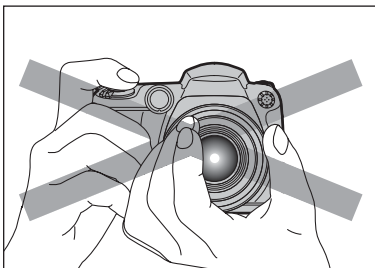
EVF/LCDの切り換え設定は、モード切り換え、電源OFFでも保持されます。

5

両脇を締め、両手でカメラを構えます。
右手の親指はズーム操作しやすい位置に置きます。

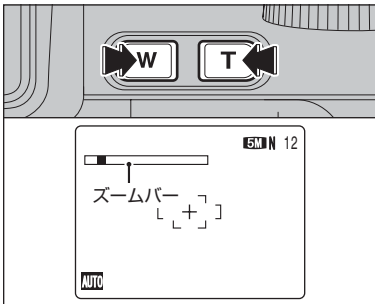
❗撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。特に、暗い場所でフラッシュ発光禁止にして撮影する場合は手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

❗画面の下端に明るさのムラがありますが、故障ではありません。撮影した画像には影響はありません。

6

レンズ、フラッシュ、AF補助光ランプに、指やストラップが掛からないようにしてください。指やストラップが掛かると、ピントが合わなかったり、適正な明るさ（露出）で撮影ができないことがあります。

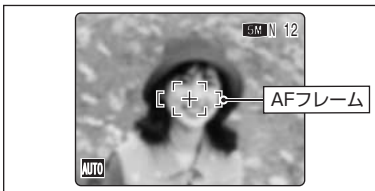
❗レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は140ページを参照してレンズをきれいにしてください。

❗雪のときやほこりの多い環境でフラッシュ撮影すると、フラッシュ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。フラッシュ発光禁止での撮影をお試しください。

7

被写体を大きく写したいときは、"T"（望遠ズーム）ボタンを押します。
広い範囲を写したいときは、"W"（広角ズーム）ボタンを押します。
このとき画面に"ズームバー"が表示されます。

● 光学ズーム焦点距離（35mmフィルム換算）
約38mm〜約380mm相当
（3:2時：約39.5mm〜約395mm相当）
最大ズーム倍率 10倍

❗デジタルズームを使用可能にする場合は、95ページをご参照ください。

8

被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

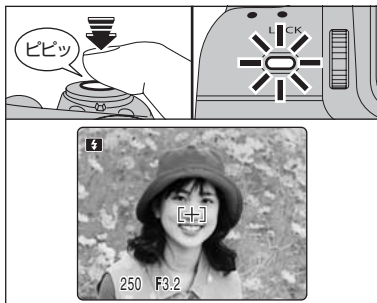
❗撮影前に画面で見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。
必要に応じて、再生してご確認ください（➡29ページ）。

❗被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（➡27ページ）。

◆フィルターを使用する◆

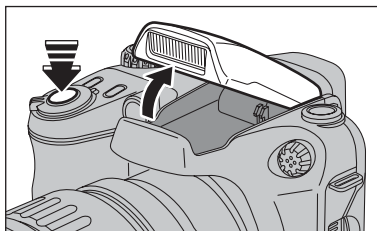
φ55mmの市販フィルターをご使用いただけます。

❗フィルターは2枚以上重ねて使用しないでください。

❗フィルターを取り付けた場合は付属のレンズキャップは使用できません。

次ページにつづく

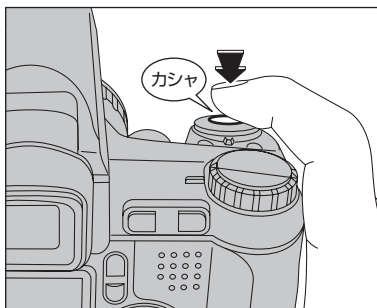
9

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います。そのとき画面のAFフレームが小さくなり、シャッタースピード/絞り値が決定されます（インジケーターランプ［緑］が点滅から点灯に変わります）。

- “ピピッ”と音が鳴らずに画面に“!AF”が表示されたときは、ピントが合っていません。
- シャッターボタンを半押しすると、一時的に画面の映像が止まりますが記録される画像とは異なります。
- “!AF”表示された場合（暗くてピントが合わないなど）、半押しし直すか、被写体から2m程度離れて撮影してください。

またフラッシュが閉じている状態でシャッターボタンを半押しすると、フラッシュが発光する場合は自動的にフラッシュがポップアップします。

- フラッシュは数回発光します（予備発光、本発光）。

フラッシュが発光するときは、画面に“⚡”が表示されます。シャッタースピードが遅く、手ブレが発生しやすい状態のときは、画面に“!✋”が表示されます。“!✋”が表示された場合は、フラッシュ撮影してください。撮影シーンやモードによっては、三脚を使用して撮影してください。

10

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込む（全押し）と、“カシャ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

- シャッターボタンを押した瞬間から、一瞬遅れて撮影されますので、必要に応じて再生してご確認ください。
- シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。
- 撮影するとインジケーターランプが橙色に点灯し（撮影不可）、消灯すると次の撮影ができます。
- フラッシュ撮影をした場合、フラッシュを充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときインジケーターランプが橙色に点滅します。
- 警告表示については145、146ページをご参照ください。

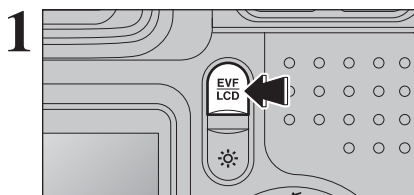
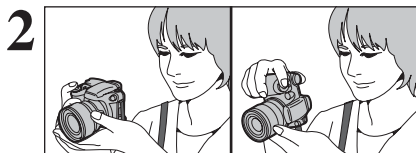
◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件、被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- 鏡、車のボディなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が暗いとき
- 高速で移動する被写体
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 画面中央付近に主被写体の他に明暗差がはっきりしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

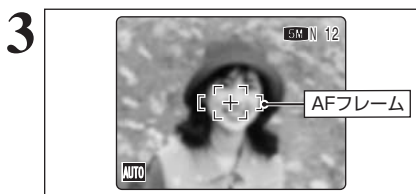
このような場合はAF/AEロック（➡27ページ）または“MF”マニュアルフォーカス（➡45ページ）をお使いください。

液晶モニター（LCD）撮影について

1

液晶モニター（LCD）撮影するときは “EVF/LCD” ボタンを押して液晶モニターに切り換えます。

2

両脇を締め、両手でカメラを構えます。
右手の親指はズーム操作しやすい位置に置きます。

- 撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。特に、暗い場所でフラッシュ発光禁止にして撮影する場合は手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- 液晶モニターの下端に明るさのムラがありますが、故障ではありません。撮影した画像には影響はありません。

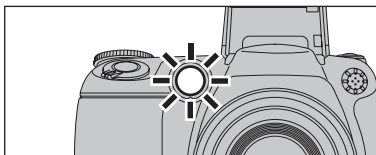
3

被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

- 撮影前に液晶モニターで見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて、再生してご確認ください（➡29ページ）。
- 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（➡27ページ）。

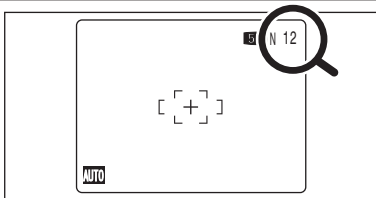
インジケーターランプ表示について

表　示	状　態
緑点灯	AF/AEロック中、ビデオ出力時
緑点滅	手ブレ、AF警告（撮影可能）
緑、橙の交互点滅	xD-ピクチャーカード に記録中（撮影可能）
橙点灯	xD-ピクチャーカード に記録中（撮影不可）
橙点滅	フラッシュ充電中（フラッシュ発光しません）
赤点滅	● xD-ピクチャーカード についての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、空き容量がない、 xD-ピクチャーカード 異常 ● レンズ動作異常

＊画面に詳しい警告が表示されます（➡145、146ページ）。

AF補助光について

薄暗いシーンでシャッターボタンを半押しすると、AF補助光［緑］が投光されピントが合いやすくなります。
ただし望遠側では到達距離が短くなります。

- 発光しても撮影状況によってはピントが合いづらい場合があります。
- 安全上の問題はありませんが、近距離で直接、人の目に当たらないようにしてください。
- 撮影のときにピントが合いやすくなる範囲は、広角側で約3.2m、望遠側で約2.4mです。
- マクロ撮影など被写体に近づいた撮影ではAF補助光の効果がないことがあります。
- AF補助光をOFFにするには、92ページをご参照ください。

撮影可能枚数について

画面に撮影可能枚数が表示されます。

- ピクセル設定の変更は54ページをご参照ください。
- 工場出荷時の“ ”ピクセルは“5M N”です。

■ xD-ピクチャーカード 標準撮影枚数

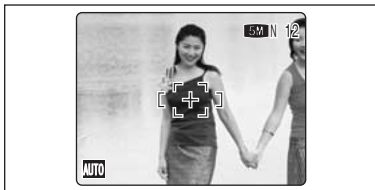
新しい xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットした状態で表示される標準的な枚数です。 xD-ピクチャーカード の容量が大きくなるほど標準的な枚数と、実際に表示される枚数に差が出ることがあります。
また、被写体によって記録されるデータ量が一定ではなく、撮影枚数が減らなかったり、2コマ減ったりします。そのため、実際に記録可能な枚数が多くなることや少なくなることがあります。

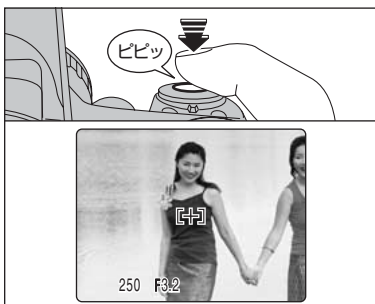
ピクセル	5M F	5M N	3:2	3M	2M	03M	RAW
記録画素数	2592×1944（約504万）		2736×1824（約499万）	2048×1536（約315万）	1600×1200（約192万）	640×480（約31万）	—
DPC-16（16MB）	6	12	12	19	25	122	1
DPC-32（32MB）	12	25	25	40	50	247	2
DPC-64（64MB）	25	50	51	81	101	497	5
DPC-128（128MB）	51	102	103	162	204	997	11
DPC-256（256MB）	102	204	207	325	409	1997	23
DPC-512/M512（512MB）	205	409	414	651	818	3993	46
DPC-M1GB（1GB）	412	819	830	1305	1639	7995	92

AF/AEロック撮影する

1

このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

2

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

3

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います。そのとき画面のAFフレームが小さくなり、シャッタースピード/絞り値が決定されます（インジケーターランプ［緑］が点滅から点灯に変わります）。

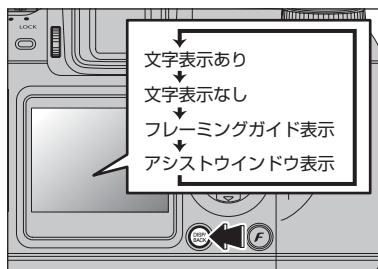
4

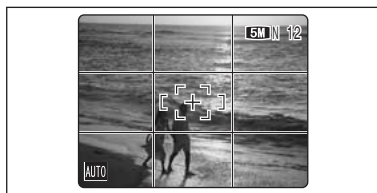
シャッターボタンを半押し（AF/AEロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

- AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
- AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

◆AF（オートフォーカス）/AE（オートエクスポージャー）ロック◆

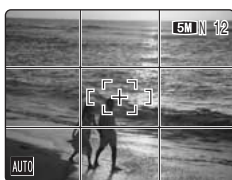
このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。
画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影するときれいに撮影できます。

撮影アシスト機能を使用する

静止画撮影モードで設定できます。
“DISP/BACK” ボタンを押すごとに画面の表示が切り換わります。

フレーミングガイド表示（ベストフレーミング）

フレーミングガイド表示では、画面に “縦横3分割フレーム” が表示されます。

◆重要◆

必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

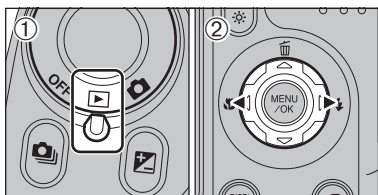
縦横3分割フレーム

主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。
被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

- フレーミングガイドは画像に記録されません。
- 縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

アシストウインドウ表示

アシストウインドウ表示で撮影したときは、直前に撮影した画像が画面の左下に縮小表示されます（アシストウインドウ）。
アシストウインドウには3つ前の画像まで表示されます。同じような構図で撮影するときの手助けになります。

アシストウインドウの画像は、次のようなときに自動的にクリアされます。
- 再生モードに切り換えたとき
- 電源が切れたとき
- PictBridge機能を使用したとき
- カードリーダー接続したとき など

再生モード 撮影した画像を見る（▶再生）

1コマ再生する

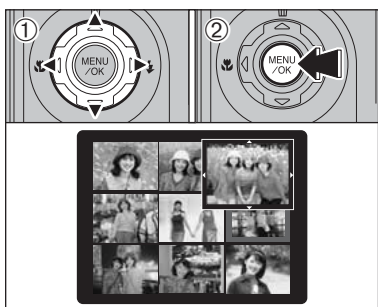
①電源レバーを“▶”（再生）に合わせます。
②“▶”順送り、“◀”逆送りで画像を見ることができます。

❗電源レバーを“▶”（再生）に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。

画像を選択する

再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると一覧表示画面で画像の選択ができます。

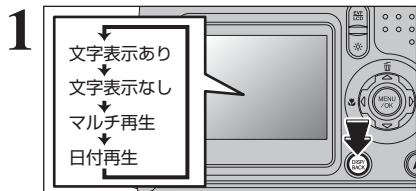
マルチ再生する

再生モードでは“DISP/BACK”ボタンを押すごとに画面の表示が切り換わります。
“DISP/BACK”ボタンを押してマルチ再生（9コマ）にします。

①“▲▼◀▶”でカーソル（枠）を動かして、コマを選びます。数回“▲”か“▼”を押すと次のページに切り換わります。
②“MENU/OK”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

◆再生できる静止画について◆

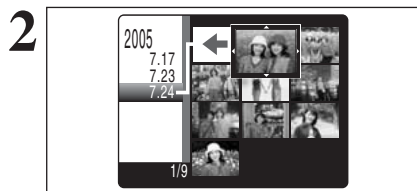
本機で記録した静止画、または xD-ピクチャーカード 対応の弊社製デジタルカメラで記録した静止画（一部非圧縮画像を除く）が再生できます。なお、本機以外のカメラで撮影した静止画はきれいに再生できない場合や、再生ズームができない場合があります。

1

文字表示あり
↓
文字表示なし
↓
マルチ再生
↓
日付再生

日付再生する

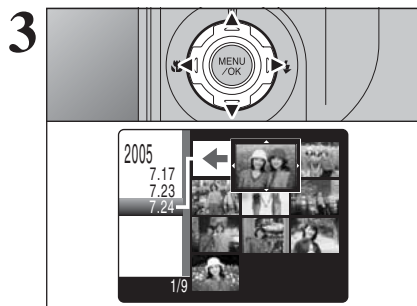
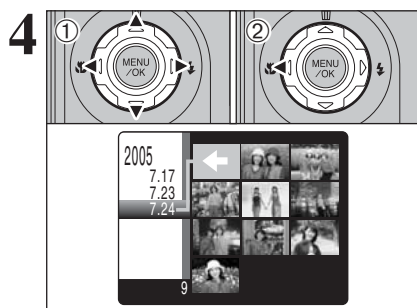
再生モードでは “DISP/BACK” ボタンを押すごとに画面の表示が切り換わります。
“DISP/BACK”ボタンを押して日付再生にします。

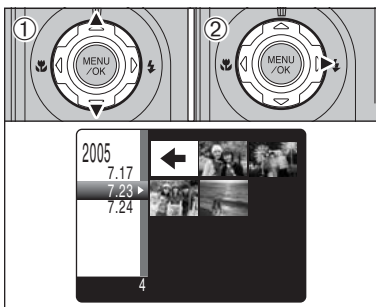
❗撮影した画像が大量にあると表示が遅くなることがあります。

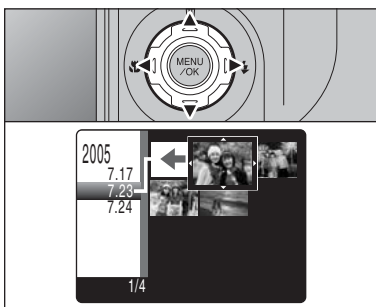
2

日付再生に切り換えると、マルチ再生で選択された画像と同じ撮影日の画像が日付再生されます。

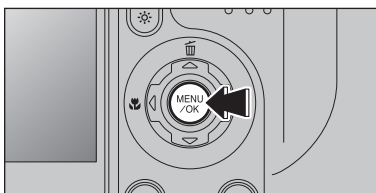
3

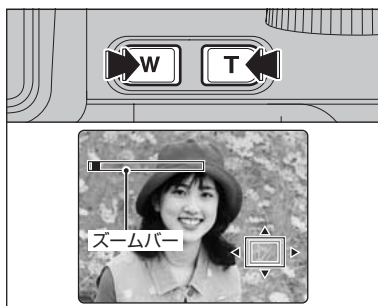
“▲▼◀▶” でカーソル（枠）を動かして、コマを選びます。

4

日付を切り換えるには、
①“▲▼◀▶” でカーソル（枠）を左上の “⬅” まで移動させます。
②“◀” を押して、日付選択にします。

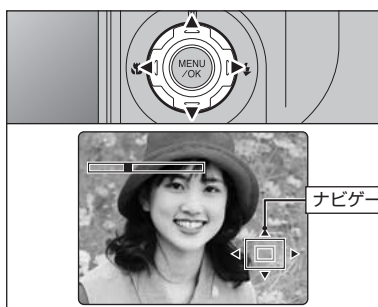
5

①"▲▼"でカーソル(枠)を動かして、日付を選びます。数回"▲"か"▼"を押すと次のページ(日付)に切り換わります。
②"▶"を押すと、"⇐"に戻ります。

6

"▲▼◀▶"でカーソル(枠)を動かして、コマを選びます。

7

"MENU/OK"ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

2
使ってみよう編

再生ズームを使用する

1コマ再生中にズームボタンを押すと静止画をズーム（拡大）します。このとき“ズームバー”が表示されます。

❗再生ズーム中はマルチ再生はできません。

“▲▼◀▶”を押すと、見える範囲を移動できます。
このときナビゲーション画面に現在の表示位置が表示されます。

❗再生ズームを解除するには“DISP/BACK”ボタンを押します。

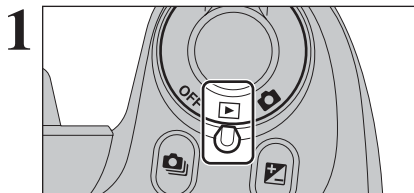
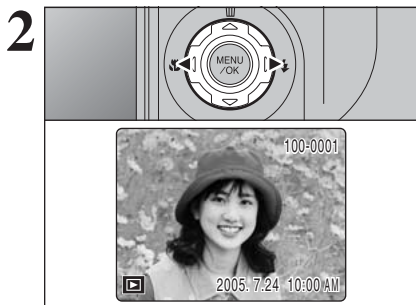
■ ズーム倍率

ピクセル	最大ズーム倍率
5M（2592×1944ピクセル）	約4.1倍
3:2（2736×1824ピクセル）	約4.3倍
3M（2048×1536ピクセル）	約3.2倍
2M（1600×1200ピクセル）	約2.5倍

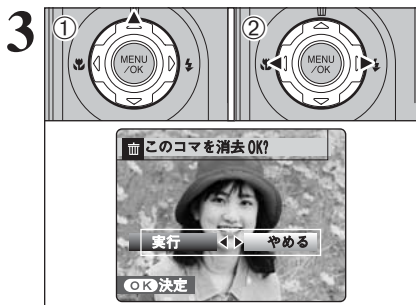
再生モード　画像を消去する（1コマ消去）

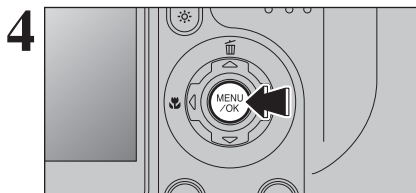
1

電源レバーを "▶" (再生) に合わせます。

2

"◀▶" で消去するコマ（ファイル）を選びます。

誤ってコマ（ファイル）を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なコマ（ファイル)は、パソコンなどにコピーしてください。

3

① "🗑(▲)" 消去ボタンを押します。
② "◀▶" で実行を選びます。

4

"MENU/OK" ボタンを押すと表示中のコマ（ファイル）を消去します。
消去が終わると1コマ再生に戻ります。

静止画機能 ピントについて（距離）

被写体からカメラまでの距離を撮影距離といいます。
撮影距離が正しく設定されて、シャープな像を確認できることを“ピントが合っている”といいます。

■ピントを合わせる3つの方法
ピントを合わせる機構として、シングルAF（S-AF）、コンティニュアスAF（C-AF）およびマニュアルフォーカス（MF）があります。

S-AF：被写体に自動的にピントを合わせることができます。シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせを実行します。
撮影モードが “P、S、A、M” のときはAFモード（➡63ページ）が選択できます。

C-AF：AFフレーム内の主被写体にピントを合わせ続けます。動いている被写体を撮影するときに使用します。詳しくは44ページ参照。

MF：手動でピントを合わせます。詳しくは45ページ参照。

■ピントが合わない原因と対処方法

原　因	対処方法
被写体がAFフレーム内にいない	AFロック撮影（AFモード：センター固定）※1、MF撮影
AFの苦手な被写体	AFロック撮影（AFモード：センター固定）※1、MF撮影
撮影距離範囲外	マクロのON/OFF※2
高速で移動する被写体	MF撮影（撮影距離を固定して撮影する＝置きピン）

※1 AFロック撮影

主被写体

主被写体を画面中央にとらえる

半押しでピントを合わせる

構図を戻して撮影

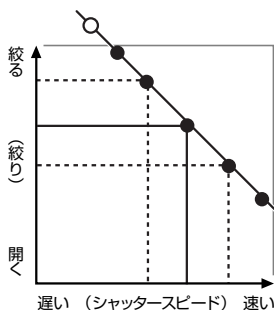
※2 マクロのON/OFF

広角側：約10cm〜約2m
望遠側：約90cm〜約2m
マクロ　ON

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

- 鏡、車のボディなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が暗いとき
- 高速で移動する被写体
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 画面中央付近に主被写体の他に明暗差がはっきりしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

静止画機能 露出について（絞りとシャッタースピード）

「光がCCDに当たること」、「取り込んだ光の総量」を“露出”といい、それによって画像の明るさが決まります。
露出は絞りとシャッタースピードの組み合わせで決まります。被写体の明るさや感度などを考慮して、カメラが自動的に露出を決めることをAE（自動露出）といいます。

左図は、一定露出を保つように、絞りとシャッタースピードを変更していったときの様子を表しています。
- 絞りを一段絞ると、シャッタースピードが一段遅くなります（点が左上に動く）。
- 絞りを一段開くと、シャッタースピードが一段速くなります（点が右下に動く）。
- 絞りまたはシャッタースピードが範囲外になるような組み合わせは選べません（白い点）。
- 撮影モード“P、S、A”では、この直線上の移動を簡単に行うことができます。
- この直線を平行移動して、撮影される画像の明るさを調節することを露出補正といいます。

◆適正な露出が得られないときは◆

露出補正：AEで設定された露出を基準（0）にして、明るめ（＋）、暗め（－）に補正します。オートブラケティングを使うと、“－、0、＋”の3コマを一度に撮影できます。

－

0

＋

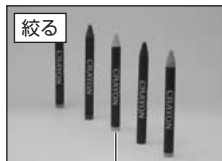
シャッタースピード

動きのある被写体を撮影する際に調整すると、「動きの一瞬をとらえる」、「動きを表現する」といった効果が得られます。

被写体が止まったように撮影されます。

被写体の軌跡が撮影されます。

絞り

調整すると、ピントの合う範囲（被写界深度）が変化します。

被写体の前後にもピントが合って撮影されます。

被写体の前後がぼやけて撮影されます。

静止画機能 撮影〜設定手順

撮影シーンや仕上がりのイメージを考慮しながら設定を行います。
おおまかな流れは次のようになります。

1 撮影モードを選ぶ（➡38〜42ページ）

AUTO　“ピクセル”、“感度”、“FinePix” カラーを除くすべての設定をカメラに任せます。

、、、、　撮影シーンに適したシーンポジションが選べます。

P、S、A　絞り、シャッタースピードを変更し、「一瞬をとらえる」「時間の流れをとらえる」「背景をぼかす」といった効果を得ます。

M　すべての設定を調節できます。

2 必要に応じて、撮影機能を設定する（➡43〜52ページ）

露出補正　AEの露出を基準（0）として、明るく（+）または暗く（−）撮影します。

マクロ　近距離撮影で使用します。

フラッシュ　暗い場所での撮影、逆光時の撮影などで使用します。

連写　連続撮影/オートブラケティング（露出補正）撮影できます。

3 撮影（露出とピントを確認する➡構図調整➡シャッターボタンを全押し）する

★メニューを使って、さらに詳細な設定を行えます（➡54〜65ページ）

以下にいくつかの設定例を示します。うまく使いこなせばこの他にも多彩な表現ができます。いろいろと設定を変更して、どのような写真が撮れるかぜひお試しください。

このような仕上がりにしたい	設定例
被写体の動き（時間の流れ）を表現したい	モードダイヤルを “S” に合わせ、シャッタースピードを遅くします（手ブレを防ぐため三脚を使用します）。
動いている被写体が、止まっているように表現したい	モードダイヤルを “S” に合わせ、シャッタースピードを速くします。
被写体の前後をぼかしてメインの被写体を強調したい	モードダイヤルを “A” に合わせ、絞りを開きます。
ピントの合う範囲を広くしたい	モードダイヤルを “A” に合わせ、絞りを絞ります。 シャッタースピードが遅くなる場合がありますので、手ブレを防ぐため三脚の使用をおすすめします。
光源によって、画像が赤みがかったり、緑がかったりするのを防ぎたい	撮影メニューの「ホワイトバランス」で設定を変更します。
シャッターチャンスを逃したくない	AUTO撮影します（使ってみよう編参照）。 クイックショットを使って撮影します。
被写体がアンダーまたはオーバー気味に撮影されるのを防ぎ、素材感や質感をよりはっきりと鮮やかに出したい	露出補正します。 背景が白っぽいとき：+、背景が黒っぽいとき：−

■モード別使用可能機能一覧

機能		ページ	AUTO	ブレ軽減	ナチュラルフォト	人物	風景	夜景	P	S	A	M
				38ページ					39〜42ページ			
露出補正		43ページ	×	×					○	○	○	×
フォーカスモード切り換え（S-AF、MF、C-AF）		19ページ	○	○					○	○	○	○
マクロ		46ページ	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
フラッシュ	AUTO オート	48ページ	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×
	赤目軽減	48ページ	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○
	強制発光	48ページ	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○
	発光禁止	48ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スローシンクロ	49ページ	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×
	赤目軽減＋スローシンクロ	49ページ	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×
連写	連写	51ページ	○	○					○	○	○	○
	オートブラケティング	51ページ	×	×					○	○	○	○
	サイクル連写	51ページ	○	○					○	○	○	○
	40コマ連写	52ページ	○	○					×	×	×	×

※連写ではフラッシュを使用できません。

■モード別使用可能メニュー一覧

				工場出荷時	AUTO	ブレ軽減、ナチュラルフォト、人物、風景、夜景	P	S	A	M
FinePix Photo mode（ファインピックスフォトモード）	ピクセル		54ページ	5M N	○	○	○	○	○	○
	感度		56ページ	—	○	○※	○	○	○	○
	FinePixカラー		57ページ	STD	○	○	○	○	○	○
撮影メニュー	セルフタイマー		60ページ	OFF	○	○	○	○	○	○
	測光	マルチ	61ページ	マルチ	×	×	○	○	○	○
		スポット	61ページ		×	×	○	○	○	○
		アベレージ	61ページ		×	×	○	○	○	○
	ホワイトバランス		61ページ	AUTO	×	×	○	○	○	○
	クイックショット		63ページ	OFF	○	○	○	○	○	○
	AFモード	センター固定	63ページ	センター固定	○	○	○	○	○	○
		オートエリア	63ページ		×	×	○	○	○	○
		エリア選択	64ページ		×	×	○	○	○	○
	シャープネス		64ページ	STD	×	×	○	○	○	○
	ブラケティング		65ページ	±1/3EV	×	×	○	○	○	○

※ブレ軽減、ナチュラルフォトはAUTOのみです。
＊オートエリアとエリア選択はコンティニュアスAF（C-AF）と併用できません。

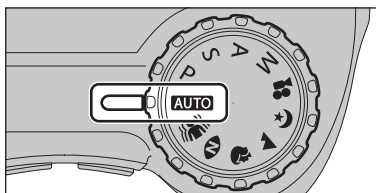
絞り、シャッタースピードの調整だけでは、適正露出が得られないときは…

明るいとき
"ISO"感度を下げる
NDフィルターを使用する（別売）

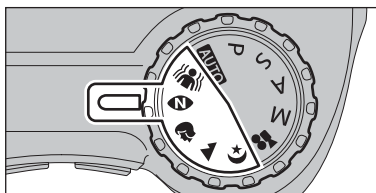
暗いとき
"ISO"感度を上げる
フラッシュの使用

3 応用編

撮影モードを切り換える

AUTO オート

モードダイヤルを“AUTO”に合わせます。
最も簡単に撮影できる撮影用途の広い撮影モードです。

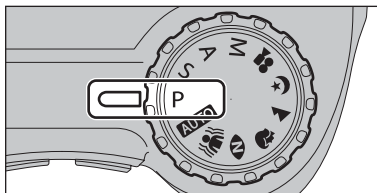
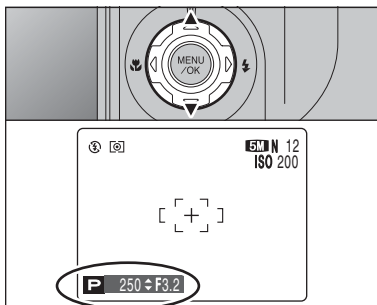
使用可能なフラッシュについては37ページをご参照ください。

シーンポジション

モードダイヤルを“ブレ軽減、N、人物、風景、夜景”に合わせます。
撮影シーンに適した撮影モードです。

人物、風景、夜景ではマクロの設定はできません。

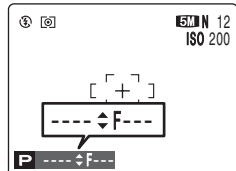
撮影シーン	説　明	使用可能フラッシュ
ブレ軽減	シャッタースピードを速くすることで手ブレだけでなく、被写体ブレも軽減できるモードです。	AUTO、赤目軽減、強制発光、発光禁止
N ナチュラルフォト	光量の少ないシーンでも、目で見たままの雰囲気を美しく撮影できます。また、フラッシュを使えない場所での撮影にも適したモードです。 使用例 ● 子供の寝顔、ペット、バースデーケーキ ● 結婚式のキャンドルサービス、発表会ステージ ● レストラン、水族館、ミュージアム、教会	フラッシュは使用できません。
人物	人物撮影に適したモードです。 肌の色がきれいに見え、ソフトな感じに仕上がります。	AUTO、赤目軽減、強制発光、発光禁止、S強制発光、赤目SLOW
風景	昼間の風景撮影に適したモードです。 建物や山など風景をくっきりと仕上げます。	フラッシュは使用できません。
夜景	夕景や夜景の撮影に適したモードです。 最長約3秒のスローシャッター優先の撮影が行われます。 手ブレ防止のため必ず三脚をご使用ください。	S強制発光、赤目SLOW、発光禁止

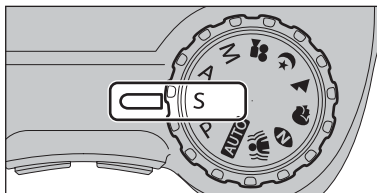
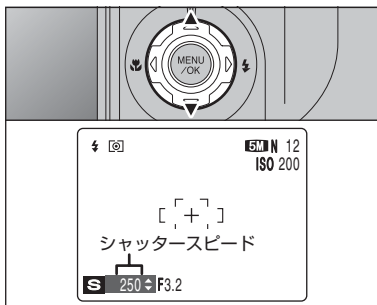
ブレ軽減、またはナチュラルフォトモードに設定した場合、高温下で長時間の連続使用をすると、画質が劣化し、スジ状のノイズが出る場合があります。その場合は、できるだけこまめに電源を切り、カメラ本体の温度が上がらないようにご注意ください。また、クイックショットの設定を“OFF”にすることをおすすめします。

静止画機能 P プログラムオートを使用する

モードダイヤルを "P" に合わせます。
シャッタースピード/絞り以外の各種設定ができるオートモードです。
比較的簡単にシャッター優先、絞り優先のように撮影できます（プログラムシフト）。

プログラムシフト

"▲▼" を押すと、露出値を変えずにシャッタースピード、絞り値の組み合わせを切り換えることができます。
プログラムシフト中は、シャッタースピード、絞り値が黄色で表示されます。

- プログラムシフトを使用するときは、フラッシュを "Ⓢ" 発光禁止にしてください。
- プログラムシフトは、次のとき自動的に解除されます。
  - ● 撮影モードを切り換えたとき
  - ● 再生モードに切り換えたとき
  - ● 電源が切れたとき

◆シャッタースピード、絞り値表示について◆

被写体の明るさがカメラが測光できる明るさの範囲を超えてしまう場合は、画面内の "シャッタースピード" および "絞り値" が「---」で表示されます。

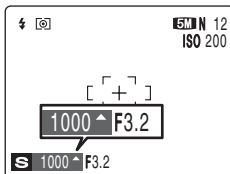
静止画機能 S シャッター優先オートを使用する

モードダイヤルを “S” に合わせます。
シャッタースピードを設定できるオートモードです。
動きの一瞬をとらえる（高速）、動きを表現する（低速）などの撮影ができます。

シャッタースピード設定

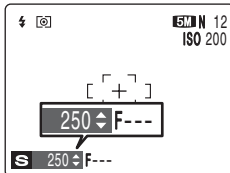
“▲▼” を押すと、シャッタースピードを設定できます。

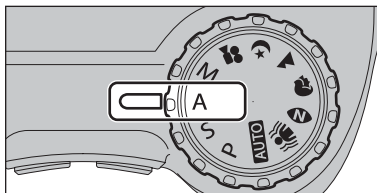
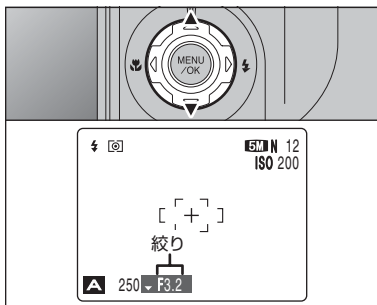
● シャッタースピードの設定
　3秒～1/1000秒　1/3EVステップ

◆シャッタースピード、絞り値表示について◆

極端な露出オーバーの撮影シーンでは、絞り値（F8）が「赤色」で表示されます。そのときは、より高速側のシャッタースピード（最速1/1000秒まで）に設定してください。

露出アンダー

極端な露出アンダーの撮影シーンでは、絞り値（F3.2）が「赤色」で表示されます。そのときは、より低速側のシャッタースピード（最長3秒まで）に設定してください。

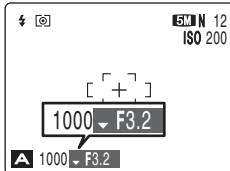
測 光 不 可

被写体の明るさがカメラが測光できる明るさの範囲を超えてしまう場合は、絞り値が「F---」と表示されます。そのときはシャッターボタンを半押しすると再測光されて、値が表示されます。

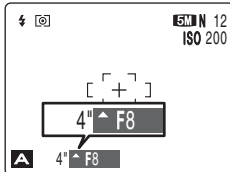
A 絞り優先オートを使用する

モードダイヤルを“A”に合わせます。
絞り値を設定できるオートモードです。
被写体の前後をぼかす（開放）、遠くまでピントを合わせる（絞る）撮影ができます。

絞り値設定

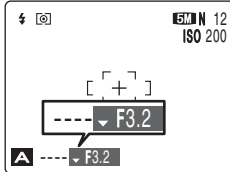
“▲▼”を押すと、絞り値を設定できます。

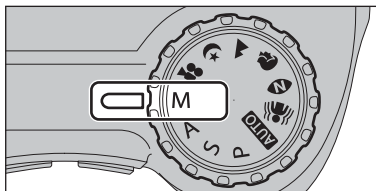
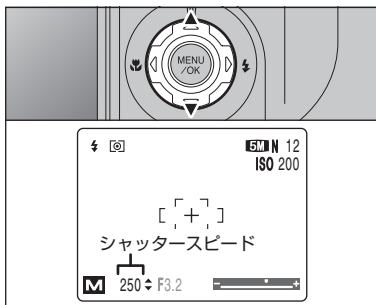
●絞り値の設定
F3.2〜F8　1/3EVステップ

◆シャッタースピード、絞り値表示について◆

露出オーバー

極端な露出オーバーの撮影シーンでは、シャッタースピード（1/1000秒）が「赤色」で表示されます。そのときは、より大きい数値の絞り値（最大F8まで）に設定してください。

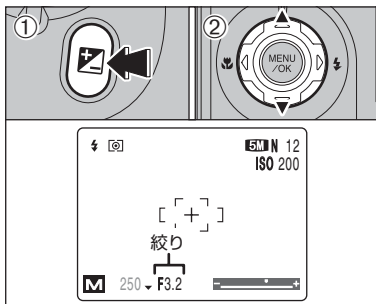
露出アンダー

極端な露出アンダーの撮影シーンでは、シャッタースピードが「赤色」で表示されます。そのときは、より小さい数値の絞り値に設定してください。

測 光 不 可

被写体の明るさがカメラが測光できる明るさの範囲を超えてしまう場合は、シャッタースピードが「----」と表示されます。そのときはシャッターボタンを半押しすると再測光されて、値が表示されます。

静止画機能 M マニュアルを使用する

モードダイヤルを "M" に合わせます。
シャッタースピードと絞り値を自由に設定できる撮影モードです。

シャッタースピード設定

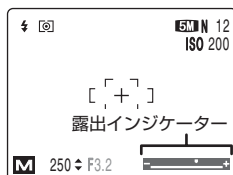
"▲▼" を押すと、シャッタースピードを設定できます。

●シャッタースピードの設定
15秒～1/2000秒　1/3EVステップ

- EVについては151ページをご参照ください。
- 手ブレ防止のため三脚を使用することをおすすめします。
- 長時間露光したときは、画像に点状のノイズが発生することがあります。
- 1/1000秒より高速なシャッタースピードのときは、フラッシュが発光しても暗くなることがあります。

絞り値設定

①"±" 露出補正ボタンを押しながら、
②"▲▼" を押すと、絞り値を設定できます。

●絞り値の設定
F3.2～F8　1/3EVステップ

◆露出インジケーターについて◆

画面の露出インジケーターを目安に露出を決定します。被写体の明るさがカメラが測光できる明るさの範囲を超えてしまう場合は、露出インジケーターが消えます。

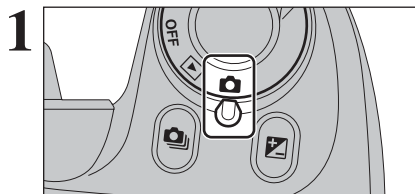
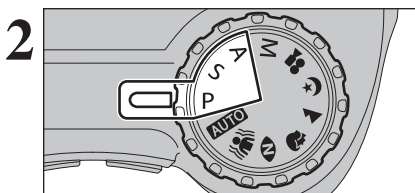
静止画機能 ## 画像の明るさを変更する（露出補正）

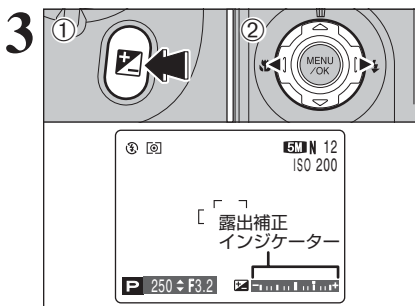
使用可能撮影モード：P、S、A

被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

1

電源レバーを“📷”に合わせます。

2

モードダイヤルを“P、S、A”に合わせます。

3

①“露出補正”露出補正ボタンを押しながら、
②“◀▶”を押して設定します。
補正した側の“－”または“＋”が「黄色」になります。設定中は“露出補正”が「黄色」で表示され、設定後は“露出補正”が「青色」になります。

●補正範囲：－2EV～＋2EV
（13段階：1/3EVステップ）

- “AUTO、🏃、N、👤、▲、☾、M、🎥”の撮影モードでは使用できません。
- 露出補正に応じて、画面でも明るさの確認ができます。
- 次のような状態では無効になります。
  フラッシュの設定が“ϟ”（強制発光）または“👁”（赤目軽減）で撮影シーンが暗いとき

モード切り換え、電源OFFでも保持されます（“露出補正”マーク点灯）。必要のないときは設定値を“0”にしてください。

◆適正な明るさを得るには◆

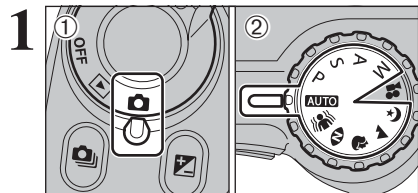
適正な明るさを得るには、撮影された写真の明暗の度合いにより露出補正を調節してください。

- 被写体が白っぽく撮影される。
  設定値を－（マイナス）補正にして試してください。
  写真全体が暗めに撮影されます。
- 被写体が暗い感じに撮影される。
  設定値を＋（プラス）補正にして試してください。
  写真全体が明るめに撮影されます。

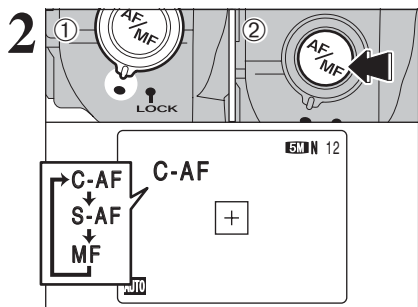
■露出補正の目安
- 逆光の人物撮影：＋2目盛～＋4目盛（$+\frac{2}{3}$EV～$+1\frac{1}{3}$EV）
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：＋3目盛（＋1EV）
- 画面内を空の部分が大きく占める場合：＋3目盛（＋1EV）
- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：－2目盛（$-\frac{2}{3}$EV）
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：－2目盛（$-\frac{2}{3}$EV）

静止画機能 コンティニュアスAFを使用する

使用可能撮影モード：AUTO、[icon]、[icon]、[icon]、[icon]、[icon]、P、S、A、M

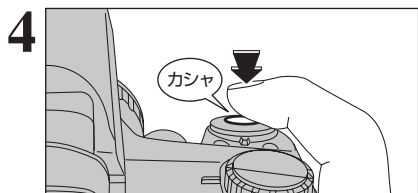
動いている被写体を撮影するときに使用します。コンティニュアスAFを使用すると、ピントを合わせる時間を短くすることができます。

1

①電源レバーを“[カメラ]”に合わせます。
②モードダイヤルを静止画撮影モードに合わせます。

2

①フォーカスモード切り換えボタンのロックを解除します。
②フォーカスモード切り換えボタンを押して、フォーカスモードを“C-AF”に設定します。
誤操作を防ぐために、フォーカスモード切り換えボタンをロックします。

3

画面を使って、被写体をAFフレームでねらいます。AFフレーム内の主被写体にピントを合わせ続けます。

4

シャッターボタンを半押し（AF/AEロック）し、さらに全押しすると撮影されます。
ピントを合わせる時間を短くすることができます。

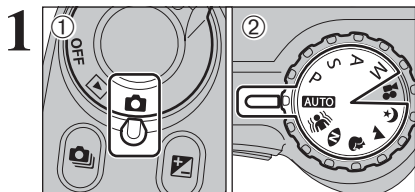
◆コンティニュアスAFの注意◆

シャッターボタンを押さなくても常にピントを合わせ続けるため、次のことにご注意ください。

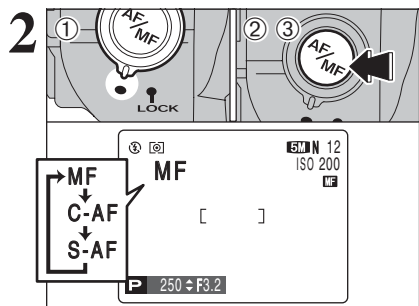
- 他のフォーカスモード（S-AF、MF）より消費電力が増加するので電池の残量に注意してください。
- オートパワーオフを“OFF”に設定しているときは、特に電池の残量に注意が必要です。

静止画機能 マニュアルフォーカスを使用する

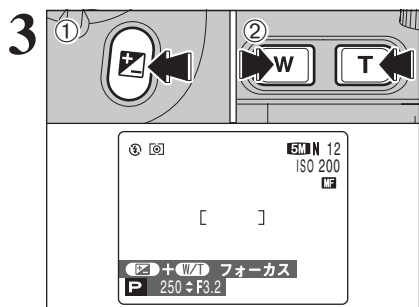
使用可能撮影モード：AUTO、、、、、、P、S、A、M

ピントを手動で合わせたいときに、オートフォーカス“S-AF”でピントを合わせてから使用します。マニュアルフォーカスは、任意にフォーカス設定したり、意図的にフォーカスをずらしたりしたいときにご使用ください。

1

①電源レバーを“”に合わせます。
②モードダイヤルを静止画撮影モードに合わせます。

2

①フォーカスモード切り換えボタンのロックを解除します。
②フォーカスモード切り換えボタンを押して、フォーカスモードを“S-AF”に切り換え、被写体に合わせてシャッターボタンを半押しします。被写体にピントが合います。
③フォーカスモード切り換えボタンを押して、フォーカスモードを“MF”に合わせます。フォーカス位置は被写体に固定されます。置きピン(➡34ページ)の状態です。

被写体が変わった場合やズーム位置を変えた場合は②からやり直してください。

3

①“”露出補正ボタンを押しながら、
②“T、W”ボタンで、ピントを調節します。

＋ W T	ピントを遠くに調節
＋ W T	ピントを近くに調節

■フォーカスインジケーターについて

ピント合わせをある程度行う（合焦位置に近づく）とマークが表示されるので、マークに従ってピントを合わせます。

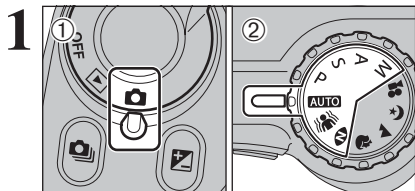
AFフレームが黄色表示	ピントが合っています。
◀	ピントが近距離です。
▶	ピントが遠距離です。

◆マニュアルフォーカスを使いこなすには◆

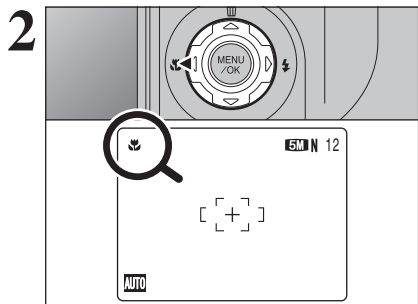
カメラが動いてしまうとピントがずれてしまうため、三脚を使用します。

静止画機能 🌷 近距離を撮影する（マクロ）

使用可能撮影モード：AUTO、👥、N、P、S、A、M

1

マクロを設定すると近距離撮影ができます。
①電源レバーを “📷” に合わせます。
②モードダイヤルを “AUTO、👥、N、P、S、A、M” に合わせます。

●撮影可能距離：
広角側：約10cm〜約2m
望遠側：約90cm〜約2m
●フラッシュ撮影可能距離：約30cm〜約2m

2

“🌷(◀)” マクロボタンを押します。画面に “🌷” が表示され、近距離撮影ができます。
マクロを解除するには、もう一度 “🌷(◀)” マクロボタンを押します。

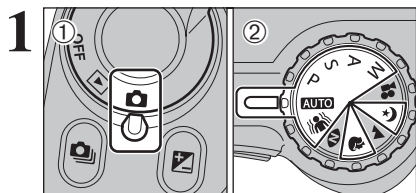
❗マクロ撮影は、次のとき自動的に解除されます。
- モードダイヤルを “👤、▲、☾、🎥” に切り換えたとき
- 電源が切れたとき

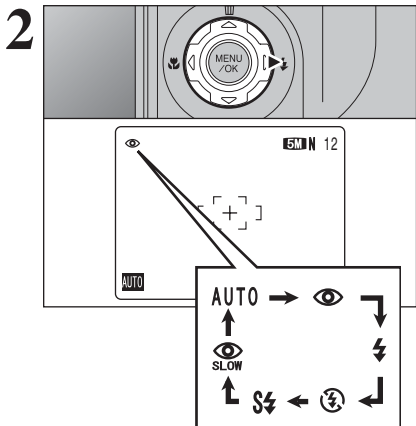
❗暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします（“!✋” 手ブレ警告が表示されているとき）。
❗マクロ撮影など被写体に近づいた撮影ではAF補助光の効果がないことがあります。
❗AFモードをオートエリアに設定しても、中央付近でピントが合います。

静止画機能 フラッシュを使用して撮影する

使用可能撮影モード：AUTO、 、 、 、P、S、A、M

撮影の目的に合わせて6種類のフラッシュの設定ができます。

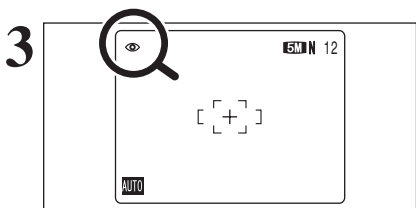
1

①電源レバーを“ ”に合わせます。
②モードダイヤルを“AUTO、 、 、 、P、S、A、M”に合わせます。

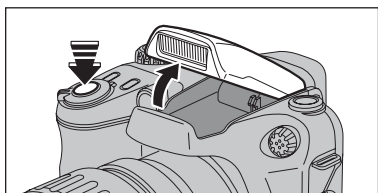
2

“ (▶)”フラッシュボタンを押すたびにフラッシュの設定が切り換わり、最後に表示したフラッシュの設定が選択されます。

●フラッシュ撮影可能距離（“ISO”：AUTO時）
広角側：約30cm～約4m
望遠側：約80cm～約4m

- 1/1000秒より高速なシャッタースピードのときは、フラッシュが発光しても暗くなることがあります。
- 雪のときやほこりの多い環境でフラッシュ撮影すると、フラッシュ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。フラッシュ発光禁止での撮影をお試しください。
- 電池の残量が少ない場合、フラッシュ充電時間が長くなることがあります。
- フラッシュ撮影をした場合、フラッシュを充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときインジケーターランプが橙色に点滅します。
- 撮影メニューにより使用できるフラッシュモードが制限されます（➡37ページ）。
- フラッシュは数回発光します（予備発光、本発光）。

フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しにすると、画面に“ ”が表示されます。

3

フラッシュ使用中は画面に“ 、 、S 、 ”が表示されます。

◆フラッシュオートポップアップ機能◆

本機は撮影状況に応じてフラッシュが自動的にポップアップして発光します。フラッシュを発光させたくない場合は、“ ”発光禁止に設定してください。

3 応用編

フラッシュを使用して撮影する

使用可能撮影モード：AUTO、、、、P、S、A、M

AUTO オートフラッシュ（表示なし）

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、フラッシュが自動的に発光します。

フラッシュ充電中にシャッターボタンを押すと、フラッシュ発光せずに撮影されます。

赤目軽減フラッシュ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。撮影前にフラッシュがプレ発光し、次に撮影のためのフラッシュが発光します。
撮影状況に応じてフラッシュが自動的に発光します。

フラッシュ充電中にシャッターボタンを押すと、フラッシュ発光せずに撮影されます。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減フラッシュを積極的にご利用ください。赤目軽減フラッシュを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

強制発光フラッシュ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもフラッシュ撮影が行われます。

フラッシュ発光禁止

室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのフラッシュ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、設定したホワイトバランス（➡61ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。

暗い場所でフラッシュ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
手ブレ警告については145ページをご参照ください。

S⚡ スローシンクロ

スローシャッターでフラッシュ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。手ブレ防止のため必ず三脚をご使用ください。

●最長シャッタースピード
"☾★"夜景：3秒まで

赤目軽減＋スローシンクロ

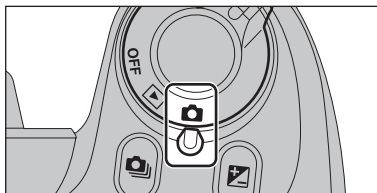
赤目軽減のスローシンクロ撮影です。

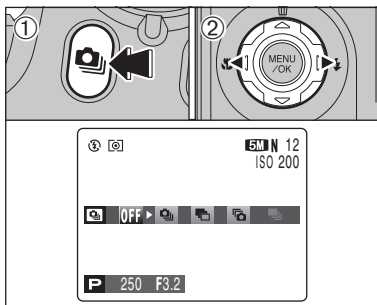
❗明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。

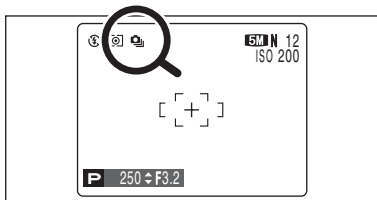
背景の夜景をより明るく撮りたい場合は、撮影モードの"☾★"（夜景）の使用をおすすめします（➡38ページ）。

3 応用編

静止画機能 連写機能を使用する

1

電源レバーを “ ” に合わせます。

2

①“ ” 連写ボタンを押しながら、
②“◀▶” を押して使用する連写モードを選びます。
“ ” ボタンから指をはなすと決定されます。

3

連写モードを設定（OFF以外）すると画面に選んだモードが表示されます。

：連写
：オートブラケティング
：サイクル連写
：40コマ連写

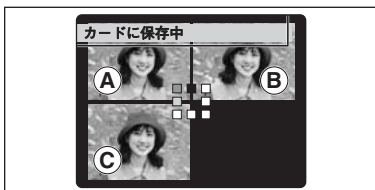
◆連写モードの注意◆

- シャッターボタンを押し続けている間撮影されます。ただしオートブラケティングは、一度シャッターを切ると自動的に3コマ撮影されます。
- xD-ピクチャーカード の容量が不足すると、記録可能な枚数分撮影されます。ただしオートブラケティングは、 xD-ピクチャーカード に3コマ分の空き容量がないときは撮影できません。
- ピントは1コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません（40コマ連写を除く）。
- 露出は1コマ目を撮影したときに決定されますが、40コマ連写ではシーンに応じて自動的に変わります。
- シャッタースピードにより連写速度は変わります。
- 連写速度はピクセル設定によって変わることはありません。
- フラッシュは発光禁止になり使用できません。
- 連写、オートブラケティング、サイクル連写では、撮影後、必ず撮影結果が表示されます。

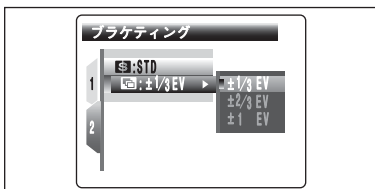
連写　使用可能撮影モード：AUTO、[icon]、N、[icon]、▲、[icon]、P、S、A、M

最短約0.5秒間隔で最大3コマ連写できます。
撮影すると撮影結果が表示され、自動的に保存されます。

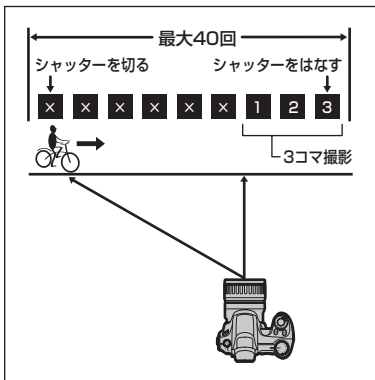
- "[動画]" 動画撮影モードでは使用できません。
- 3コマ連写で撮影したファイルの記録時間は最大約5秒です。

オートブラケティング　使用可能撮影モード：P、S、A、M

自動的に設定値きざみでⒶ適正、Ⓑオーバー、Ⓒアンダーの露出で3コマ連続して撮影されます。設定値（露出幅）は撮影メニューで変更できます。

- オートブラケティング設定値（3種類）
  ±1/3EV、±2/3EV、±1EV

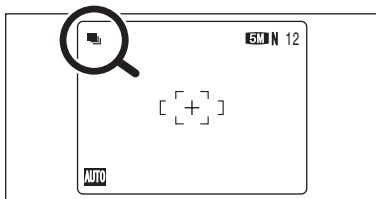
- アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定値きざみで撮影されません。
- "AUTO、[icon]、N、[icon]、▲、[icon]、[動画]" の撮影モードでは使用できません。

設定値（露出幅）の変更

"MENU/OK" ボタンを押してメニューを表示し、"[icon]" ブラケティング（➡65ページ）の項目で設定を変更します。

サイクル連写
使用可能撮影モード：AUTO、[icon]、N、[icon]、▲、[icon]、P、S、A、M

最大40回（最短約0.5秒間隔）シャッターを切ったうちの最後の3コマを記録します。
40回に到達する前にシャッターボタンから指をはなしたときは、シャッターボタンから指をはなした直前の3コマが記録されます。
xD-ピクチャーカード の容量が不足しているときは、シャッターボタンから指をはなした直前の、記録可能な枚数分撮影されます。

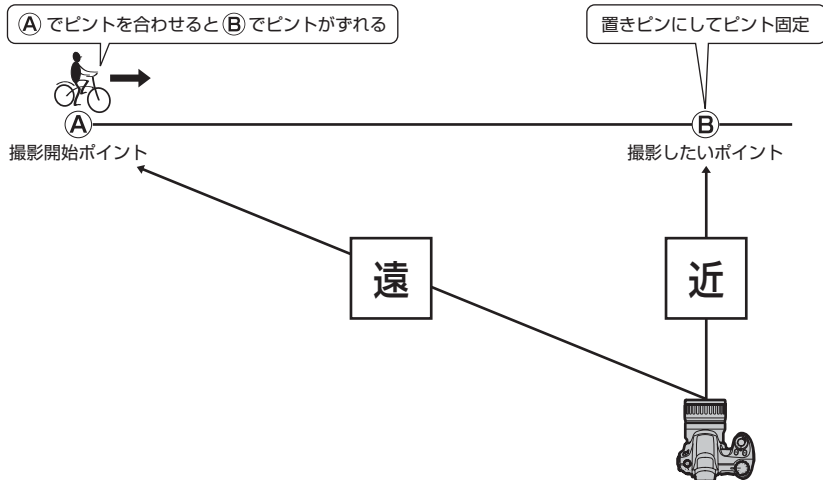
- "[動画]" 動画撮影モードでは使用できません。
- セルフタイマーと併用すると、1コマしか撮影されません。

連写機能を使用する

40コマ連写　使用可能撮影モード：AUTO、[icon]、[icon]、[icon]、[icon]、[icon]

最大40コマ連写できます（最短約1.1秒間隔）。

- "P、S、A、M、[icon]"の撮影モードでは使用できません。
- セルフタイマーと併用すると、1コマしか撮影されません。

◆移動している被写体にピントを合わせるには◆

撮影開始ポイントⒶでシャッターボタンを半押ししてピントを合わせると、撮影したいポイントⒷで距離が変わり、ピントの合っていない画像になることがあります。
そのときはあらかじめ撮影したいポイントⒷにピントを合わせ、ピントがずれないように固定して撮影します（置きピン）。
また置きピンは、動きが速くピントを合わせにくい被写体の撮影でも有効です。

◆連写とフラッシュについて◆

各連写を設定すると、フラッシュ設定は強制的に"[icon]"発光禁止になります。
ただし通常の撮影に設定し直すと、連写に設定する前に使用していたフラッシュ設定に再設定されます。

静止画機能 ☼ 画面を明るくする

使用可能撮影モード：AUTO、🏃、N、👤、▲、☾、P、S、A、M

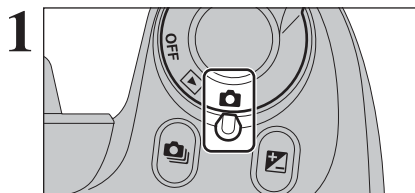
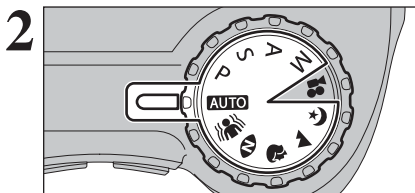
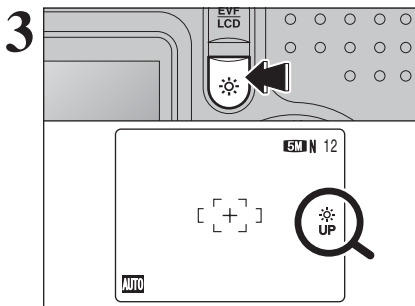
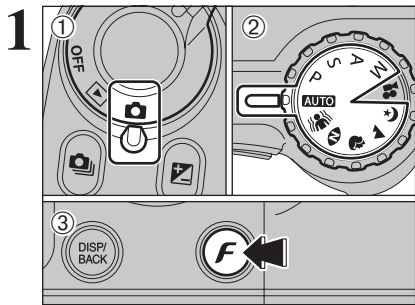
薄暗いシーンの撮影（スローシンクロ撮影など）で構図を確認するときに便利です。

1

電源レバーを"📷"に合わせます。

2

モードダイヤルを静止画撮影モードに合わせます。

3

"☼"画面明るさアップボタンを押します。画面に"☼UP"が点滅し、被写体が明るく表示されます。明るさアップを解除するには、もう一度"☼"画面明るさアップボタンを押します。
この機能は撮影ごとに自動的に解除されます。

- ❗本機能使用時は画面にノイズが増えますが、撮影画像には影響ありません。
- ❗この機能は構図の確認専用です。撮影する画像を明るくする機能ではありません。
- ❗暗闇では明るさアップを行っても、被写体の確認ができません。
- ❗被写体によっては、色が正確に表示されない場合があります。

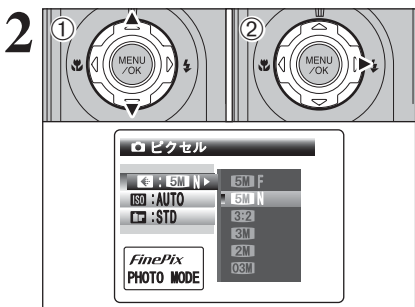
画像の記録サイズを変更する（ピクセル）

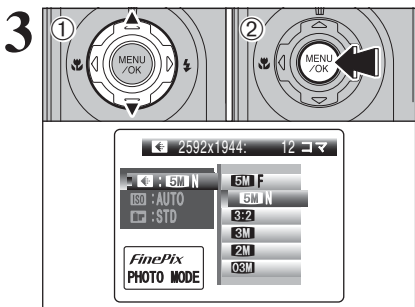
1

①電源レバーを“📷”に合わせます。
②モードダイヤルを静止画撮影モードに合わせます。
③“*f*”ボタンを押して、メニューを表示します。

CCD-RAW設定時（➡95ページ）は、“”ピクセルの設定ができません。

ピクセルは、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。

2

①“▲▼”で“”ピクセルを選びます。
②“▶”を押します。

3

①“▲▼”で設定を変更します。
②“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

設定の右側の数値は撮影可能枚数です。
ピクセル設定を変更すると撮影可能枚数（➡26ページ）が変わります。

静止画撮影モードのピクセル設定

6種類の設定から選べます。下の表を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。各プリントサイズの寸法については、以下の「■プリントサイズ早見表」をご参照ください。

ピクセル	用途例
5M F(2592×1944)	六切、A4サイズ程度でプリントする場合。 画質を優先する場合は"5M F"を選んでください。
5M N(2592×1944)	
3:2(2736×1824)	
3M(2048×1536)	DSCW、2L、HV、A5サイズ程度でプリントする場合。
2M(1600×1200)	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でプリントする場合。
03M(640×480)	電子メールへの画像添付やホームページで利用する場合。

■プリントサイズ早見表

A4	210mm×297mm
六切	203mm×254mm
A5	148mm×210mm
2L	127mm×178mm
DSCW	127mm×169mm

A6	105mm×148mm
ハガキ	102mm×152mm
HV	89mm×158mm
L	89mm×127mm
DSC	89mm×119mm

◆写せる範囲とピクセルについて◆

3:2以外の写せる範囲

3:2の写せる範囲

"3:2"は、他の記録画素数が画像比率4：3で記録されるのに対して、3：2の比率（フィルム・ポストカードと同じ比率）で撮影されます。

3
応用編

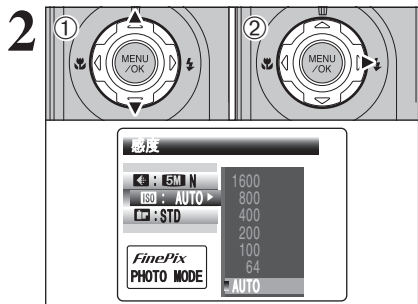
ISO 感度を変更する(感度)

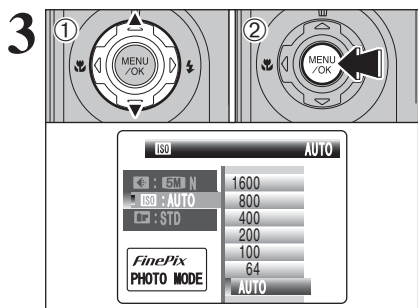
1

①電源レバーを“📷”に合わせます。
②モードダイヤルを静止画撮影モードに合わせます。
③“𝑭”ボタンを押して、メニューを表示します。

❗“🎥”動画撮影モードは“ISO”感度の設定ができません。

感度は、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。

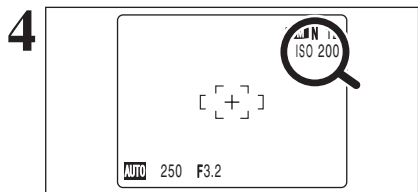
2

①“▲▼”で“ISO”感度を選びます。
②“▶”を押します。

3

①“▲▼”で設定を変更します。
②“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

●設定値
AUTO、64、100、200、400、800、1600

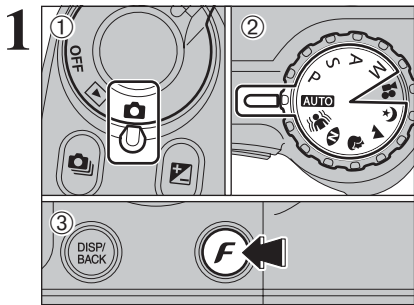
❗感度の設定値が大きくなるほど、より暗いところでの撮影ができるようになりますが、画像に粒子状のノイズが増えます。また、夜空などのシーンではスジ状のノイズが見える場合もあります。状況に応じて、感度設定を使い分けてください。
❗撮影モードが“👥”ブレ軽減、“N”ナチュラルフォトのとき、“ISO”感度設定はAUTOのみです。
❗撮影モードが“P、S、A、M”のとき、感度設定AUTOは選べません。

感度設定AUTOを選ぶと、被写体の明るさに適した感度が自動設定されます。

4

感度設定が64、100、200、400、800、1600のときは設定した感度が画面に表示されます。

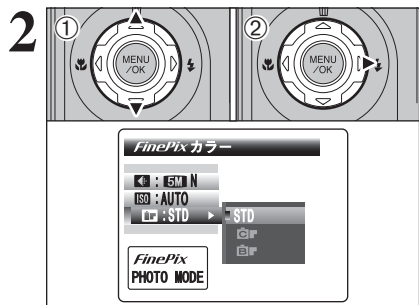
F フォトモード 静止画撮影

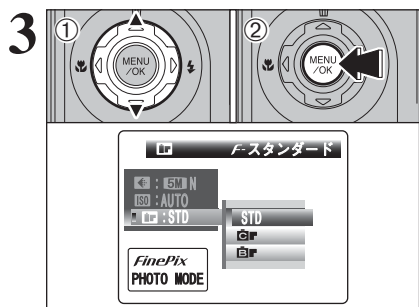
画像の色合いを変更する（FinePixカラー）

1

①電源レバーを"📷"に合わせます。
②モードダイヤルを静止画撮影モードに合わせます。
③"*F*"ボタンを押して、メニューを表示します。

"🎥"動画撮影モードは"FinePixカラー"の設定ができません。

FinePixカラーは、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。

2

①"▲▼"で"　"FinePixカラーを選びます。
②"▶"を押します。

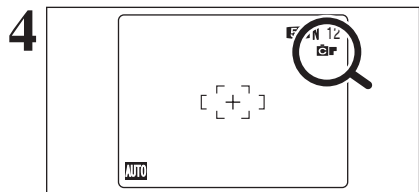
3

①"▲▼"で設定を変更します。
②"MENU/OK"ボタンを押して決定します。

F-クロームは人物のアップ（ポートレート）など被写体によっては効果が分かりにくい場合があります。

F-クロームは画像に対する効果がシーンによって異なるため、*F*-スタンダードとの併用をおすすめします。また、画面では差が分からない場合があります。

F-クローム、*F*-B＆Wで撮影するとExif Print対応プリンターでは、自動画質補正が抑制されます。

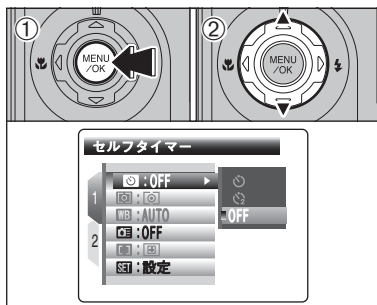
F-スタンダード	コントラスト、色味を標準に設定します。通常はこの設定でお使いください。
F-クローム	コントラスト、色が強めに撮影されます。風景（青空や深緑）や花などがより鮮やかに撮影され効果を発揮します。
F-B＆W	撮影した画像を黒白にするときに設定します。

4

F-クローム、*F*-B＆Wに設定すると画面にアイコンが表示されます。

F-クローム：C
F-B＆W　：B

3 応用編

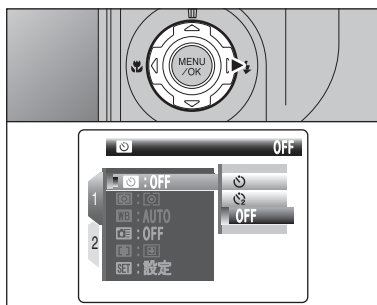
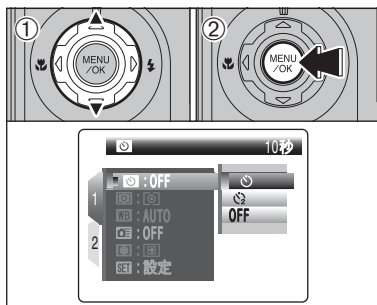
静止画メニュー 静止画メニューを設定する

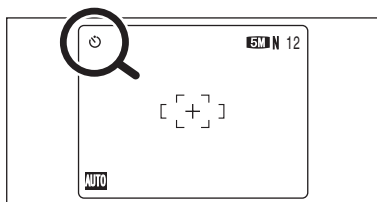
1

①"MENU/OK" ボタンを押して、メニューを表示します。
②"▲▼" でメニューを選びます。

メニュー項目の一番上か一番下で "▲" または "▼" を押すとページが切り換わります。

2

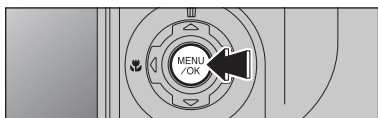
"▶" を押します。

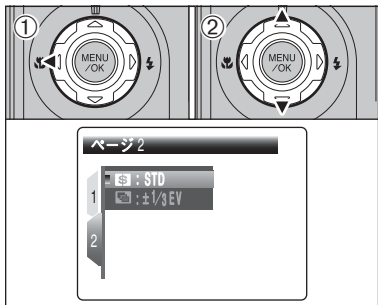
3

①"▲▼" で設定を変更します。
②"MENU/OK" ボタンを押して決定します。

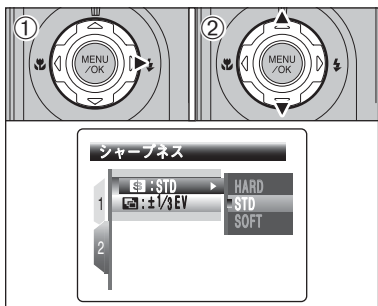
4

設定を有効にすると画面にアイコンが表示されます。

撮影モードにより設定可能な撮影メニューは変わります。

メニューのページを切り換えるには

1

“MENU/OK” ボタンを押して、メニューを表示します。

2

①“◀” でページ番号に移ります。
②“▲▼” でページを選びます。

3

①“▶” で項目に移ります。
②“▲▼” で項目を選びます。

セルフタイマー ➡60ページ

撮影者を含めた集合写真などを撮影するときに使用します。

測光 ➡61ページ

被写体と背景の明るさが大きく異なる撮影シーンで、マルチで思いどおり測光されない場合に使用します。

ホワイトバランス ➡61ページ

撮影時の環境、照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたいときに変更します。

クイックショット ➡63ページ

ピント合わせの速度を速くできます。

AFモード ➡63ページ

ピントを合わせる方法を設定します。

シャープネス ➡65ページ

輪郭をソフトにしたり強調したり、撮影画質を調節するときに変更します。

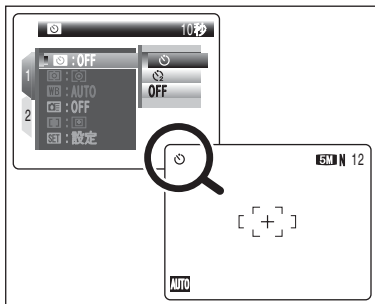
ブラケティング ➡65ページ

同じ画像を露出を変えて撮影したいときに使用します。

静止画メニュー

※メニューの表示方法（➡58ページ）

セルフタイマー撮影をする
使用可能撮影モード：AUTO、、、、、、P、S、A、M

1

撮影者を含めた集合写真などに使用します。
セルフタイマーを設定すると、画面にセルフタイマーマークが表示されます。

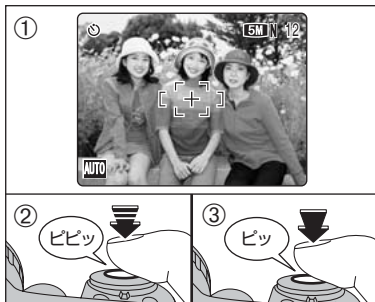
：10秒後撮影
：2秒後撮影

セルフタイマーは、次のときに自動的に解除されます。
- 撮影が完了したとき
- モードダイヤルを切り換えたとき
- 再生モードに切り換えたとき
- 電源が切れたとき

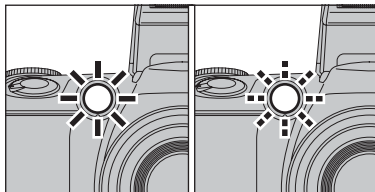
◆2秒後撮影について◆

三脚を使用してもシャッター操作でカメラがブレてしまう場合に便利です。

2

①

①AFフレームを被写体に合わせます。
②シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
③半押しのまま、さらにシャッターボタンを押し込む（全押し）と、セルフタイマーが開始されます。

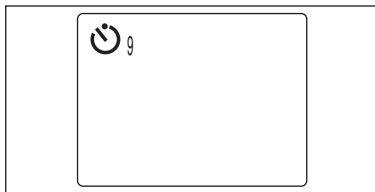
AF/AEロック撮影も可能です（➡27ページ）。
レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ（露出）にならないことがあります。
セルフタイマー撮影時は、AF補助光が暗くなります。

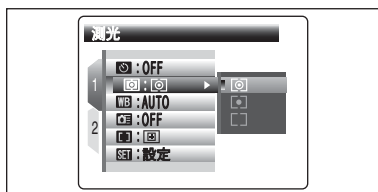
3

セルフタイマーランプが点灯したのち点滅に変わり、撮影されます。

■セルフタイマーランプ表示

	5秒間点灯→5秒間点滅
	2秒間点滅

開始したセルフタイマー撮影は “DISP/BACK” ボタンを押すと解除できます。

4

撮影されるまでの間、画面にカウントダウン（秒読み）表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

明るさの測定方法を変える（測光）　使用可能撮影モード：P、S、A、M

被写体と背景の明るさが大きく異なる撮影シーンで、マルチで思いどおり測光されない場合に使用します。

マルチ（分割測光）：
自動で場面を判別し、露出が最適になるように測光します。

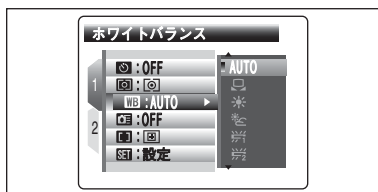
スポット：
画面中央部の露出が最適になるように測光します。

アベレージ：
画面全体を平均して測光します。

"AUTO、、、、、、"の撮影モードではマルチに固定されています。

◆次のような被写体のとき効果があります◆

- マルチ
  シーン自動認識により被写体を分析し、幅広い条件で適正な露出が得られます。通常はマルチの使用をおすすめします。
- スポット
  明暗差の大きい被写体で、ねらったものに正確に露出を合わせたいときに有効です。
- アベレージ
  構図や被写体により露出が変化しにくい特長があります。白や黒などの服を着た人物や、風景の撮影などに有効です。

画像の色味を変更する（ホワイトバランス）　使用可能撮影モード：P、S、A、M

撮影時の環境、照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスにならない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。ホワイトバランスについては151ページをご参照ください。

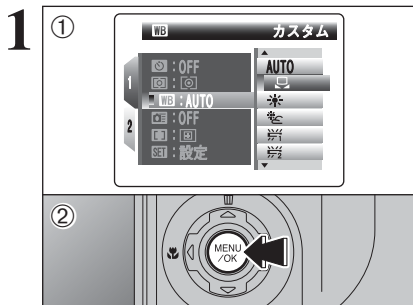
AUTO：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）
：カスタムホワイトバランス
：晴れた屋外での撮影
：日陰での撮影
：昼光色蛍光灯下での撮影
：昼白色蛍光灯下での撮影
：白色蛍光灯下での撮影
：電球、白熱灯下での撮影

＊フラッシュ発光時のホワイトバランス（カスタムホワイトバランスを除く）は、フラッシュ用の設定になりますので、意図した撮影の場合フラッシュを発光禁止（➡48ページ）にしてください。

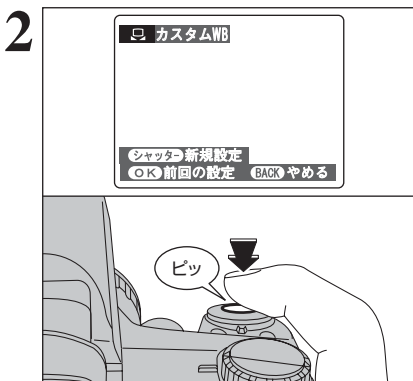
撮影環境（光源など）によって多少色味が変わる場合があります。

3 応用編

次ページにつづく

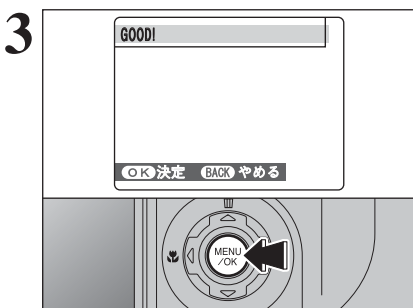
1

カスタムホワイトバランスの設定

撮影時の環境、照明光に対して正確にホワイトバランスを合わせたいときに使用します。特殊な効果を出したいときにも使用できます。
①“⊒”カスタムを選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押します。

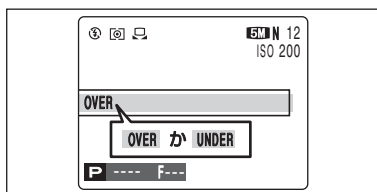
2

設定したい光源下で、白い紙などを画面いっぱいに表示し、シャッターボタンを押すと測定されます。

❗画面にホワイトバランスは反映されません。

前回設定したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンを押さずに“MENU/OK”ボタンを押してください。

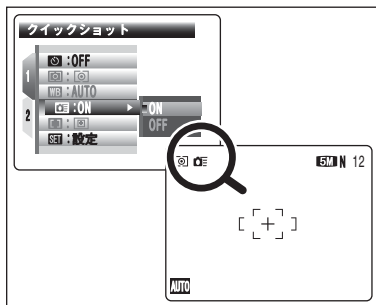
3

GOOD!
OK 決定 BACK やめる

適正な露出で測定されると“GOOD!”と表示されます。
“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

❗設定したカスタムホワイトバランスは、再設定するまで保持されます(電池を取り出しても保持されます)。
❗感度を変更したときは、カスタムホワイトバランスを設定し直すことをおすすめします。
❗撮影後、画像の色味(ホワイトバランス)を確認することをおすすめします。
- SET-UP画面で撮影画像表示(➡93ページ)を“1.5秒”、“3秒”、“連続”にします。
- 電源レバーを“▶”(再生)に合わせます(➡29ページ)。

[OVER]、[UNDER]が表示された場合は、適正な露出でホワイトバランスが測定されていません。[OVER]が表示された場合は“－”側に、[UNDER]が表示された場合は“＋”側に露出補正して、もう一度設定し直してください。

◆使用例◆

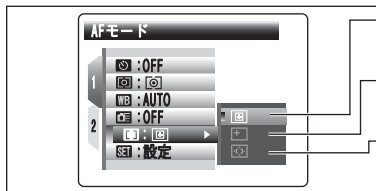
白い紙の代わりに色紙を使用すると、撮影画像のホワイトバランスを意図的に変えることができます。

クイックショット機能を使用する
使用可能撮影モード：AUTO、、、、、、P、S、A、M

シャッターボタンを半押しにしたときのピント合わせの時間が短くなり、素早く撮影ができます。

●撮影可能距離
広角側：約2m〜無限遠（∞）
望遠側：約4m〜無限遠（∞）

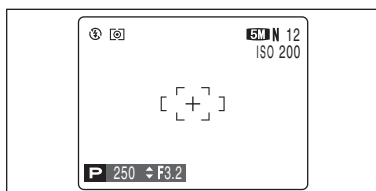
本機能使用時に、感度の設定値が大きくなるほど、画面に表示される画像は粗くなりますが、撮影画像には影響ありません。

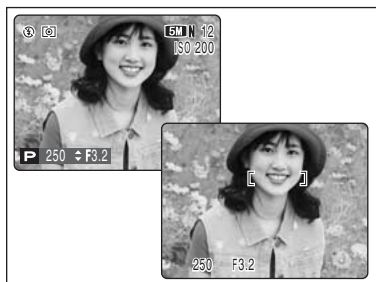
クイックショットをONにして撮影すると、電池の消耗が早くなります。

AFモードを設定する　使用可能撮影モード：P、S、A、M

センター固定

オートエリア

エリア選択

AFモードの選択は、フォーカスモードがS-AF（➡22ページ）のときにのみ可能です。

センター固定

画面中央でピントを合わせます。
AF/AEロック撮影（➡27ページ）を併用すると便利です。

オートエリア

シャッターボタンを半押しすると、画面中央付近のコントラストが高い被写体を自動認識し、ピントを合わせた被写体にAFフレームが表示されます。

マクロ撮影時は中央付近でピントが合います。

3 応用編

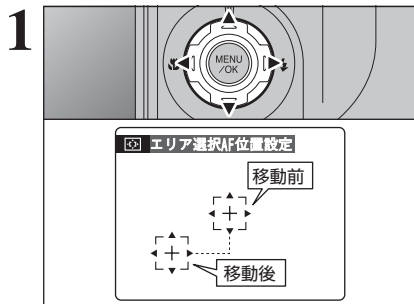
次ページにつづく

画面中央にコントラストの高い被写体があるとき

シャッターボタンを半押しすると、中央付近のコントラストが高い被写体の場所にAFフレームが表示され、ピントが合います。

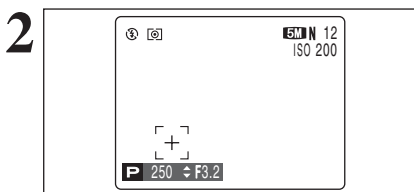
画面中央にコントラストの高い被写体がないとき

AFモード“オートエリア”で主被写体をとらえにくいときは、AFモードを“センター固定”にし、AF/AEロック(➡27ページ)をお使いください。

1

エリア選択

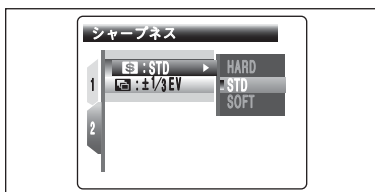
画面内でピントを合わせる位置を変えることができます。三脚に固定して構図を決めてから、ピントを合わせる位置を変えるときなどに使用します。

“⊹”(ターゲットポイント)を、“▲▼◀▶”でピントを合わせたい位置に移動します。

2

ターゲットポイントを移動した位置にAFフレームが表示されます。

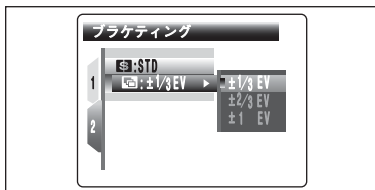
通常どおり撮影します。AFフレームを再度移動するときは、メニューの“◘”AFモードから“エリア選択”を選んでください。

AFフレームの位置にかかわらず、露出合わせは常に画面中央付近で行われます。主被写体に露出を合わせるときは、AF/AEロックの使用をおすすめします。

シャープネスを調節する　使用可能撮影モード：P、S、A、M

輪郭をソフトにしたり強調したり、撮影画質を調節するときに使用します。

HARD（ハード）：
　輪郭を強調します。
　建物、文字などを鮮明にしたい撮影に最適です。
STD（スタンダード）：
　通常の撮影に最適なシャープネス処理をします。
SOFT（ソフト）：
　輪郭をソフトにします。
　人物などソフトにしたい撮影に最適です。

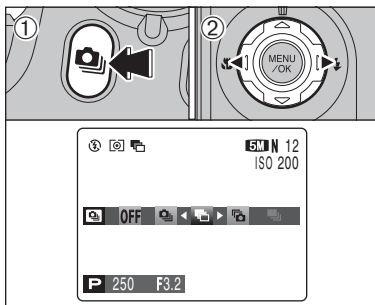
ブラケティングの設定をする　使用可能撮影モード：P、S、A、M

1

同じ画像を露出を変えて撮影したいときに使用します。
自動的に設定値きざみで適正、オーバー、アンダーの露出で3コマ連続して撮影します。

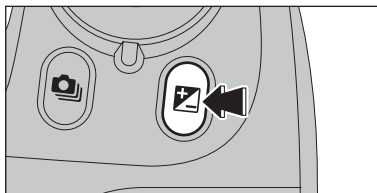
●設定値：3種類
　（±1/3EV、±2/3EV、±1EV）
　EVについては151ページをご参照ください。

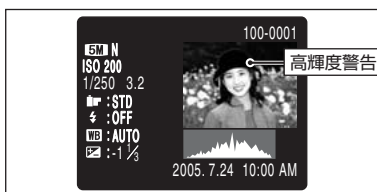
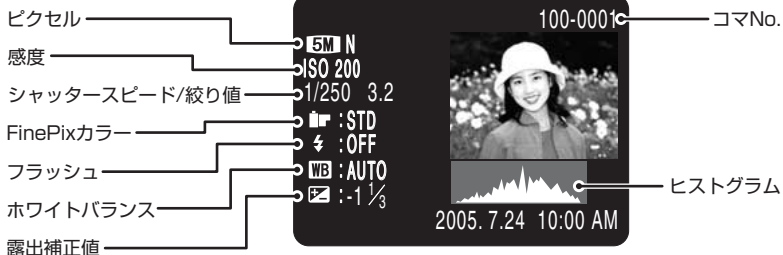
- アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定値きざみで撮影されません。
- フラッシュ撮影はできません。
- 必ず3コマの画像が撮影されます。ただし、 xD-ピクチャーカード に3コマ分の空き容量がない場合は撮影できません。

2

オートブラケティング

ブラケティングの露出の値を設定後、
①“”ボタンを押しながら、
②“◀▶”を押して“”を選びます。

3 応用編

再生機能 再生インフォメーション機能を使用する

撮影時の情報を確認することができます。
“☒” ボタンを押している間のみ確認できます。

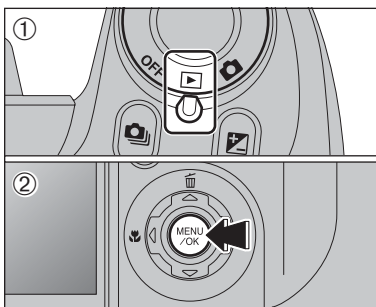
マルチ再生中（➡29ページ）は使用できません。

高輝度警告：露出オーバーして、白トビした箇所を黒く点滅して表示します。

◆ヒストグラム表示について◆

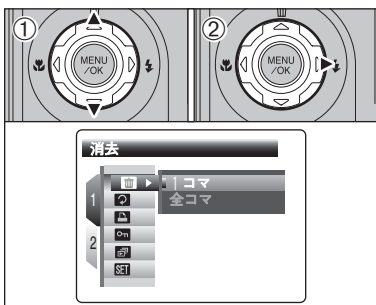
ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ/縦軸：ピクセルの数）に表したものです。
① 適正露出の場合：全体的にピクセルの数が多く山なりに分布します。
② 露出オーバーの場合：ハイライトのピクセルの数が多く右に偏ります。
③ 露出アンダーの場合：シャドーのピクセルの数が多く左に偏ります。

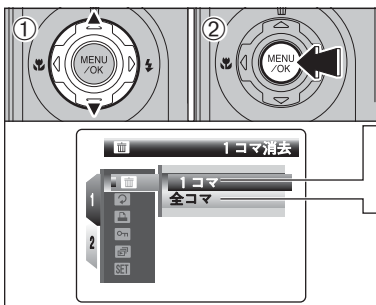
被写体によってグラフ形状は異なります。

画像を消去する（1コマ、全コマ）

1

①電源レバーを “▶” に合わせます。
②“MENU/OK” ボタンを押して、メニューを表示します。

誤ってコマ（ファイル）を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

2

①“▲▼” で “🗑” 消去を選びます。
②“▶” を押します。

3

①“▲▼” で “1コマ” か “全コマ” を選びます。
②“MENU/OK” ボタンを押します。

1コマ

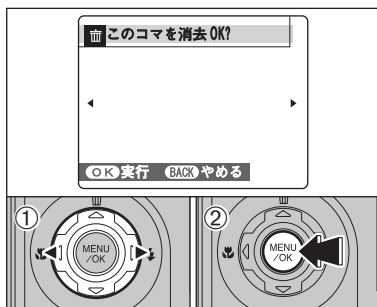
選んだコマ（ファイル）だけを消去します。

全コマ

プロテクトされていないすべてのコマ（ファイル）を消去します。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

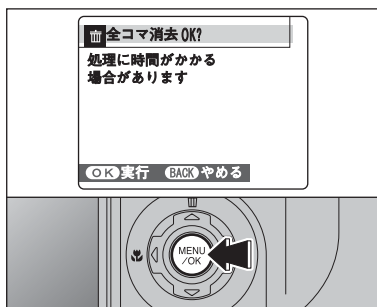
消去するコマ（ファイル）にプリント予約を設定していると “プリント予約があります” と表示されます。

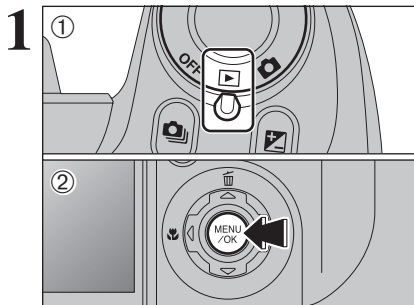
次ページにつづく

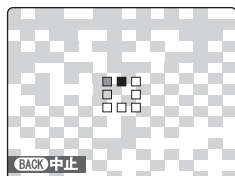
再生メニュー 画像を消去する（1コマ、全コマ）

1コマ

①“◀▶”で消去するコマ（ファイル）を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ（ファイル）を消去します。

続けて消去するには①②を繰り返します。
消去を終えるには“DISP/BACK”ボタンを押します。

❗“MENU/OK”ボタンを繰り返し押すと連続して消去されます。誤って消去しないよう注意してください。
❗プロテクトされたコマ（ファイル）は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください（➡76ページ）。

全コマ

“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）を消去します。

❗プロテクトされたコマ（ファイル）は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください（➡76ページ）。

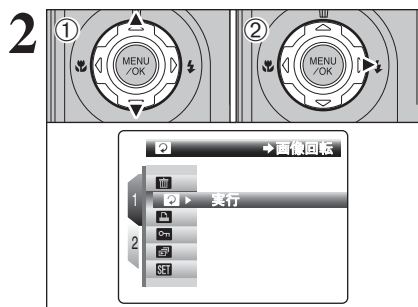
◆操作を途中でやめたいときは◆

全コマ消去を中止したいときは“DISP/BACK”ボタンを押してください。プロテクトされていないコマ（ファイル）の中で、いくつかのコマ（ファイル）が消去されずに残ります。

❗すぐに中止した場合でも、いくつかのコマ（ファイル）は消去されます。

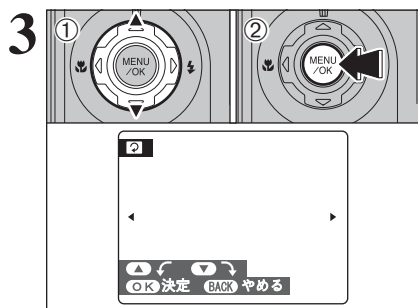
再生メニュー 再生画像を回転する（画像回転）

1

本機で撮影した画像を回転設定します。
①電源レバーを “▶” に合わせます。
②“MENU/OK” ボタンを押して、メニューを表示します。

2

①“▲▼” で “ ” 画像回転を選びます。
②“▶” を押します。

[プロテクトされています] が表示された場合はプロテクトを解除してください（➡76ページ）。

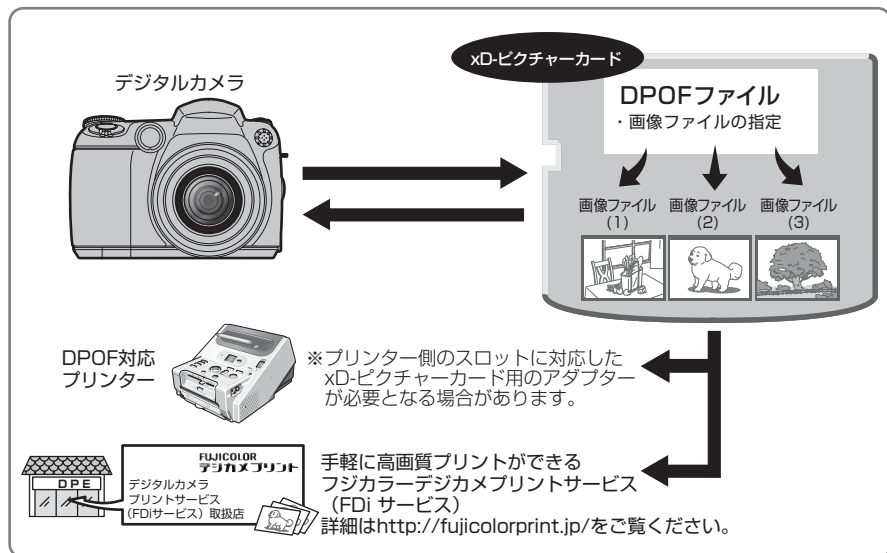
3

①“▲▼” で画像を回転して表示します。
②“MENU/OK” ボタンを押して決定します。回転を取り消す場合は “DISP/BACK” ボタンを押します。

本機で再生する場合か、付属のFinePixViewerで再生した場合に回転表示されます。

◆画像回転できる静止画について◆

本機以外のカメラで撮影した静止画は画像回転できない場合があります。

プリント予約(DPOF)について

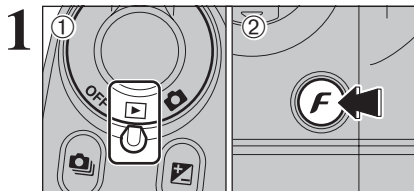
DPOF(ディーポフ)とはDigital Print Order Format(デジタルプリントオーダーフォーマット)のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数、日付の有無などの指定情報を **xD-ピクチャーカード** などに記録するときの形式です。

- DPOF対応デジタルカメラ(本機)では上記の情報をカメラの操作で **xD-ピクチャーカード** に記録することができます。
- DPOF情報を記録した **xD-ピクチャーカード** を、フジカラーデジカメプリントサービス(FDiサービス)取扱店にお持ちいただき、お店で「DPOF指定でプリント」とお伝えいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。一回のDPOF指定でプリントできるサイズは1種類です。一部の店舗では、DPOF指定をお受けしていませんので、ご注文時にご確認ください。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ(画像ファイル)を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

◆デジカメプリントのご注文について◆

DPOF指定しなくてもフジカラーデジカメプリントサービス取扱店でプリントしたいコマやその枚数、日付の有無などの指定が可能です(お店のプリント受付機をご利用いただくと画像を見ながら簡単にできます)。詳しくはお店にご確認ください。

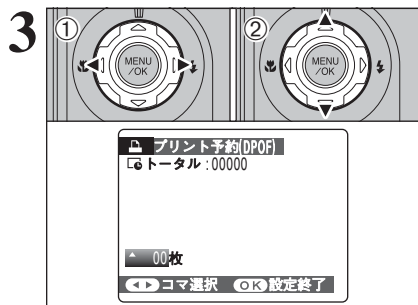
DPOF指定する場合も、お店で日付ありを指定する場合も撮影時にカメラの日時が正しく設定されていることが必須です。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください。

プリントする画像を設定する（簡単予約）

1

①電源レバーを“▶”に合わせます。
②“𝑭”ボタンを押します。
初期設定では“日付あり設定”に設定されています。
“日付あり設定”、“日付なし設定”を設定するときは、73ページをご参照ください。

2

“𝑭”ボタンを押します。
すでにプリント予約がされたコマ（ファイル）がある場合は、この手順はありません。手順**3**に進んでください。

“日付あり設定”に設定しているときは、画面に“”が表示されます。

3

①“◀▶”で設定するコマ（ファイル）を選びます。
②“▲▼”でプリントするコマ（ファイル）にプリント枚数を99枚まで設定できます。プリントしないコマ（ファイル）はプリント枚数を0枚に設定します。
続けて設定するには①②を繰り返します。

- 同一 xD-ピクチャーカード 内で999コマの画像にプリント予約できます。
- 動画とCCD-RAWはプリント予約できません。
- 本機以外で撮影した画像はプリント予約できない場合があります。

設定中に“DISP/BACK”ボタンを押すと、新規設定がすべてキャンセルされます。すでにプリント予約されていたときは、修正のみキャンセルします。

◆他の機種でプリント予約が設定してあるとき◆

他の機種でプリント予約されたコマ（ファイル）がある場合は“プリント予約リセット OK？”と表示されます。
“MENU/OK”ボタンを押すと、すでにプリント予約された設定はすべて消去されます。新たにプリント予約をやり直す必要があります。

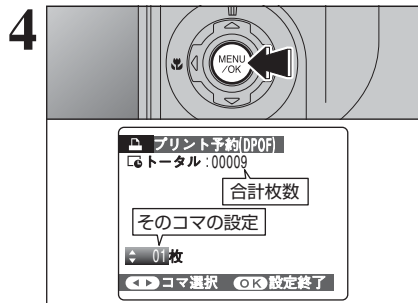
“DISP/BACK”ボタンを押すと設定を変更しません。

次ページにつづく

4

設定が終了したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押します。

“DISP/BACK”ボタンを押すとプリント予約されません。

5

合計枚数が表示されます。
“F”ボタンを押します。

◆プリント予約を解除したいときは◆

プリント予約したコマ（ファイル）の設定を解除（1コマ解除）するには、
①“◀▶”でプリント予約を解除したいコマ（ファイル）を選びます。
②プリント枚数を0枚に設定します。
続けて解除するには①②を繰り返します。
設定が終了したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押してください。
●全コマ解除（➡75ページ）

再生メニュー 🖨 プリントする画像を設定する（1コマ設定、解除、日付の有無）

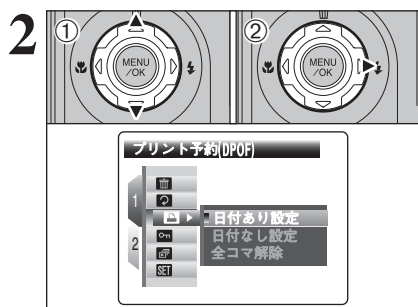
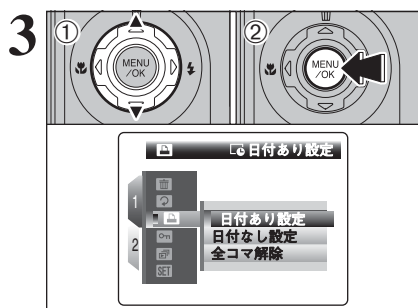
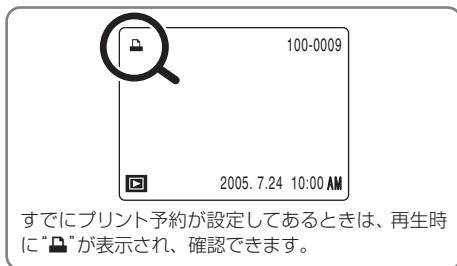
1

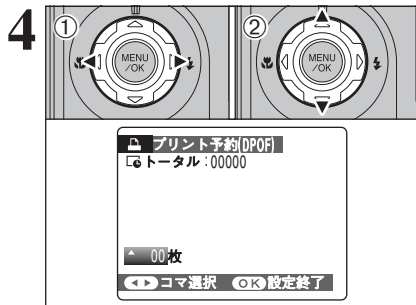
①電源レバーを“▶”に合わせます。
②“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。

2

①“▲▼”で“🖨”プリント予約（DPOF）を選びます。
②“▶”を押します。

すでにプリント予約が設定してあるときは、再生時に“🖨”が表示され、確認できます。

3

①“▲▼”で“日付あり設定”か“日付なし設定”を選びます。“日付あり設定”にすると、プリントに日付が印字されます。
②“MENU/OK”ボタンを押します。

❗“日付あり設定”にするとプリントサービスかDPOF対応プリンターなどで日付を入れてプリントできます（プリンターの仕様によっては日付が入らないことがあります）。

次ページにつづく

プリントする画像を設定する（1コマ設定、解除、日付の有無）

4

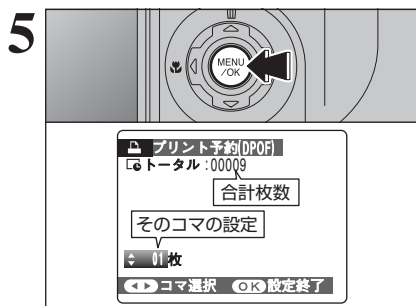
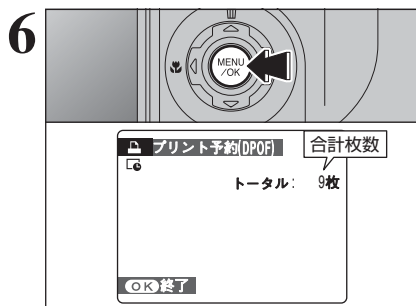
①"◀▶"で設定するコマ（ファイル）を選びます。
②"▲▼"でプリントするコマ（ファイル）にプリント枚数を99枚まで設定できます。プリントしないコマ（ファイル）はプリント枚数を0枚に設定します。
続けて設定するには①②を繰り返します。

- 同一 xD-ピクチャーカード 内で999コマの画像にプリント予約できます。
- "日付あり設定"に設定しているときは、画面に"⌚"が表示されます。
- 動画とCCD-RAWはプリント予約できません。
- 本機以外で撮影した画像はプリント予約できない場合があります。

設定中に"DISP/BACK"ボタンを押すと、新規設定がすべてキャンセルされます。すでにプリント予約されていたときは、修正のみキャンセルします。

5

設定が終了したら、必ず"MENU/OK"ボタンを押します。
"DISP/BACK"ボタンを押すとプリント予約されません。

6

合計枚数が表示されます。
"MENU/OK"ボタンを押します。

◆プリント予約を解除したいときは◆

プリント予約したコマ（ファイル）の設定を解除（1コマ解除）するには、
①"◀▶"でプリント予約を解除したいコマ（ファイル）を選びます。
②プリント枚数を0枚に設定します。
続けて解除するには①②を繰り返します。
設定が終了したら、必ず"MENU/OK"ボタンを押してください。
●全コマ解除（➡75ページ）

再生メニュー

プリントする画像を設定する（全コマ解除）

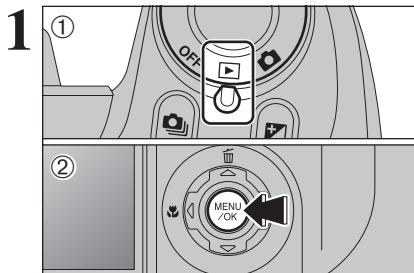
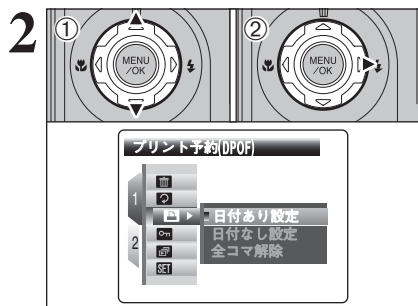
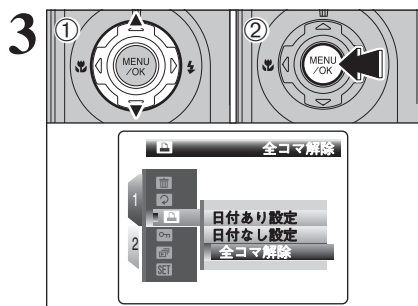
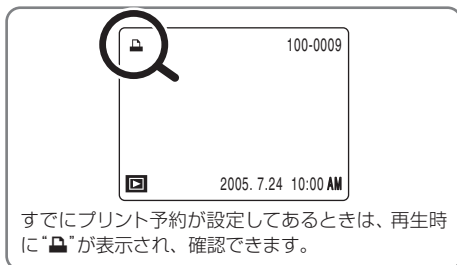
1

①電源レバーを “▶” に合わせます。
②“MENU/OK” ボタンを押して、メニューを表示します。

2

①“▲▼” で “ ” プリント予約（DPOF）を選びます。
②“▶” を押します。

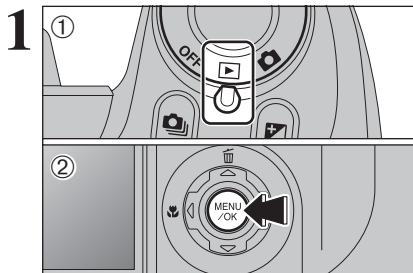
すでにプリント予約が設定してあるときは、再生時に“ ”が表示され、確認できます。

3

①“▲▼” で “全コマ解除” を選びます。
②“MENU/OK” ボタンを押します。

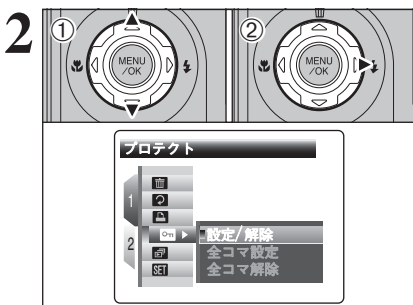
4

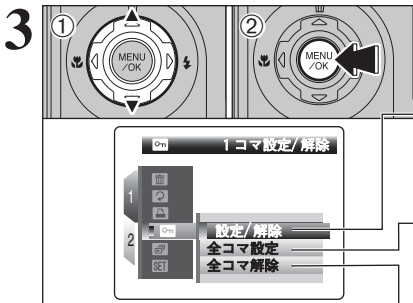
実行を確認する画面が表示されます。
プリント予約をすべて解除するには“MENU/OK” ボタンを押します。

画像を保護する（設定/解除、全コマ設定、全コマ解除）

1

①電源レバーを“▶”に合わせます。
②“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。

プロテクトとは、コマ（ファイル）を誤って消去しないように設定することです。ただし“フォーマット”するとすべてのコマ（ファイル）が消去されます（➡96ページ）。

2

①“▲▼”で“O-π”プロテクトを選びます。
②“▶”を押します。

3

①“▲▼”で“設定/解除”、“全コマ設定”か“全コマ解除”を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押します。

設定/解除

選んだコマ（ファイル）だけをプロテクトしたり、解除したりします。

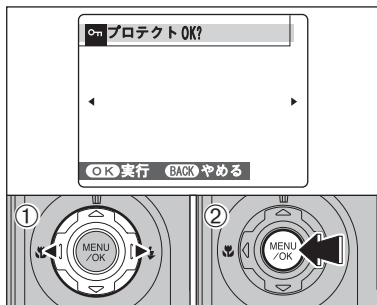
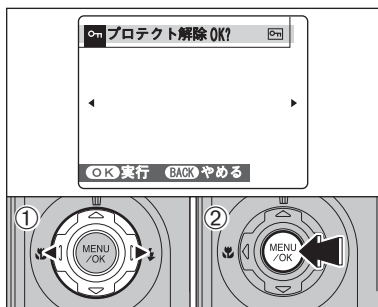
全コマ設定

すべてのコマ（ファイル）をプロテクトします。

全コマ解除

すべてのコマ（ファイル）のプロテクトを解除します。

設定

①“◀▶”でプロテクトするコマ（ファイル）を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ（ファイル）をプロテクトします。
続けてプロテクトするには①②を繰り返します。
プロテクトを終えるには“DISP/BACK”ボタンを押します。

解除

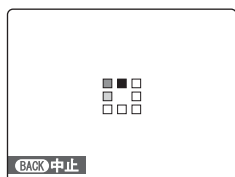
①“◀▶”でプロテクトしたコマ（ファイル）を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ（ファイル）のプロテクトを解除します。

全コマ設定

“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）をプロテクトします。

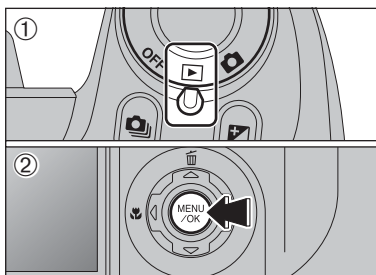
全コマ解除

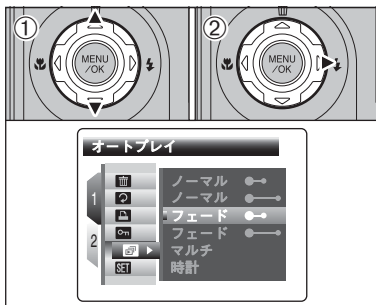
“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）のプロテクトを解除します。

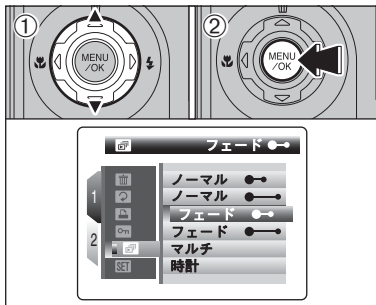
◆操作を途中でやめたいときは◆

撮影した画像が大量にあると、全コマ設定、全コマ解除に時間がかかる場合があります。
操作の途中で静止画や動画の撮影をしたい場合は“DISP/BACK”ボタンを押してください。その後、全コマ設定、全コマ解除をし直す場合は、76ページの手順**1**から操作し直してください。

3 応用編

自動再生する（オートプレイ）

1

①電源レバーを“▶”に合わせます。
②“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。

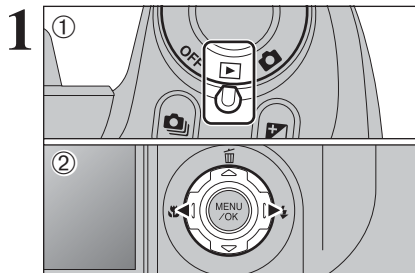
2

①“▲▼”で“”オートプレイを選びます。
②“▶”を押します。

3

①“▲▼”を押して自動再生の間隔と画像の切り換えかたなどを選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。

“ノーマル”、“フェード”のときは“◀▶”でコマ送りできます。
途中でやめる場合は“MENU/OK”ボタンを押してください。

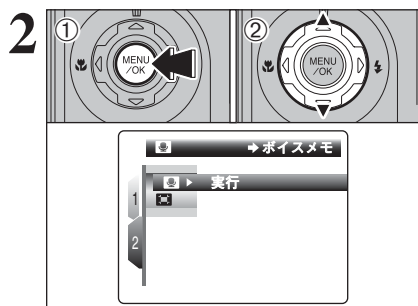
- “DISP/BACK”ボタンを1回押すと、画面にガイダンスが表示されます。
- オートプレイ中はオートパワーオフしません。
- 動画は自動的に再生が始まります。再生が終わると次のコマに進みます。

再生メニュー ボイスメモを録音する

1

静止画に最長30秒間のボイスメモを付けることができます。

●録音形式：WAVE（➡151ページ）
PCM記録形式
●音声ファイルサイズ：約480KB（30秒録音時）

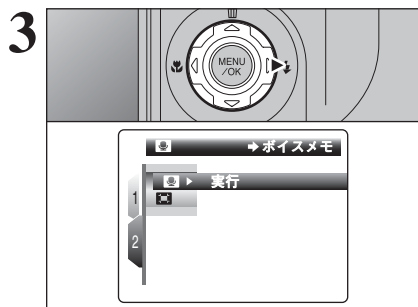
①電源レバーを“▶”に合わせます。
②“◀▶”でボイスメモを付けたい画像（静止画）を選びます。

2

①“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。
②“▲▼”で“ ”ボイスメモを選びます。

❗動画にはボイスメモを付けられません。
❗[プロテクトされています]が表示された場合はプロテクトを解除してください（➡76ページ）。

3

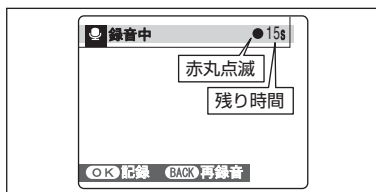
“▶”を押します。

4

画面に“録音スタンバイ”と表示されます。
“MENU/OK”ボタンを押すと録音が開始されます。

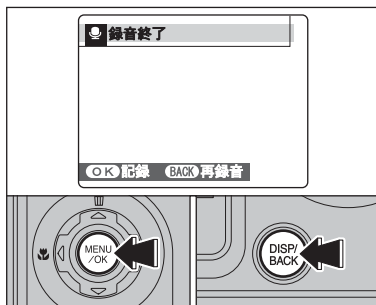
マイクに向かって録音してください。
約20cm離れるとうまく録音できます。

3 応用編

次ページにつづく

5

録音中は画面に残り時間が表示されます。

途中で完了する場合は “MENU/OK” ボタンを押してください。

6

30秒間録音すると画面に “録音終了” と表示されます。

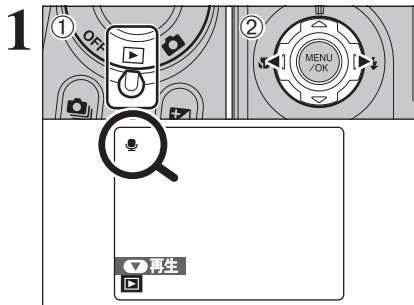
記録する場合：“MENU/OK” ボタンを押します。
再録音する場合：“DISP/BACK” ボタンを押します。

◆すでにボイスメモがあるときは◆

ボイスメモ付きの画像を選んだときは、再録音するかどうか選択画面が表示されます。

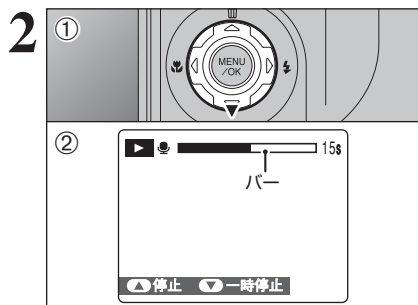
[プロテクトされています] が表示された場合はプロテクトを解除してください（➡76ページ）。

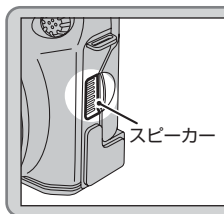
ボイスメモを再生する

1

①電源レバーを“▶”に合わせます。
②“◀▶”でボイスメモ付き画像ファイルを選びます。

マルチ再生ではボイスメモ再生できません。“DISP/BACK”ボタンを押して、1コマ再生にしてください。

ボイスメモ付き画像ファイルには、“🎙”のアイコンが画面に表示されます。

2

①“▼”を押すと再生されます。
②画面に再生時間とバーが表示されます。

音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください（➡82、93ページ）。

スピーカーをふさがないでください。

■ボイスメモ再生操作方法

	操　　作	説　　明
再生		再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除		再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止		再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し		再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。 ※一時停止中は操作できません。

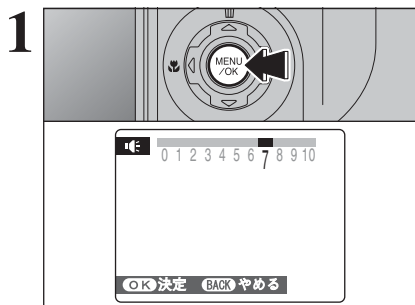
◆ボイスメモファイルの再生について◆

本機以外で記録したボイスメモファイルは再生できない場合があります。

次ページにつづく

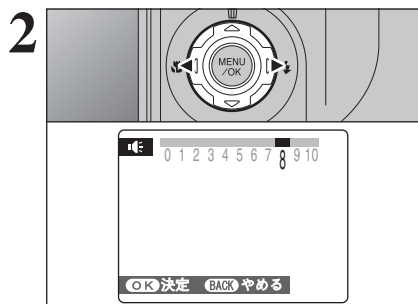
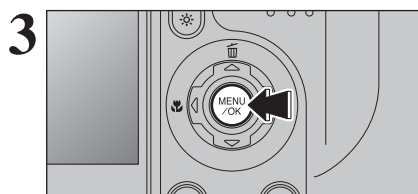
再生音量を調節する

ボイスメモ再生中に音量調節ができます。お好みに合わせて調節してください。

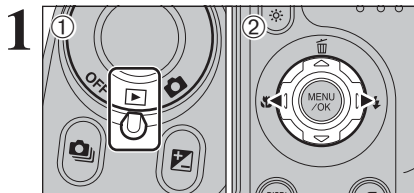
1

ボイスメモ再生中に"MENU/OK"ボタンを押します。
ボイスメモ再生は自動的に一時停止します。

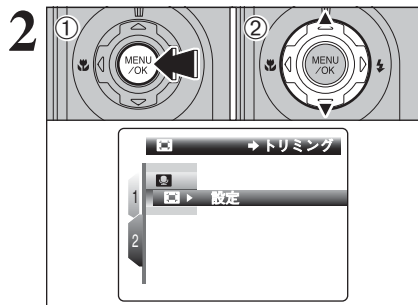
2

“◀▶” で音量を調節します。

3

“MENU/OK” ボタンを押して設定します。
自動的にボイスメモ再生されます。

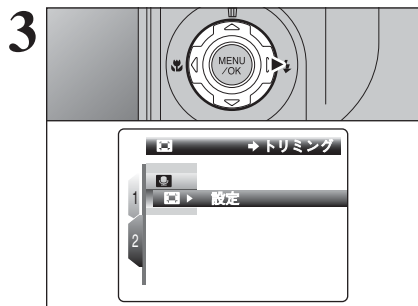
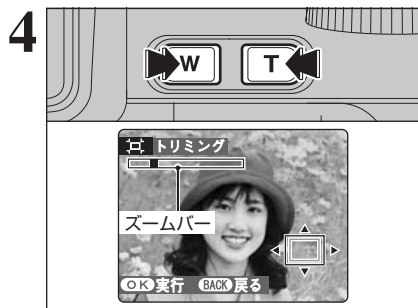
再生メニュー ⊡ 画像を切り抜く（トリミング）

1

①電源レバーを “▶” に合わせます。
②“◀▶” でトリミングするコマ（ファイル）を選びます。

2

① “MENU/OK” ボタンを押して、メニューを表示します。
②“▲▼” で “⊡”トリミングを選びます。

3

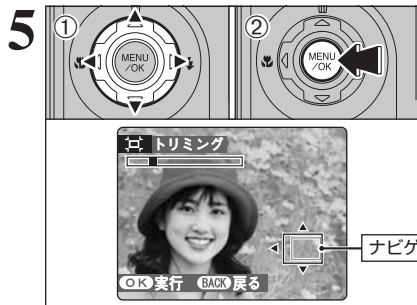
“▶” を押します。

4

ズームボタンを押すと静止画をズーム（拡大）します。このとき “ズームバー” が表示されます。

❗“DISP/BACK” ボタンを押すと、1コマ再生に戻ります。

ズーム倍率によって保存される画像サイズが変わり、0.3Mになる場合は “OK実行” の文字が黄色になります。

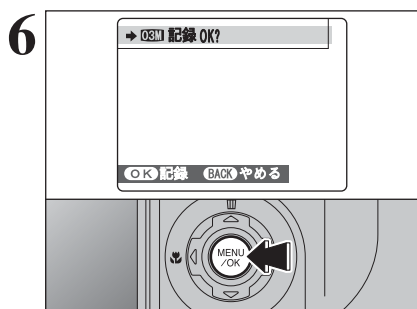
3 応用編

5

① “▲▼◀▶” を押すと、見える範囲を移動できます。
このときナビゲーション画面に現在の表示位置が表示されます。
② トリミングをするときは “MENU/OK” ボタンを押します。

❗“DISP/BACK” ボタンを押すと、1コマ再生に戻ります。

6

➡ 03M 記録 OK?

OK 記録 BACK やめる

MENU /OK

保存される画像サイズを確認し、“MENU/OK” ボタンを押します。トリミングした画像は最後のコマに別ファイルで追加されます。

■画像サイズについて

3M	DSCW、2L、HV、A5サイズ程度でプリントする場合。
2M	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でプリントする場合。
03M	電子メールへの画像添付やホームページで利用する場合。

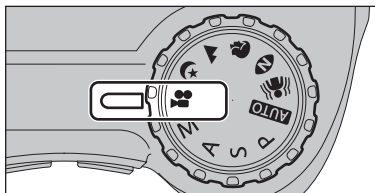
※プリントサイズについては55ページをご参照ください。

❗ピクセル設定が “3:2” で撮影された画像は、通常のサイズ（4：3）にトリミングされます。

◆トリミングできる静止画について◆

本機以外のカメラで撮影した静止画はトリミングできない場合があります。

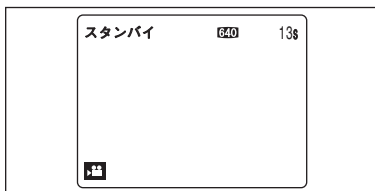
動画モード 動画を撮影してみましょう（🎥動画撮影）

1

モードダイヤルを“🎥”に合わせます。
音声付き動画が撮れるモードです。

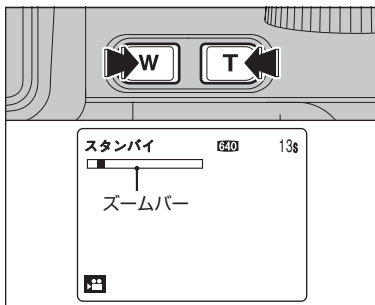
●撮影形式：Motion JPEG形式（➡151ページ）
モノラル音声付き
●ピクセルサイズ切り換え式
640（640×480ピクセル）
320（320×240ピクセル）
●フレームレート（➡151ページ）
30フレーム/秒（固定）

❗ピクセル設定の変更（➡87ページ）。
❗動画は xD-ピクチャーカード に記録しながら撮影するため、突然電源が切れる（電池カバーを開ける、スロットカバーを開ける、ACパワーアダプターの抜き差し）と正常に保存処理できません。

本機以外のカメラでは動画ファイルは再生できない場合があります。

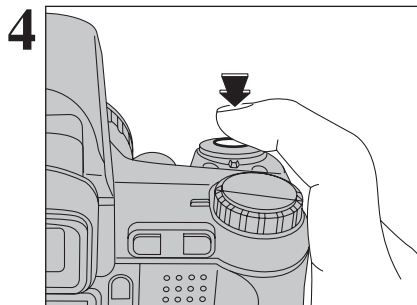
2

画面に撮影可能時間と“スタンバイ”が表示されます。

❗音声が同時に記録されるので、指などでマイク（➡10ページ）をふさがないようご注意ください。

3

撮影を開始する前にズームボタンでズームします。撮影中はズームできませんので、必ず撮影前に行ってください。

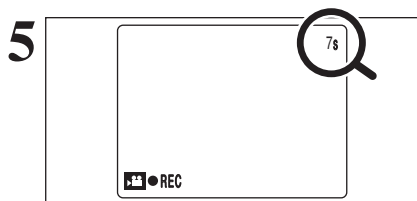
●光学ズーム焦点距離（35mmフィルム換算）
約38mm～約380mm相当
最大ズーム倍率 10倍
●撮影可能距離
広角側：約90cm～無限遠（∞）
望遠側：約2m～無限遠（∞）

次ページにつづく

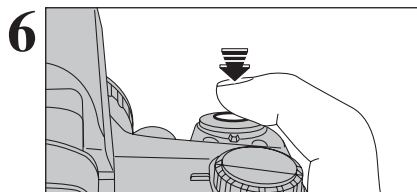
4

シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。

- 撮影前の画面と動画記録中の画面は明るさや色などが異なる場合があります。
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- 動画撮影中に操作音が記録されることがあります。

シャッターボタンを全押しすると、ピントは固定されますが、露出、ホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。

5

撮影中は、画面に“●REC”が表示され、右上に残り時間をカウントダウン表示します。

- 動画撮影中に被写体の明るさが変化すると、レンズ動作音が記録されることがあります。
- 屋外での撮影で風切り音が入る場合があります。
- 残り時間がなくなると自動的に撮影が終了し、 xD-ピクチャーカード に記録されます。

6

撮影中にシャッターボタンを半押しすると撮影を終了します。

- 撮影開始後すぐに終了しても約1秒間だけ xD-ピクチャーカード へ記録されます。

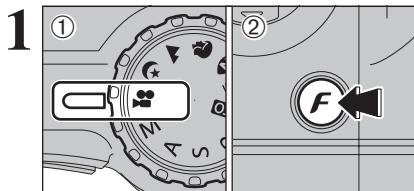
撮影可能時間について

■ xD-ピクチャーカード 標準撮影時間

＊新しい xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットした状態の標準撮影時間です。xD-ピクチャーカード の空き容量によって撮影時間が変わります。

	ピクセル	
	640（30フレーム/秒）	320（30フレーム/秒）
DPC-16（16MB）	13秒	26秒
DPC-32（32MB）	27秒	54秒
DPC-64（64MB）	55秒	1分49秒
DPC-128（128MB）	1分51秒	3分39秒
DPC-256（256MB）	3分43秒	7分19秒
DPC-512/M512（512MB）	7分26秒	14分39秒
DPC-M1GB（1GB）	14分54秒	29分20秒

動画の記録サイズを変更する（ピクセル）

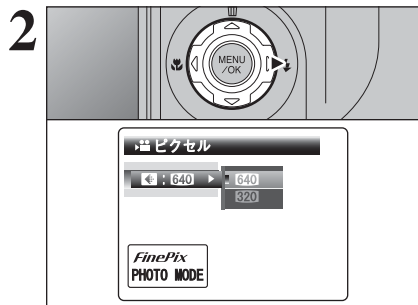
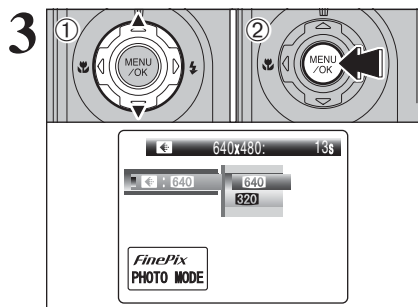
1

①モードダイヤルを“🎥”に合わせます。
②“*F*”ボタンを押して、メニューを表示します。

❗“🎥”動画撮影モードは“ISO”感度の設定ができません。
❗“🎥”動画撮影モードは“FC”FinePixカラーの設定ができません。

> ピクセルは、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。

2

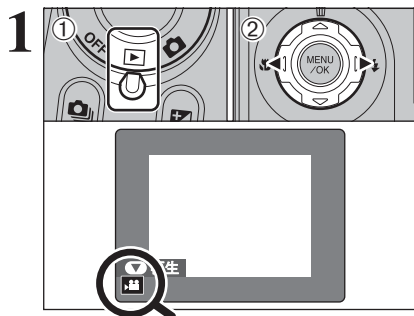
“▶”を押します。

3

①“▲▼”で設定を変更します。
②“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

動画モードのピクセル設定

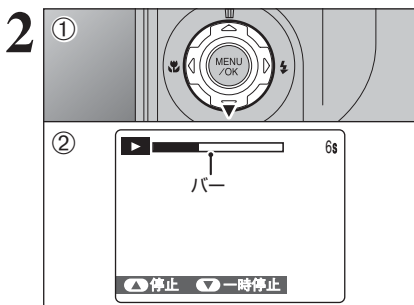
ピクセル	用途
640（640×480ピクセル）	画質優先
320（320×240ピクセル）	記録時間優先

再生モード 動画を見る（▶動画再生）

1

①電源レバーを“▶”に合わせます。
②“◀▶”で動画ファイルを選びます。

❗マルチ再生では動画再生できません。
“DISP/BACK”ボタンを押して、1コマ再生にしてください。

“🎥”のアイコンで表示されます。

2

①“▼”を押すと再生されます。
②画面に再生時間とバーが表示されます。

❗スピーカーをふさがないでください。
❗音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください（➡89、93ページ）。
❗高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に白い縦スジや、黒い横スジが入ることがありますが故障ではありません。

■動画再生操作方法

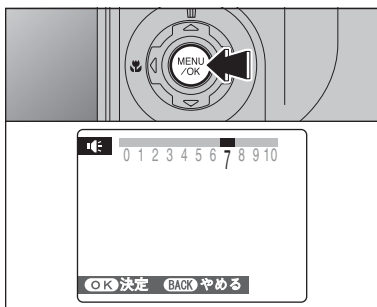
	操　作	説　明
再生	▼	再生を開始します。 再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し	◀▶	再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。
コマ送り	◀▶ 一時停止中	一時停止中に“◀”または“▶”を押すたびに1コマずつ送られます。 押し続けると速く送られます。

◆動画ファイルの再生について◆

- 本機以外で記録した動画ファイルは再生できない場合があります。
- パソコンで再生する場合、xD-ピクチャーカード 内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存して、そのファイルを再生してください。

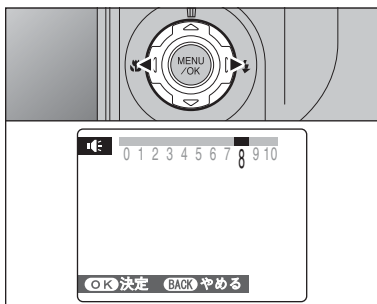
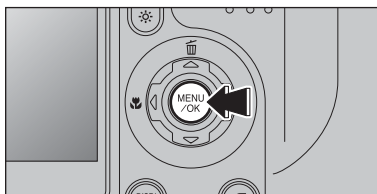
再生音量を調節する

動画再生中に音量調節ができます。お好みに合わせて調節してください。

1

動画再生中に “MENU/OK” ボタンを押します。
動画再生は自動的に一時停止します。

2

“◀▶” で音量を調節します。

3

"MENU/OK"ボタンを押して設定します。
自動的に動画再生されます。

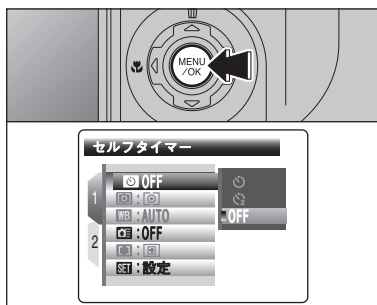
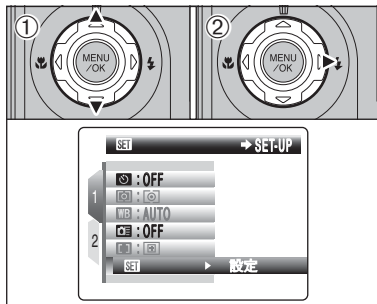
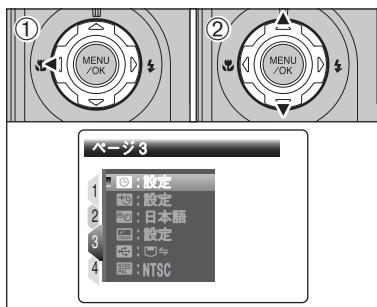
SET セットアップ画面の操作をする

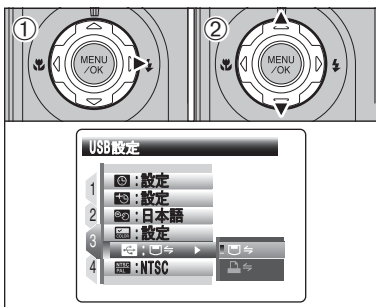
1

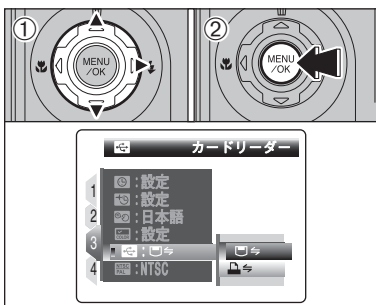
“MENU/OK” ボタンを押して、メニューを表示します。

2

①“▲▼” で “SET” SET-UPを選びます。
②“▶” を押します。

3

①“◀” でページ番号に移ります。
②“▲▼” でページを選びます。

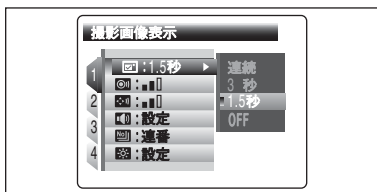
4

①"▶" で項目に移ります。
②"▲▼" で項目を選びます。

5

①"▶" を押して、"▲▼" で設定を変更します。
"[音量アイコン]" 再生音量、"[明るさアイコン]" モニター明るさ、"[フォーマットアイコン]" フォーマット、"[時計アイコン]" 日時設定、"[世界時計アイコン]" 世界時計、"[COLORアイコン]" 配色設定、"[電池アイコン]" 充電池放電、"[リセットアイコン]" リセットは "▶" を押します。
②変更後"MENU/OK"ボタンを押して決定します。

■SET-UPメニュー一覧

	項 目	表 示	工場出荷時	内 容	ページ
1	撮影画像表示	連続/3秒/1.5秒/OFF	1.5秒	撮影後に画像確認画面(撮影結果)を表示するかどうか設定できます。撮影結果がしばらく表示され、自動的に記録されます。 撮影画像と実際の色味が異なる場合がありますので、再生してご確認ください。	93
	シャッター音量	OFF/1/2/3	2	シャッターを切るときの音量を設定できます。	—
	ビープ音量	OFF/1/2/3	2	操作したときの音量を設定できます。	—
	再生音量	設定	7	動画再生、ボイスメモ再生時の音量設定ができます。	93
	コマNO.	連番/新規	連番	コマNO.を連番にするか新規にするかを設定します。	94
	モニター明るさ	設定	0	画面の明るさを設定できます。	94
2	デジタルズーム	ON/OFF	OFF	ズームする際にデジタルズームを併用するか設定できます。	95
	CCD-RAW	ON/OFF	OFF	画質をCCD-RAWに設定します。カメラで画像処理を行わないためパソコンで画像処理を行う必要があります。	95
	レンズ位置記憶	ON/OFF	OFF	電源を切ったときにレンズ位置を記憶するか設定できます。次に電源を入れたときに、記憶したレンズ位置に移動します。	—
	AF補助光	ON/OFF	ON	AF補助光をONにするかOFFにするか設定できます。	—
	オートパワーオフ	5分/2分/OFF	2分	何も操作していないときに自動的に電源が切れる時間を設定できます。	96
	フォーマット	実行	—	すべてのファイルを消去します。	96
3	日時設定	設定	—	日付、時刻を修正できます。	16
	世界時計	設定	—	時差の設定ができます。	97
	言語/LANG.	日本語/ENGLISH	日本語	画面に表示する言語を設定できます。	—
	配色設定	設定	—	メニューやカーソルの色を設定できます。	—
	USB 設定	⇆/⇆	⇆	⇆ : カードリーダー xD-ピクチャーカード から簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます。	120、130
				⇆ : ピクトブリッジ PictBridge(ピクトブリッジ)対応のプリンターがあれば、パソコンを使わないでカメラとプリンターを直接つないでプリントできます。	100
	ビデオ出力	NTSC/PAL	NTSC	ビデオ出力をNTSCにするかPALにするかを設定します。日本国内で使用する場合はNTSCを選択してください。	—
4	充電池放電	実行	—	ニッケル水素電池を放電します。	142
	リセット	実行	—	日時設定、世界時計、言語/LANG.、ビデオ出力、配色設定以外のすべての設定を工場出荷時設定にリセットします。"▶"を押すと確認画面が表示されるので、リセットするには"MENU/OK"ボタンを押します。	—

電池を交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずに電池カバーを開けたりACパワーアダプターを抜くと、各種設定が工場出荷時設定に戻ることがあります。

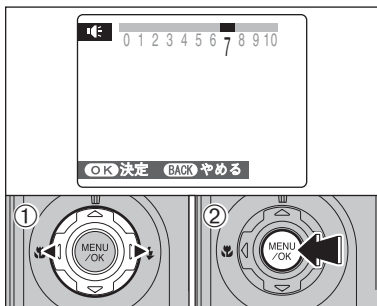
撮影した画像を表示する

撮影後に撮影結果を表示するかしないか設定できます。

連続：自動的に記録されたあとに、撮影結果が表示されます。
次の撮影をするには、“MENU/OK” ボタンを押します。

3秒、1.5秒：撮影結果が約3秒間、または約1.5秒間表示され、自動的に記録されます。

OFF：撮影結果は表示されず、自動的に記録されます。

- 40コマ連写時は、撮影結果が表示されません。
- 連写、オートブラケティング、サイクル連写では、“OFF” に設定しても一定時間表示され、自動的に記録されます。
- “3秒、1.5秒” のときに表示される画像は、実際に記録される画像と色味が若干異なる場合があります。

再生音量を調節する

動画再生、ボイスメモ再生時の音量を調節します。

①“◀▶” で音量を調節します。数字が大きくなるほど音量が大きくなり、“0” のときは消音になります。

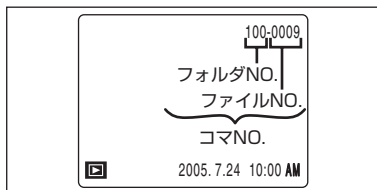
②“MENU/OK” ボタンを押して設定します。

コマNO.の設定をする（コマNO.メモリー）

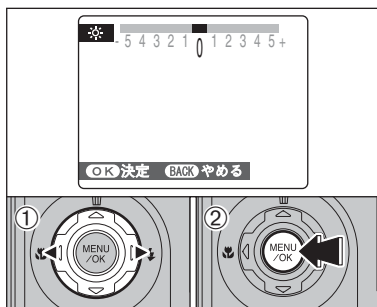
	＜連番＞	＜新規＞
A	0001 ⋮ 0005	0001 ⋮ 0005
↓ B	0006 ⋮ 0010	0001 ⋮ 0005

＊A、Bともにフォーマットされた xD-ピクチャーカード を使用した場合

コマNO.を連番にするか新規にするかを設定します。
連番：最後に使用した xD-ピクチャーカード の「最終ファイルNO.」から続けて撮影
新規： xD-ピクチャーカード ごとに「ファイルNO. 0001」から撮影
“連番”は、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

- “リセット”を実行した場合、コマNO.の設定（“連番”または“新規”）は“連番”になりますが、コマNO.自体は“0001”に戻りません。
- 記憶した「最終ファイルNO.」より、大きいファイルNO.の画像が xD-ピクチャーカード にあった場合、大きいファイルNO.の続きから撮影されます。

画像を再生するとファイルNO.を確認できます。画面の右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNO.で、上3けたはフォルダNO.です。

- xD-ピクチャーカード を交換するときは、必ず電源を切ってからスロットカバーを開けてください。電源を切らずにスロットカバーを開けると、コマNO.の連番が機能しないことがあります。
- ファイルNO.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダNO.が1つ繰り上がります。最大で999-9999までカウントされます。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマNO.表示が異なる場合があります。
- ［コマNO.の上限です］が表示されたときは145ページをご参照ください。

画面の明るさを調節する（モニター明るさ）

画面の明るさを調節します。
①“◀▶”で画面の明るさを調節します。
②“MENU/OK”ボタンを押して設定します。

デジタルズームを使用する

本機能を有効にすると、デジタルズームが使用可能になります。
光学ズームとデジタルズームを切り換える際に、いったんズームバーの "■" が停止します。もう一度同じ方向にズームボタンを押すと、"■" が動いて切り換わります。

ズームしてピントがずれた場合、シャッターボタンを半押ししてください。

ズームバー表示

光学ズーム　デジタルズーム

W　T

ズームバーの "■" の位置でズームの状態が分かります。
区切りより左の場合は光学ズーム、区切りより右の場合はデジタルズームです。

●光学ズーム焦点距離＊
約38mm〜約380mm相当
最大ズーム倍率 10倍

●デジタルズーム焦点距離＊
約380mm〜約2166mm相当
最大ズーム倍率 約5.7倍

●光学ズーム焦点距離（3:2時）*
約39.5mm〜約395mm相当
最大ズーム倍率 10倍

●デジタルズーム焦点距離（3:2時）*
約395mm〜約2252mm相当
最大ズーム倍率 約5.7倍

＊35mmフィルム換算

デジタルズームを使用すると被写体をより拡大して撮影が可能ですが、画質は劣化します。デジタルズームが必要な場合に、機能を有効にしてください。

CCD-RAW撮影の設定をする

CCD-RAWを "ON" 設定するとカメラで信号処理（CCDから読み出されたデータを画像として再構成する作業）を行わないため、パソコンで画像を再構成する必要があります。
付属のRAW FILE CONVERTER LEを用いて、パソコンで処理してください。RAW FILE CONVERTER LEを使って変換することにより、簡単にTIFF形式の画像ファイルを作ることができます。

※画像を再構成するには、パソコンにFinePixViewer（同梱CD-ROM）がインストールされている必要があります。

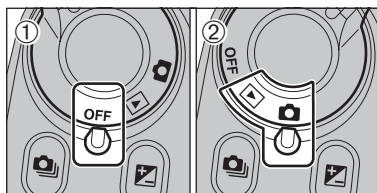
■CCD-RAW使用時は以下の機能を使用することができません。

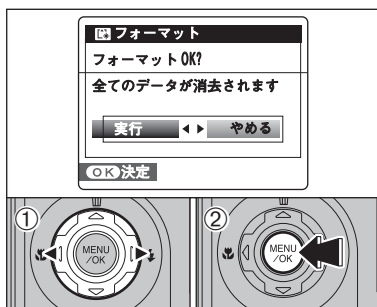
撮影時	デジタルズーム、連写、ピクセルは使用できません。
再生時	再生ズームは最大2.5倍までになり、トリミング保存できません。

オートパワーオフの設定をする

本機能を有効にすると、2分間(5分間)操作しないと自動的に電源が切れます。電源の切り忘れを防止します。

オートプレイ、充電池放電、USB接続時はオートパワーオフは無効になります。

◆再度電源を入れるには◆

①電源レバーを "OFF" に合わせます。
②もう一度、電源レバーを "📷" または "▶" に合わせます。

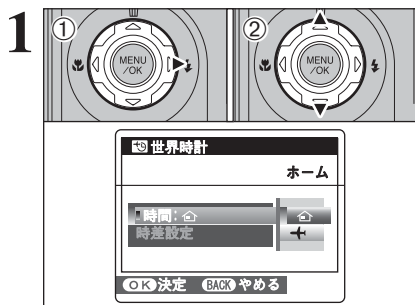
xD-ピクチャーカード を初期化する(フォーマット)

xD-ピクチャーカード をカメラ用に初期化(フォーマット)します。
プロテクトされているファイルを含むすべてのコマ(ファイル)を消去しますので、消去したくない重要なコマ(ファイル)は、パソコンなどにコピーしてください。

①"◀▶" で "実行" を選びます。
②"MENU/OK" ボタンを押すとすべてのコマ(ファイル)が消去され、 **xD-ピクチャーカード** が初期化されます。

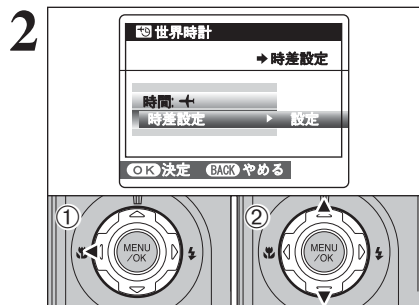
フォーマットする前に[カードエラー]、[記録できませんでした]、[再生できません]、[フォーマットされていません]が表示された場合は、145ページを参照し対処してください。

時差を設定する（世界時計）

現在設定されている日時に対して、時差を設定します。設定を有効にすると撮影時間が時差の設定に合わせた時間になります。旅行先で時差がある場合に便利です。

1

①“▶”を押します。
②“▲▼”で“ホーム”と“現地”を切り換えます。
時差を設定するときは“現地”にします。

ホーム ：お住まいの地域
現地 ：旅行先

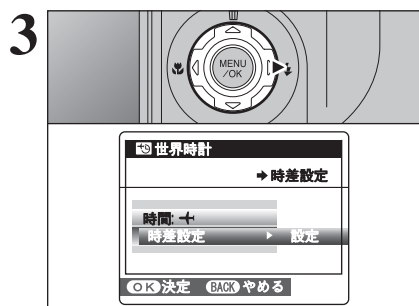
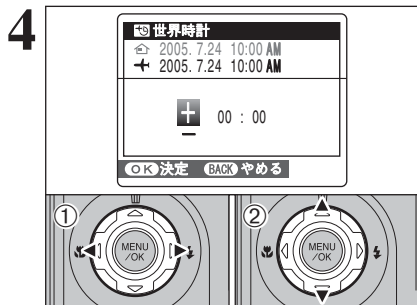
2

①“◀”を押します。
②“▲▼”で“時差設定”を選択します。

3

“▶”を押します。

4 各種設定編

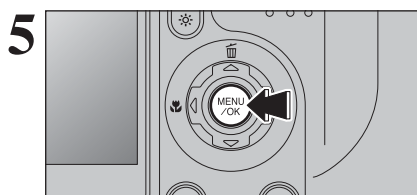
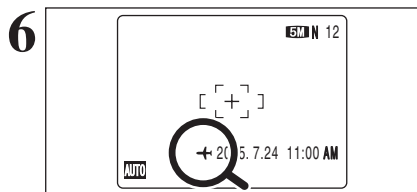
次ページにつづく

4

①“◀▶”で“+/−、時、分”を選択します。
②“▲▼”で設定します。

●設定可能時間
　−23：45〜+23：45（15分単位）

5

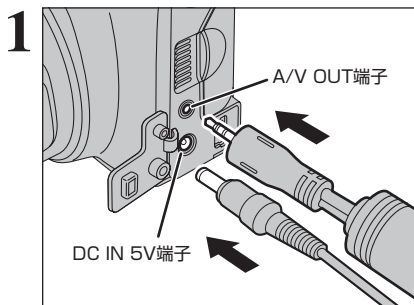
設定が終了したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押します。

6

世界時計を設定すると撮影モードにしたときに、3秒間、画面に“✈”が表示され日付が黄色になります。

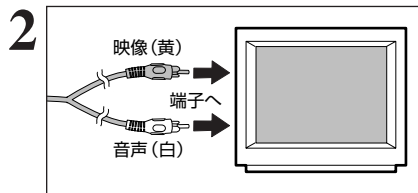
旅行先から戻ったら、世界時計の設定を必ず“⌂ホーム”に設定し直してください。

テレビに接続する、ACパワーアダプター（別売）を使う

テレビに接続する

1

カメラとテレビの電源を切ります。カメラの“A/V OUT（音声/映像出力）”端子に専用A/Vケーブル（付属品）のプラグを接続します。

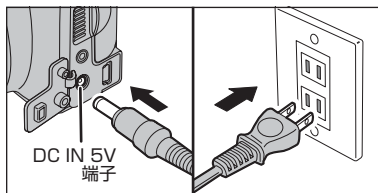
- 専用A/Vケーブル、ACパワーアダプターは接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- 電源コンセントが近くにある場合は、ACパワーアダプター AC-5VX（別売）を接続することをおすすめします。

2

テレビの音声/映像入力端子にピンプラグを接続し､カメラとテレビの電源を入れて通常どおり撮影、再生を行ってください。

- A/V（音声/映像）ケーブルをテレビに接続するとカメラの画面が消えます。
- テレビの音声/映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。
- 動画を再生すると、静止画に比べて画質は低下します。

ACパワーアダプター（別売）を使う

必ず、弊社製「ACパワーアダプター AC-5VX」をお使いください（➡138ページ）。
パソコンへ撮影した画像などを転送するなど、電源が切れては困るときに使用します。また、電池の消耗を気にせず撮影、再生することができます。

- ACパワーアダプターの接続および取り外しは、カメラの電源が切れているときに行ってください。
  カメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の画像、動画は記録されません。また、xD-ピクチャーカード の破損やパソコン接続時誤動作の原因になります。

カメラの電源が切れていることを確認します。ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 5V”端子に奥まで差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

- 弊社専用品以外をご使用になった場合の不具合は保証いたしかねます。
- ACパワーアダプターについてのご注意は、141ページをご参照ください。

ACパワーアダプターを接続しても、単3形ニッケル水素電池の充電はできません。単3形ニッケル水素電池の充電には別売の充電器（➡138ページ）が必要です。

カメラとプリンターを直接つないでプリントする（PictBridge機能）

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わないでカメラとプリンターを直接つないでプリントできます。

PictBridge

❗PictBridge機能は、カメラで撮影した画像以外ではプリントできない場合があります。

カメラでプリント予約（DPOF）の設定をしてプリントする

1

①電源レバーを“▶”に合わせて、電源を入れます。
②SET-UPの“USB”USB設定を“🖶⇋”ピクトブリッジにします（➡90ページ）。
③電源レバーを“OFF”に合わせて、電源を切ります。

❗“USB”USB設定が“🖶⇋”ピクトブリッジのまま、パソコンと接続しないでください。誤ってパソコンと接続した場合は、148ページをご参照ください。

2

①カメラとプリンターをUSBケーブル（mini-B）で接続します。
②プリンターの電源を入れます。

❗本機では用紙サイズ設定や印字品質などプリンターの設定はできません。
❗カメラにACパワーアダプター AC-5VX（別売）を接続することをおすすめします。
❗本機でフォーマットした xD-ピクチャーカード をご使用ください。

3

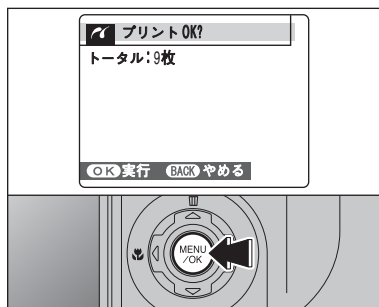
電源レバーを“▶”に合わせます。
“接続先確認中”と表示され、しばらくするとメニュー画面が表示されます。

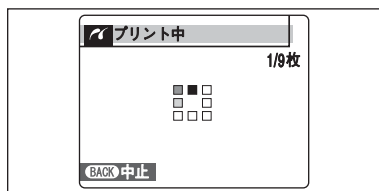
❗メニュー画面が表示されない場合は、“USB”USB設定が“🖶⇋”ピクトブリッジになっているか確認してください。
❗プリンターによっては使えない機能があります。

4

①“▲▼”で“🖶予約プリント”を選びます。
②“▶”ボタンを押します。

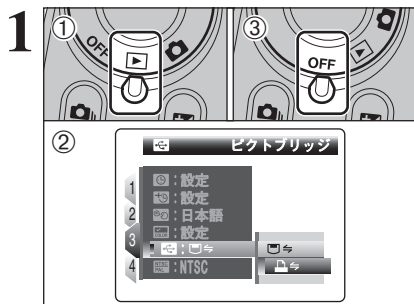
❗[予約がありません]と表示された場合はプリント予約されていません。
❗予約プリントでプリントする場合は、あらかじめ本機でプリント予約する必要があります（➡71、73ページ）。
❗プリント予約で“日付あり設定”に設定しても、日付プリントに対応していないプリンターの場合、日付が印字されません。

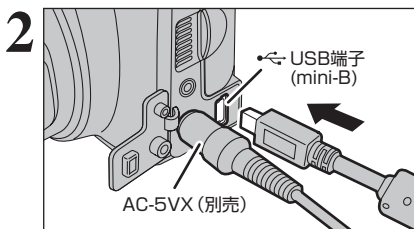
5

液晶モニターに "予約プリント OK?" と表示されます。
"MENU/OK" ボタンを押すとプリントが開始されます。

6

プリント予約したコマが連続してプリントされます。

"DISP/BACK"ボタンを押すとプリントを中止できます。プリンターによってはすぐにプリントを中止できない場合や、プリントの途中で停止する場合があります。動作の途中で動かなくなった場合は、カメラの電源をいったん切って、もう一度入れ直してください。

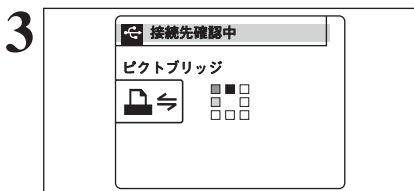
プリント予約(DPOF)を使わず、コマを指定してプリントする(1コマプリント)

1

①電源レバーを“▶”に合わせて、電源を入れます。
②SET-UPの“ ”USB設定を“ ⇆”ピクトブリッジにします(➡90ページ)。
③電源レバーを“OFF”に合わせて、電源を切ります。

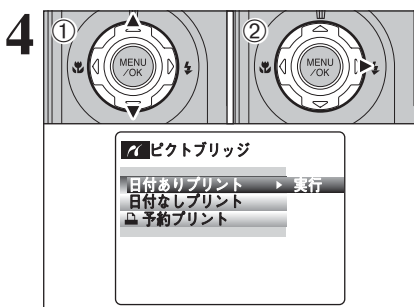
❗“ ”USB設定が“ ⇆”ピクトブリッジのまま、パソコンと接続しないでください。誤ってパソコンと接続した場合は、148ページをご参照ください。

2

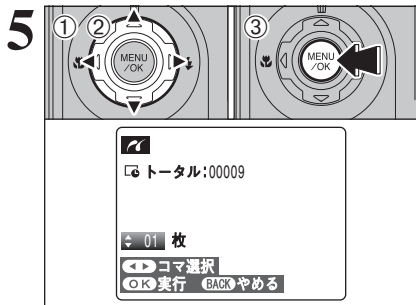
①カメラとプリンターをUSBケーブル(mini-B)で接続します。
②プリンターの電源を入れます。

❗本機では用紙サイズ設定や印字品質などプリンターの設定はできません。
❗カメラにACパワーアダプター AC-5VX(別売)を接続することをおすすめします。
❗本機でフォーマットした xD-ピクチャーカード をご使用ください。

3

電源レバーを“▶”に合わせます。
“接続先確認中”と表示され、しばらくするとメニュー画面が表示されます。

❗メニュー画面が表示されない場合は、“ ”USB設定が“ ⇆”ピクトブリッジになっているか確認してください。
❗プリンターによっては使えない機能があります。

4

①“▲▼”で“日付なしプリント”か“日付ありプリント”を選びます。“日付ありプリント”にすると、プリントに日付が印字されます。
②“▶”ボタンを押します。

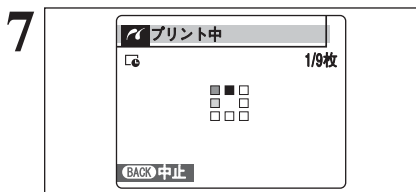
❗日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、“日付ありプリント”が選択できません。

5

①“◀▶”で設定するコマ(ファイル)を選びます。
②“▲▼”でプリントするコマ(ファイル)にプリント枚数を99枚まで設定できます。プリントしないコマ(ファイル)はプリント枚数を0枚に設定します。
続けて設定するには①②を繰り返します。
③設定が終了したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押します。

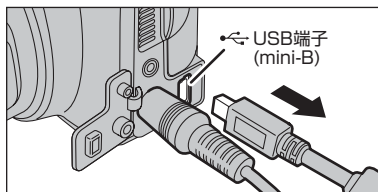
❗動画とCCD-RAWはプリントできません。
❗本機以外で撮影した画像はプリントできない場合があります。

6

液晶モニターに“プリント OK?”と表示されます。“MENU/OK”ボタンを押すとプリントが開始されます。

7

指定された枚数のプリントが開始されます。

❗“DISP/BACK”ボタンを押すとプリントを中止できます。プリンターによってはすぐにプリントを中止できない場合や、プリントの途中で停止する場合があります。動作の途中で動かなくなった場合は、カメラの電源をいったん切って、もう一度入れ直してください。

プリンターと接続を切る

①カメラの画面に“プリント中”と表示されていないことを確認します。
②カメラの電源を切り、USBケーブル(mini-B)を取り外します。

パソコンと接続する

USB接続で利用できる機能の概要と接続方法を説明します。

カメラをパソコンに初めて接続する際は、接続する前に、付属のCD-ROMを使ってパソコンにソフトウェアをすべてインストールする必要があります。インストールする前にカメラをパソコンに接続すると正常に接続できなくなる場合があります。
「ソフトウェア編」をご覧になって、正しくソフトウェアをインストールしてください。

CD-ROM
「Software for FinePix CX」

カードリーダー機能について

xD-ピクチャーカード から簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます(➡120、130ページ)。

表記について

注意　必ず守っていただきたい重要なご注意です。

＊　ご注意です。
☞　補足説明です。
ヒント　知っておくと便利な事項です。

オンラインヘルプを使用する

この説明書で説明しきれないFinePixViewerの機能についてお読みいただけます。

■FinePixViewerの利用方法や便利な機能については「FinePixViewerの使い方」を、またご利用中にお困りの事がありましたら「トラブルシューティング」をお読みください。
これらをお読みいただくには「ヘルプ」メニューの「FinePixViewerの使い方」、「トラブルシューティング」を選択します。

- ●Mac OS X 10.3をお使いの方はプレビューをお使いください。
- ●ソフトウェアの関連情報は、下記のホームページをご覧ください。
  http://fujifilm.jp/ または http://www.finepix.com/

◆パソコンと接続するときの注意◆

- ●ACパワーアダプターAC-5VX(別売)を使って接続をしてください(➡121、131ページ)。通信中に電源が切れると、 xD-ピクチャーカード 内のファイルを破壊する可能性があります。
- ●通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。通信中に電源が切れると、 xD-ピクチャーカード 内のファイルを破壊する可能性があります。
- ●Mac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です。
- ●USBケーブル(mini-B)は向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- ●カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください(➡124、133ページ)。
- ●Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
- ●カメラとパソコンが通信中のときは、インジケーターランプが橙に点滅します。
- ●USB接続時はパワーセーブしません。
- ● xD-ピクチャーカード の交換は、必ず124、133ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。
- ●パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。

かんたん操作 FinePixViewer

ファイルの一括変換などのさまざまな操作が選べます。

できることが一目で分かる「画像活用メニュー」。

大きく表示させて画像を確認できます。

撮影条件などを調べたり、比較を行ったりできます。

ユーザー登録するとインターネットを利用して、さまざまなサービスを受けられます。

ImageMixer VCD2 LE for FinePix

大切な人に メッセージを 添えて 贈りましょう

DVDプレイヤーで再生ができるVideo CDやパソコンでみるCDアルバムの作成をお手伝いします。
画像の整理も便利です。

CDアルバム

Picture The Future

— FinePix画像ネットサービス —

FinePix画像ネットサービス「Picture The Future」のユーザー登録ボタンです。

FinePix「ピクチャー・ザ・フューチャー」にご登録いただくと、いろいろなインターネットサービスが利用できます。また困ったときにはQ&Aを参照したり、メールによる問い合わせができたりと、サポート面も安心です。
メールニュースでバージョンアップ情報など最新情報をお届けしています。

＜インターネットメニューの一例＞

Picture The Future ホームページ

このサイトでは、Picture The Futureのサービスの詳細、最新情報などを提供しています。開催されているデジタルフォトコンテストの応募要綱や入賞作品もここから確認できます。

画像サイト
「デジタルフォトダイアリー」！
「デジタルフォトコレクション」！

デジタルカメラで撮影した画像にコメントをつけて、投稿いただくサイトです。他の人の投稿も見ることができます。

ネットショップでお買いもの！

FinePixアクセサリーからダイビング用ツールまで、デジタルカメラライフを演出する商品をいろいろ取り揃えています。

携帯電話へ画像送信
「ケータイへGO」！

FinePixで撮影した画像を簡単に携帯電話に送信できます。お気に入りの画像をお友達に送ったり、ご自分の携帯の待ち受けに利用できます。

世界に1つだけの写真集を作ろう
「マイブック」！

写真集の注文が簡単にできるサイトです。お子様の成長記録、旅の思い出、結婚式の感動など、お好きな画像で世界で１つのオリジナル写真集を作成してください。

24時間受付のメールサポートで安心!

Picture The Futureについてのお問い合わせをはじめ、FinePix製品のQ&Aをご紹介しております。困ったときはこちらへお問い合わせください。

はじめに

用語の解説

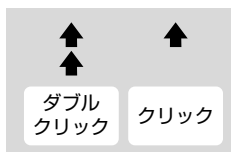
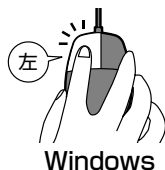
パソコンを使うときに最低限知っておきたいこと、知っておくと便利なことを紹介します。操作の詳細についてはパソコンの使用説明書をご覧ください。

■クリック/ダブルクリック

クリック：マウスの左ボタン（Windows）/ボタン（Macintosh）を1回押し、離すことです。

☞ファイル／フォルダ／ウィンドウ／ボタンなどを選択します。

ダブルクリック：マウスの左ボタン（Windows）/ボタン（Macintosh）を続けて2回クリックすることです。

☞ファイル／フォルダなどを開きます。

■ドラッグ＆ドロップ

ファイル・フォルダの移動／コピーなどで行う操作です。

ドラッグ

1.マウスポインタを操作したいファイルやフォルダのアイコン上に合わせます。

2.マウスのボタンを押したまま、マウスを動かして移動します。

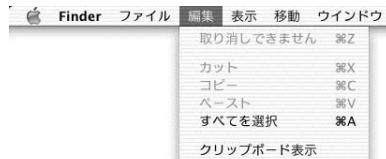
ドロップ

目的の場所でボタンを離します。

■メニュー

画面の一辺に表示される機能の一覧のことです。例として、「ファイル」メニュー、「編集」メニューなどが挙げられます。

メニューをクリックすると実行できる処理が表示され、マウスを動かして選択できるようになります。

＜Macintoshの場合＞

6 ソフトウェア編

■アプリケーションソフト
ワープロや表計算、画像編集など、ユーザーの目的のために使用するソフトウェアのことです。

■ドライバ
パソコンの周辺機器を動作させるためのソフトウェアのことです。

■ドライブ
パソコンの周辺機器で、ファイルの書き込み/読み出しを行う装置のことです。
特に取り外し可能なものをリムーバブルディスクドライブといいます。
ドライブの例として、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブなどがあります。デジタルカメラもドライブとして扱えます。

3.5 インチ FD (A:)

Windows 98 (C:)

(D:)

リムーバブル ディスク (E:)

Windowsのドライブアイコン

Macintoshのドライブアイコン

■ファイル
パソコンのハードディスクや、 xD-ピクチャーカード 、スマートメディアなどに保存されているデータのことです。パソコンやカメラは、この単位でデータの管理を行っています。例えば、画像1枚が1ファイル、音楽1曲が1ファイルです。

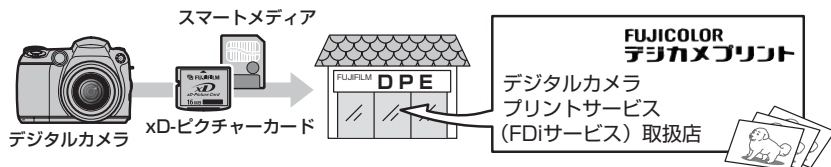
■フォルダ
関連のあるファイルなどをまとめておく場所のことです。他のフォルダも入れることができます。

■インストール
ソフトウェアをパソコンに組み込む作業のことです。

■アンインストール
ソフトウェアをパソコンから削除し、設定をインストール前の状態に戻すことです。

■サムネイル
複数の画像を一覧するときに作成される、縮小した画像のことです。

■DPOF(ディーポフ)
プリントしたい画像を指定する情報をメディアに記録するためのフォーマットです。

■FDiサービス(エフディーアイサービス)
デジタルカメラで撮影した画像をプリントするサービスです。画像ネットサービスで注文することもできます。

■サーバー
インターネットなどのコンピュータネットワークで、接続するユーザーにサービスやデータを提供する、コンピュータのことです。

■ブラウザ
インターネット上のホームページを閲覧するためのソフトウェアのことです。例として、Internet Explorer、Netscape Navigatorなどがあります。

■Administrator(アドミニストレータ)
コンピュータの管理者アカウントのことです。Windows 2000 Professional、Windows XPですべての機能を使えるように設定するには、ユーザー権限をAdministratorにする必要があります。

■ユーザーID(ユーザーアイディー)
ユーザーを区別するための名前で、サーバーにログインする際に入力します。
画像ネットサービスのユーザー登録で、初めてログインする際には、あなたの好きな名前を英数字で入力してください。

■パスワード
ユーザーIDが不正に使用されるのを防ぐための暗証番号で、サーバーにログインする際に入力します。
画像ネットサービスのユーザー登録で、初めてログインする際には、他人に見破られない暗証番号を英数字で入力してください。

■SSL(Secure Sockets Layer)
セキュリティ機能(機密保持)を強化した通信方式です。これを使用すると、より安全にインターネットでデータをやり取りできます。

インターネットを利用する際のご注意・知っておくと便利なこと

■料金について
インターネットの利用に必要な料金には次のようなものがあります。

通話料金	回線を使う代金として、電話会社に支払います。
接続料金	サーバーへの接続・データの保管(E-mail、ホームページ)の代金として、プロバイダに支払います。

＊通話や接続する時間に応じて料金が変わる場合は、無駄な接続をなくすためにパソコンの自動切断の機能をご利用になることをおすすめします。
＊弊社の画像ネットサービスには、サービス料金が無料のものと有料のものがあります。
＊オンラインショッピング／各種サービスを利用した場合は、通話料金・接続料金とは別に、商品料金・サービス料金が請求されます。

■ウイルスについて
パソコンがウイルスに感染すると、大切なデータを破壊したり、アドレス帳に登録されている人へ勝手にメールを送りつけたりします。メールの添付ファイルやダウンロードしたファイルで中身のよくわからないものは、ダブルクリックしないでください。

FinePixViewerでできること

FinePixViewer（ファインピックスビュアー）は、デジタルカメラで記録した静止画/動画/音声ファイルをパソコンに保存して、整理、加工、印刷などを行うためのソフトウェアです。ここでは簡単にその機能をご紹介します。

■カメラのデータをパソコンに保存する

カメラをパソコンに接続すると自動的にFinePixViewerが起動して、簡単な操作でパソコンにデータを保存することができます。

- 接続方法は120、130ページをご覧ください。

■ファイル/フォルダを閲覧・整理する

静止画/動画/音声などの各ファイルおよびフォルダを、サムネイル表示で分かりやすく確認できます。ファイルは名前の変更、移動やコピーなどができます。フォルダは新規に作成したり名前の変更、移動やコピーなどができます。

■画像ファイルを加工する

画像の切り抜き、文字入れ、セピア/白黒画像への変換、自動画質調整、赤目修正、画像サイズの変更、回転など、画像処理機能を利用できます。

■動画を加工する

不要な部分の削除、セピア/白黒画像への変換、自動画質調整、サイズの変換、縦横回転などが行えます。

■一括で処理を行う

画像の回転/画像のサイズ変更/ファイル名の変更/保存形式の変換といった処理を、複数のファイルに対して一括で行えます。

■スライドショーを行う

BGMを付けて撮影日などを字幕のように表示しながらスライドショーを再生できます。

■画像を印刷する

プリントウィザードを使って印刷する画像を選択したり、レイアウトのプレビューを見ながら、画像の印刷が簡単に行えます。また動画から連続写真を作成し、印刷することができます。連続写真は複数の静止画像ファイルとして一括して保存することもできます。

■Eメールに画像を添付する

メール送信に適した画像のサイズに変換してEメールへ画像を添付できます。

■他にも充実した機能がいろいろ

FinePix CDアルバムの作成、動画編集などのほか、インターネット接続環境では、ネットプリント注文を行ったり、サポート情報の取得など、たいへん便利な画像ネットサービスPictureTheFutureを利用できます（一部有料）。

CD-ROMのバージョンとインストールの順序について

■CD-ROMのバージョンについて

FUJIFILM

Software for FinePix

CX Version 5.1a for Windows® and Macintosh®

CD-ROMのバージョンはCD-ROMの盤面に下記のように書かれています。

○○ Version □.□ x

○○ ：大文字アルファベット二文字

□.□：数字

x ：小文字アルファベット

例）CX Version5.1a

■弊社製デジタルカメラをすでにお持ちの方へ（インストールについて）

弊社製デジタルカメラをすでにお持ちの方で、新たにもう1台カメラを購入して、FinePixViewerをインストールする場合は、次の順序で行ってください。

注意）インストールの前にお使いのパソコン、ご使用環境にCD-ROMの動作条件が合っているかをお確かめください。

・大文字アルファベット二文字○○が異なる場合：
例)SX4.1aとAX4.2a
2枚ともインストールします。
Version□.□の□.□が小さいほうのCD-ROMから先にインストールします。

・大文字アルファベット二文字○○が同じ場合：
例)SX4.0aとSX4.1a
Version□.□の□.□が大きいほうのCD-ROMのみインストールします。
□.□が同じ場合、xがアルファベット順の後の方のCD-ROMをインストールします。

Windowsにインストールする

この章では、Windowsパソコンでのインストール方法・設定を説明しています。

1 インストール前にお確かめください

お使いのパソコン、ご使用環境が動作条件に合うかお確かめください。

2 CD-ROM「Software for FinePix」をパソコンにセットする

3 FinePixViewerをインストールし、再起動する

「FinePixViewerのインストール」をクリックし、画面の指示に従ってインストールします。ここでいったんパソコンを再起動します。

インストールがすべて終わったら・・・

インストールがすべて終わったら、CD-ROM「Software for FinePix」(以下CD-ROM)を取り出してください。CD-ROMは、再インストールするときに必要になります。湿気がなく、光が当たらないところに、大切に保管してください。

1 インストール前にお確かめください

■動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
インストールを始める前にお確かめください。

OS*1	Windows 98 日本語版(Second Editionを含む) Windows Millennium Edition(Windows Me) 日本語版 Windows 2000 Professional 日本語版*2 Windows XP Home Edition 日本語版*2 Windows XP Professional 日本語版*2
CPU*3	Pentium 200MHz以上を推奨 (Windows XPの場合は、PentiumⅢ800MHz以上を推奨)
メモリ	64MB以上(Windows XPの場合は128MB以上) (RAW FILE CONVERTER LE使用時 ……… 256MB以上)
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量 …………… 450MB以上 動作に必要な容量 …………… 600MB以上 (ImageMixer VCD2 LE for FinePix使用時 …… 2GB以上) (RAW FILE CONVERTER LE使用時 …… 2GB以上 (OSの仮想メモリ・ページングファイルに設定必要))
ディスプレイ	800×600ドット以上、16ビットカラー以上 (ImageMixer VCD2 LE for FinePix使用時 …… 1024×768以上)
インターネット接続*4	●画像ネットサービス、メール添付機能使用時 インターネットに接続し、メールの送受信ができる環境 ●通信速度 56kbps以上推奨
外部接続端子	本体標準のUSBポート

*1 上記のOSがプリインストールされたモデル。
*2 インストールするときには、コンピュータの管理者アカウント(例えば、"Administrator")でログインしてください。
*3 パソコンで動画を再生する場合はパソコンの性能によっては滑らかに再生されない場合があります。動画をパソコン上で再生する場合のご注意は「トラブルシューティング(Windows編)」(➡135ページ)をご参照ください。
*4 画像ネットサービスの使用時に必要です。インターネット接続できない場合でも、ソフトウェアのインストールは可能です。

注意
- パソコンとカメラは、USBケーブル(mini-B)で直接、接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンにUSBポートが2つ以上ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。
- USBコネクターは奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合は正常に動作しません。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。
- Windows 95、Windows NTでは使用できません。
- 自作パソコンや、OSをアップデートしたパソコンは、動作保証外です。
- FinePixViewerを再インストールまたは削除すると、画像ネットサービスのユーザーID・パスワード・インターネットメニューがパソコンから消去されます。「今すぐ登録」ボタンをクリックして、登録済みのユーザーID・パスワードを入力して、メニューを再ダウンロードしてください。

2 CD-ROM「Software for FinePix」をパソコンにセットする

ソフトウェアのインストールが完了するまで、カメラを接続しないでください。

❶ パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。

＊既に電源を入れて作業していた場合は、再起動してください。

注意 Windows 2000 ProfessionalまたはWindows XPをお使いの場合は、コンピュータの管理者アカウント(例えば、"Administrator")でログオンしてください。

❷ タスクバー上からアプリケーションの表示がなくなるまで、他のアプリケーションを終了してください。

①タスクバー上のアプリケーションの表示の上でマウスの右ボタンをクリックします。

②開いたメニューの「閉じる」をクリックします。

＊詳しくは、パソコンの使用説明書、アプリケーションの使用説明書をご覧ください。

❸ 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、インストーラーが自動的に起動します。

インストーラーを手動で起動するには

❶ 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして開きます。

＊Windows XPをお使いの場合は、「スタート」メニューの「マイコンピュータ」をクリックします。

❷ 「マイコンピュータ」ウィンドウの「FINEPIX」のCD-ROMアイコン上で右クリックして「開く」を選択します。

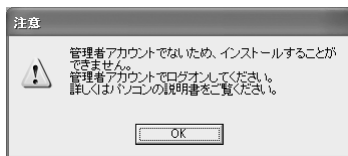
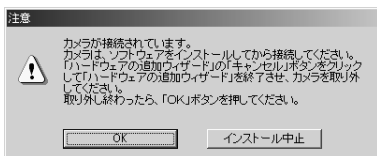
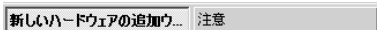
❸ CD-ROMの中の「SETUP」または「SETUP.exe」をダブルクリックします。

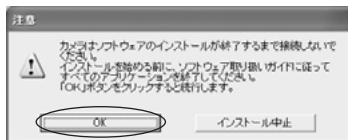
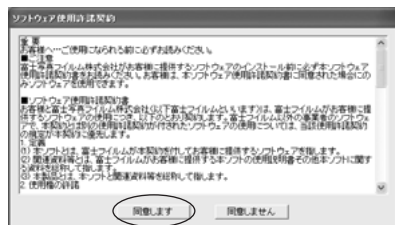
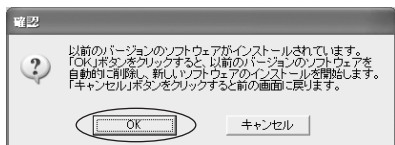
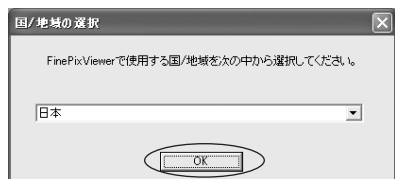
＊ファイル名の表示方法は、パソコンの設定によって上のように異なる場合があります。
・拡張子(ファイルの種類を表す文字)の表示／非表示(例：Setup.exe／Setup)
・アルファベットの表示のしかた(例：Setup／SETUP)

3 FinePixViewerをインストールし、再起動する

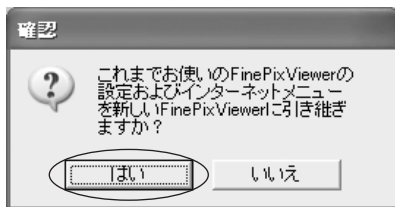
❶ セットアップ画面が表示されます。「FinePixViewerのインストール」をクリックしてください。

＊インストール内容について詳しく知りたいときは、「はじめにお読みください」をクリックします。

❷ インストール前のチェックが開始されます。「注意」画面が表示された場合は、その指示に従ってください。

＊「新しいハードウェアの追加ウィザード」が、「注意」画面の後ろに隠れている場合があります。タスクバーで確認し、移動してから「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

❸ インストールの続行を確認する画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

次ページにつづく

❹ 「ソフトウェア使用許諾契約」が表示されます。内容をよくお読みの上、同意される場合は「同意します」ボタンをクリックしてください。
「同意しません」ボタンをクリックするとインストールされません。

❺ ソフトウェアのバージョンチェックが行われます。右の画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックし、アンインストールしてください。

❻ 「国/地域の選択」画面が表示されます。お住まいの地域を選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。

❼ USBドライバがインストールされます。

❽ FinePixViewerをインストールします。

①右の画面が表示される場合があります。設定を引き継ぐときは「はい」ボタンをクリックしてください。

②FinePixViewerのインストールが始まり、注意・警告が表示されます。確認したら、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

③インストール先のフォルダを確認して、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

❾ 画面の指示に従って、RAW FILE CONVERTER LEをインストールします。

RAW FILE CONVERTER LEは、CCD-RAWファイルに対応したカメラのデータをExif-TIFF(RGB)画像ファイルに変換するソフトウェアです。

❿ 画面の指示に従って、ImageMixer VCD2 LE for FinePixをインストールします。

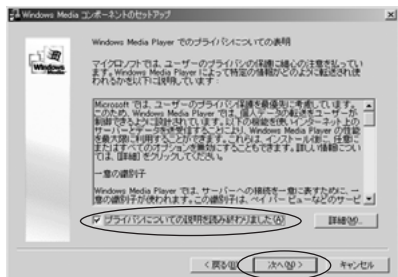
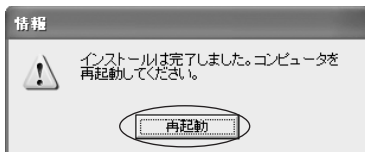
「使用許諾契約」画面では、「はい」をクリックします。

「Readme」画面では、右上にある☒をクリックして閉じます。

次ページにつづく

⓫ 画面の指示に従って、Windows Media Playerをインストールし、再起動します。

注意 この手順ではCD-ROMを取り出さないでください。

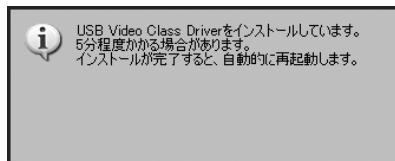
＊既に最新版がインストールされている場合は、このインストールは行われません。次の手順へ進んでください。

この画面では、「プライバシについての説明を読み終わりました」にチェックマークを入れ、「次へ>」ボタンをクリックします。

「完了」ボタンをクリックすると、パソコンが再起動します。

⓬ 画面の指示に従って、DirectXをインストールし、再起動します。

注意
- 既に最新のバージョンがインストールされている場合、この画面は表示されません。
- この手順ではCD-ROMを取り出さないでください。

⓭ 再起動後、USB Video Class Driverがインストールされ、自動的に再起動されます。5分程度かかる場合があります。

注意
- 既に最新のバージョンがインストールされている場合、この画面は表示されません。
- Windows XP SP1のみインストールされます。

⓮ 再起動後、「FinePixViewerのインストールが完了しました」という画面が表示されます。

⓯ 「今すぐ起動」ボタンをクリックして、FinePixViewerを起動します。

⓰ インターネットに接続できる環境でお使いの方は「今すぐ登録」ボタンをクリックして登録することをおすすめします。

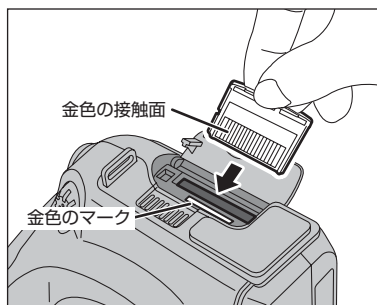
これでインストールはすべて終了しました。
CD-ROMをパソコンから取り出して大切に保管してください。

カメラとパソコンを接続する

1 初回接続時に行ってください（カードリーダー接続する）

実際にカメラをカードリーダー接続し、正常に動作することを確認します。

WindowsのCD-ROMが必要となる場合がありますので、あらかじめご用意ください。パソコンにWindowsのCD-ROMが付属していない場合は、パソコンの使用説明書を見るか、パソコンのメーカーへお問い合わせください。

ヒント ACパワーアダプター（別売）のご使用を強くおすすめします。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。

❶ 静止画撮影済みの xD-ピクチャーカード をカメラにセットします。

注意
- カメラ内の xD-ピクチャーカード をパソコンでフォーマットしないでください。撮影できなくなることがあります。
- xD-ピクチャーカード は弊社デジタルカメラで撮影したものをお使いください。

❷ 電源レバーを “▶” に合わせます。

❸ “MENU/OK” ボタンを押して、メニューを表示します。

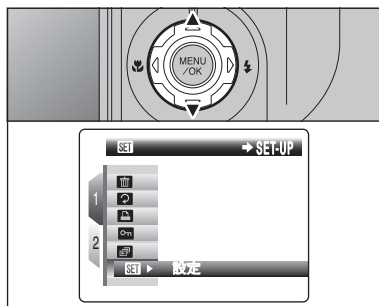
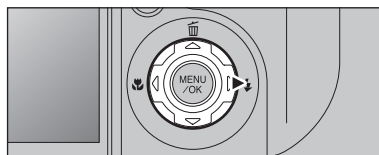
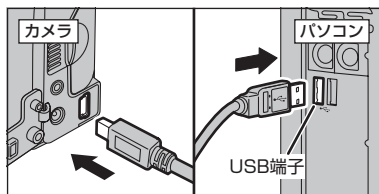
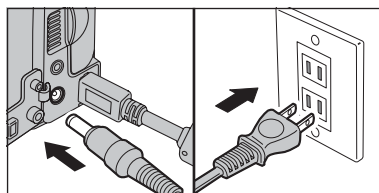
❹ "▲▼" で "SET" SET-UPを選びます。

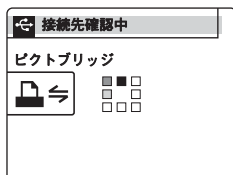
❺ "▶" を押して、SET-UP画面を表示します。

❻ カメラの " " USB設定を " " (カードリーダー) にして、いったん電源を切ります。

❼ USBケーブル (mini-B) でカメラとパソコンを接続します。

❽ ACパワーアダプター (別売) の接続プラグをカメラの "DC IN 5V" 端子に差し込みます。
ACパワーアダプター (別売) の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

次ページにつづく

❾ 電源レバーを “▶” に合わせます。

注意
● カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください(➡124ページ)。
● カメラとパソコンを接続しているときは、以下の操作は行わないでください。xD-ピクチャーカード、または xD-ピクチャーカード 内のデータが破壊されることがあります。
USBケーブル(mini-B)を抜く／カメラ(電源レバー、操作ボタンなど)に触れる。

[接続先確認中] と表示されたときは

[接続先確認中] と表示されたあと、しばらくして [接続できませんでした] と表示されたときは、“ ” USB設定が “ ” (カードリーダー) に設定されていません。
いったんUSBケーブル(mini-B)を取り外し、手順❸へ戻り “ ” USB設定を “ ” (カードリーダー) に設定してから接続してください。

以降の手順は、パソコンのOSによって違います。

Windows 98/98 SE/Me/2000

FinePixViewerが自動的に起動し、画像の保存ウィザード画面が表示されます。ここで画像を保存する場合は画面の指示に従って画像を保存します。保存しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

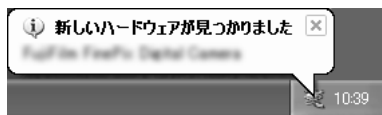
ヒント FinePixViewerとともにインストールされるExif Launcherの機能により、カメラ接続時にFinePixViewerが自動起動します。

注意 FinePixViewerが自動起動せず、なおかつマイコンピュータに が現れない場合は、ソフトウェアが正しくインストールされていません。カメラを取り外してからパソコンを再起動し、再インストールしてください。それでも問題が解決できないときは、トラブルシューティング（➡135ページ）をご参照ください。

124ページの「カメラの取り外しかた（カードリーダー接続を切る）」へ進んでください。

Windows XP

❶ 「新しいハードウェアが見つかりました」というヒントが、画面右下に表示されます。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。

＊次回以降の接続では、この手順は必要ありません。

❷ FinePixViewerが自動的に起動し、画像の保存ウィザード画面が表示されます。ここで画像を保存する場合は画面の指示に従って画像を保存します。保存しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

ヒント FinePixViewerとともにインストールされるExif Launcherの機能により、カメラ接続時にFinePixViewerが自動起動します。

注意 FinePixViewerが自動起動せず、なおかつマイコンピュータに が現れない場合は、ソフトウェアが正しくインストールされていません。カメラを取り外してからパソコンを再起動し、再インストールしてください。それでも問題が解決できないときは、トラブルシューティング（➡135ページ）をご参照ください。

124ページの「カメラの取り外しかた（カードリーダー接続を切る）」へ進んでください。

2 カメラの取り外しかた（カードリーダー接続を切る）

❶ 画像の保存が終了すると、カメラ/メディアの取り外し画面が表示されます。
カメラを取り外す場合は、「取り外す」ボタンをクリックしてください。

❷ 「安全に取り外すことができます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてカメラを取り外してください。タスクバーから取り外しアイコンが削除されます。

❸ カメラの電源を切ります。

注意
- 必ずカメラ（リムーバブルディスク）内のファイルをすべて閉じて、「パソコンが通信中でないこと」を確認してください。
- パソコンの"コピーしています"という表示が消えてすぐ、カメラを取り外したり、USBケーブル（mini-B）を抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。

オンラインヘルプについて

この説明書で説明しきれないFinePixViewerの機能についてお読みいただけます。

■FinePixViewerの利用方法や便利な機能については「FinePixViewerの使い方」を、またご利用中にお困りの事がありましたら「トラブルシューティング」をお読みください。
これらをお読みいただくには「ヘルプ」メニューの「FinePixViewerの使い方」、「トラブルシューティング」を選択します。

Mac OS Xにインストールする

この章では、Mac OS Xでのインストール方法・設定を説明しています。

1 **インストール前にお確かめください**
お使いのパソコン、ご使用環境が動作条件に合うかお確かめください。

2 **FinePixViewerをインストールし、再起動する**

3 **Image Captureの設定をする**

インストールがすべて終わったら・・・

インストールがすべて終わったら、CD-ROMを取り出してください。CD-ROMは、再インストールするときに必要になります。湿気がなく、光が当たらないところに、大切に保管してください。

1 インストール前にお確かめください

■動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
インストールを始める前にお確かめください。

対応機種	Power Mac G3*[1]、PowerBook G3*[1]、 Power Mac G4、iMac、iBook、 Power Mac G4 Cube、PowerBook G4、 Power Mac G5
OS	Mac OS X*[2]（バージョン10.2.8〜10.3.9対応*[3] 2005年8月現在*[4]）
メモリ	192MB以上 （RAW FILE CONVERTER LE使用時 ………… 256MB以上）
ハードディスク 空き容量	インストールに必要な容量 ……………………………… 200MB以上 動作に必要な容量 …………………………………………… 400MB以上 （ImageMixer VCD2 LE for FinePix使用時 ……… 2GB以上） （RAW FILE CONVERTER LE使用時 ………………… 2GB以上 （システムディスク上に必要））
ディスプレイ	800×600ドット以上、約32,000色以上 （ImageMixer VCD2 LE for FinePix使用時 ……… 1024×768以上）
インターネット接続*[5]	●画像ネットサービス、メール添付機能使用時 インターネットに接続し、メールの送受信ができる環境 ●通信速度 56kbps以上推奨

*[1] USBポートが標準装備されている機種
*[2] インストールするときには、コンピュータの管理者アカウントでログインしてください。
*[3] QuickTime Player 7には対応していません。
*[4] 対応OSについては下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/ または http://www.finepix.com/
*[5] 画像ネットサービスの使用時に必要です。インターネット接続できない場合でも、ソフトウェアのインストールは可能です。

注意
- Macintoshとカメラは、USBケーブル（mini-B）で直接接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- USBコネクターは奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合は正常に動作しません。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。

2 FinePixViewerをインストールし、再起動する

❶ Macintoshの電源を入れて、Mac OS Xを起動します。他のアプリケーションは起動しないでください。

❷ 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると「FinePix」アイコンが表示されます。「FinePix」アイコンをダブルクリックすると、「FinePix」ボリュームが開きます。

❸「Installer for MacOSX」をダブルクリックして起動します。

❹ インストーラのセットアップ画面が表示されます。
「FinePixViewerのインストール」をクリックしてください。

＊インストール内容について詳しく知りたいときは、「はじめにお読みください」をクリックします。

❺「認証」画面が表示されます。管理者のアカウントの名前とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

注意 管理者のアカウントはMac OS Xをインストールしたアカウント、もしくはシステム環境設定のアカウントを開いたとき、タイプが管理者となっているアカウントです。

❻「ライセンス」画面が表示されます。内容をよくお読みの上、同意される場合は「同意」ボタンをクリックしてください。
「同意しない」ボタンをクリックするとインストールはされません。

❼「お読みください」画面が表示されます。
「続ける」ボタンをクリックします。

❽「FinePixInstallOSX」画面が表示されます。
「インストール」ボタンをクリックすると、FinePixViewerがインストールされます。

❾ ImageMixer VCD2 LE for FinePixのインストーラが起動され、進行状況を示す画面が表示されます（数分かかる場合があります）。

❿ 再起動後、「FinePixViewerのインストールが完了しました」という画面が表示されます。

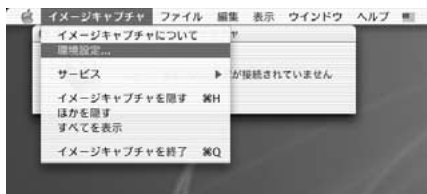
これでインストールはすべて終了しました。
CD-ROMをパソコンから取り出して大切に保管してください。

注意 Webブラウザにsafariをご使用の場合、CD-ROMを取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。その場合は、Dock内にあるSafariのアイコンをクリックして起動し、「Safari」－「Safariを終了」メニューを選択して終了させてください。

3 Image Captureの設定をする

Image Captureの機能を使って、カメラ接続時にFinePixViewerが自動起動するようにします。

❶「アプリケーション」フォルダから「イメージキャプチャ（Image Capture）」を起動します。

❷ イメージキャプチャの設定を変更します。
「イメージキャプチャ」メニューより「環境設定」を選択します。

❸「カメラを接続したときに起動する項目」から「その他」を選択します。

❹「アプリケーション」フォルダの「FinePixViewer」フォルダから「FPVBridge」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

❺ イメージキャプチャを終了します。

カメラとパソコンを接続する

1 カードリーダー接続する

ヒント ACパワーアダプター(別売)のご使用を強くおすすめします。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。

❶ 静止画撮影済みの xD-ピクチャーカード をカメラにセットします。

注意
- カメラ内の xD-ピクチャーカード をパソコンでフォーマットしないでください。撮影できなくなることがあります。
- xD-ピクチャーカード は弊社デジタルカメラで撮影したものをお使いください。

❷ 電源レバーを“▶”に合わせます。

❸ “MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。

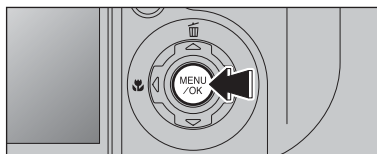
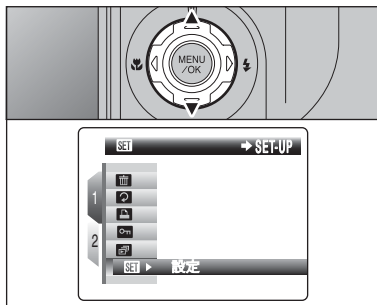
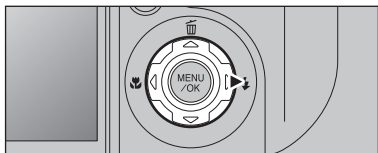
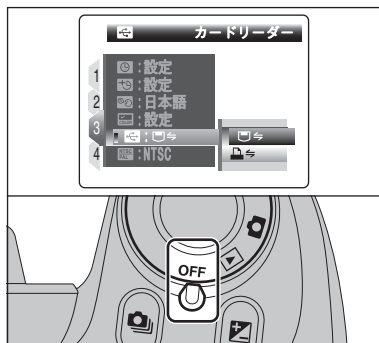
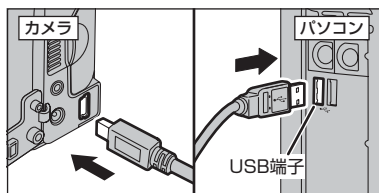
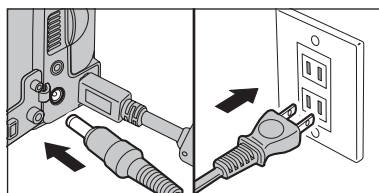
❹ “▲▼”で“SET”SET-UPを選びます。

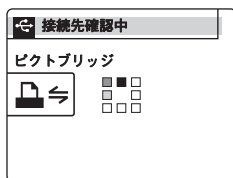
❺ "▶" を押して、SET-UP画面を表示します。

❻ カメラの " " USB設定を " " (カードリーダー) にして、いったん電源を切ります。

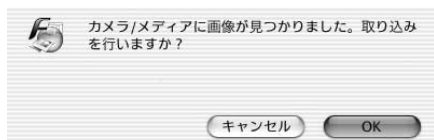
❼ USBケーブル (mini-B) でカメラとパソコンを接続します。

❽ ACパワーアダプター (別売) の接続プラグをカメラの "DC IN 5V" 端子に差し込みます。
ACパワーアダプター (別売) の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

次ページにつづく

❾ 電源レバーを“▶”に合わせます。

注意
- カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください(➡133ページ)。
- カメラとパソコンを接続しているときは、以下の操作は行わないでください。xD-ピクチャーカード、または xD-ピクチャーカード内のデータが破壊されることがあります。
  USBケーブル(mini-B)を抜く／カメラ(電源レバー、操作ボタンなど)に触れる。

[接続先確認中]と表示されたときは

[接続先確認中]と表示されたあと、しばらくして[接続できませんでした]と表示されたときは、“ ”USB設定が“ ⇋”(カードリーダー)に設定されていません。
いったんUSBケーブル(mini-B)を取り外し、手順❸へ戻り“ ”USB設定を“ ⇋”(カードリーダー)に設定してから接続してください。

❿ FinePixViewerが自動的に起動し、画像の保存ダイアログが表示されます。ここで画像を保存する場合は「OK」ボタンをクリックします。保存しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

注意 FinePixViewerが自動起動せず、なおかつリムーバブルディスクアイコンが現れない場合は、ソフトウェアが正しくインストールされていません。カメラを取り外してからパソコンを再起動し、再インストールしてください。それでも問題が解決できないときは、トラブルシューティング(➡136ページ)をご参照ください。

2 カードリーダー接続を切る

❶ 画像の保存が終了すると、カメラ/メディアの取り外し画面が表示されます。カメラを取り外す場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

画像の取込みが完了しました。
リムーバブルアイコンをデスクトップから外しますか？

❷「カメラを安全に取り外すことができます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてカメラを取り外してください。デスクトップからリムーバブルアイコンが削除されます。

❸ カメラの電源を切ります。

注意
● 必ずカメラ（リムーバブルディスク）内のファイルをすべて閉じて、「カメラとパソコンが通信中でないこと」を確認してください。
● パソコンの“コピーしています”という表示が消えてすぐ、カメラを取り外したり、USBケーブル（mini-B）を抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。

オンラインヘルプについて

この説明書で説明しきれないFinePixViewerの機能についてお読みいただけます。

■FinePixViewerの利用方法や便利な機能について、またご利用中にお困りの事がありましたら「FinePixViewerの使い方」をお読みください。
これらをお読みいただくには「ヘルプ」メニューの「FinePixViewerの使い方」を選択します。

●Mac OS X 10.3をお使いの方はプレビューをお使いください。

ソフトウェアを削除する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみ行ってください。

Windows

❶ カメラが接続中でないことを確認します。

❷ すべてのアプリケーションを終了します。

❸「マイコンピュータ」を開き、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」(Windows XPをお使いの場合は、「プログラムの追加と削除」)をダブルクリックします。

❹「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されますので、削除したいソフトウェア(FinePixViewerまたはドライバ)を選択して、「追加と削除」ボタンをクリックします。

＜FinePixViewerを削除する場合＞

FinePixViewer Ver.5.1

＜ドライバを削除する場合＞

FUJIFILM USB Driver

❺ 確認画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。実行すると取り消すことはできないので、慎重に行ってください。

❻ 自動的にアンインストール作業が開始されます。
アンインストール作業が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。

Mac OS X

FinePixViewerのアンインストール

FinePixViewerを終了したあと、インストールしたFinePixViewerのフォルダを「ゴミ箱」に入れ、「ファイル」メニューの「ゴミ箱を空に…」を選択してください。

トラブルシューティング（Windows編）

正常に動作せず、トラブルが発生したときにはまず、お使いのパソコンが動作環境にあてはまるか確認してください（➡113ページ）。
動作環境にあてはまるにもかかわらず動作しない場合は、「トラブルシューティング」をご覧になり対処してください。
「トラブルシューティング」については下記「オンラインヘルプについて」をご参照ください。

分類	症　状
接続・画像閲覧	自動起動の設定を変更したい。
	初回接続時に“WINDOWS”のラベルの付いたディスクを要求されました。
	「カードリーダー」接続でカメラをパソコンに接続したとき、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されました。
	リムーバブルディスクアイコンをダブルクリックすると「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」の警告が表示されました。
	カメラを取り外したときに警告メッセージが表示されました。
	パソコンがカメラを認識しません（パソコンでカメラを利用できません）。
	「デバイスの取り外しの警告」が表示されました。
	「カメラ/メディアの取り外し」画面で「取り外す」ボタンを押したら、「デバイスの取り外し中にエラーが発生しました。」が表示されました。
	FinePixViewerが自動起動するまで時間が掛かります。
	USBケーブル（mini-B）を抜いたときや、リムーバブルディスクアイコンをダブルクリックしたときに、メッセージが表示されて開けません。
	メディアのアクセスの際、パソコンがハングアップします。
その他	「画像ネットサービス」にログインできません。
	「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。
	パソコンが正常終了しません。
	カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。
	Windows Media PlayerでAVIファイルを再生できません。
	AVI形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。

オンラインヘルプについて

この説明書で説明しきれないFinePixViewerの機能についてお読みいただけます。

■FinePixViewerの利用方法や便利な機能については「FinePixViewerの使い方」を、またご利用中にお困りの事がありましたら「トラブルシューティング」をお読みください。
これらをお読みいただくには「ヘルプ」メニューの「FinePixViewerの使い方」、「トラブルシューティング」を選択します。

トラブルシューティング（Macintosh編）

正常に動作せず、トラブルが発生したときにはまず、お使いのパソコンが動作環境にあてはまるか確認してください（➡126ページ）。
動作環境にあてはまるにもかかわらず動作しない場合は、「トラブルシューティング」をご覧になり対処してください。
「トラブルシューティング」については下記「オンラインヘルプについて」をご参照ください。

分類	症　状
接続・画像閲覧	USB接続したときに、MacOSの「ディスクの初期化」が表示されました。
	カメラをパソコンに接続しても、リムーバブルドライブアイコンを表示しません。
	カメラからUSBケーブル（mini-B）を取り外したときに警告メッセージが表示されました。
インターネット	「画像ネットサービス」にログインできません。
	「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。
	インターネットメニューが正しく更新できません（ボタンがきれいに並びません）。
	ネットサービス注文サイトへの画像アップロード中に通信エラーが出ます。 注文する画像の確認画面で画像が正しく表示されません。
その他	カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。
	FinePixViewerが自動的に起動するのを止めたいのですが。
	AVI形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。

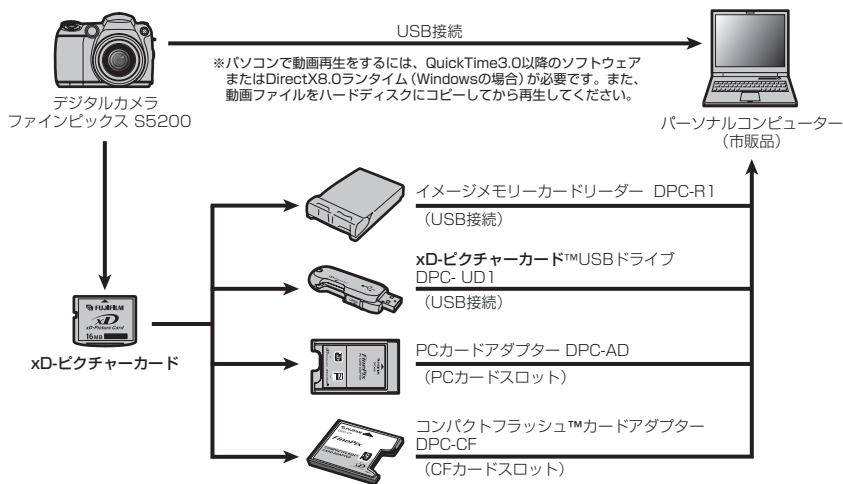
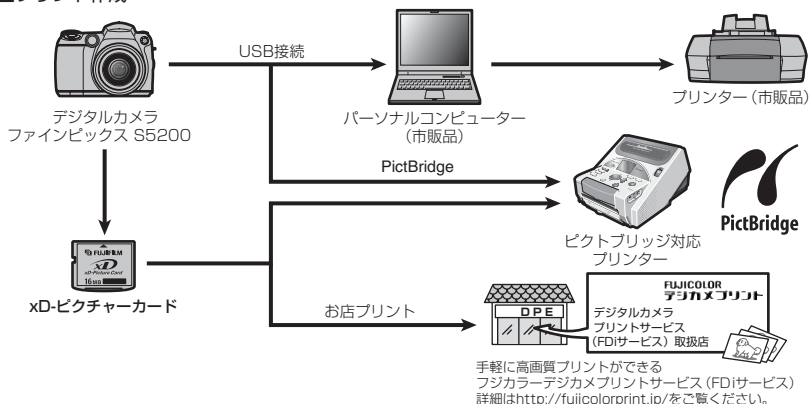
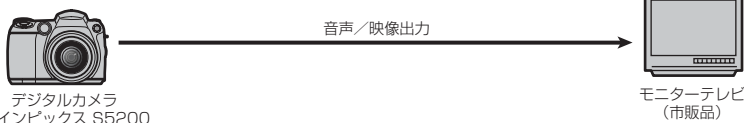
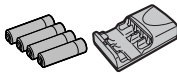
オンラインヘルプについて

この説明書で説明しきれないFinePixViewerの機能についてお読みいただけます。

■FinePixViewerの利用方法や便利な機能について、またご利用中にお困りの事がありましたら「FinePixViewerの使い方」をお読みください。
これらをお読みいただくには「ヘルプ」メニューの「FinePixViewerの使い方」を選択します。

●Mac OS X 10.3をお使いの方はプレビューをお使いください。

システムアップ機器（別売）（平成17年9月現在）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

＊デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます。
＊本製品はPRINT Image MatchingⅡに対応しています。

別売アクセサリーの紹介（平成17年9月現在）

▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

※最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/ または http://www.finepix.com/
※価格はメーカー希望小売価格です。

●イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード ）

以下の種類がお使いいただけます。
- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）
- DPC-256（256MB）
- DPC-512（512MB）
- DPC-M512（512MB）
- DPC-M1GB（1GB）

※すべてオープン価格

●ACパワーアダプター AC-5VX

長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください。
（AC100V〜240V、50/60Hz対応）

※4,000円（税込み4,200円）

●充電式 ニッケル水素電池2500（FNH HR AA 4B F）

高容量の単3形ニッケル水素電池です。
4本パック「型名 FNH HR AA 4B F」をお買い求めください。

※1,980円（税込み2,079円）

●ニッケル水素／ニカド急速充電器デジチャージⅡ（FNW 1 BX F）

単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素電池2500」4本を約280分で充電できます。
海外でも使用可能な電圧（AC100V〜240V）、周波数（50/60Hz）対応です（各国のプラグに対応した変換プラグは別途用意してください）。

※4,500円（税込み4,725円）

●ニッケル水素／ニカド急速充電器デジチャージⅡ 340セット（FWB NH 340 F）

高容量のニッケル水素電池4本と急速充電器デジチャージのセットです。「ニッケル水素電池2500」4本を約280分で充電できます。同時に4本までの単3形ニッケル水素電池／ニカド電池の充電が可能です。海外でも使用可能な電圧(AC100V〜240V)、周波数（50/60Hz）対応です（各国のプラグに対応した変換プラグは別途用意してください）。

※6,480円（税込み6,804円）

●ソフトケース SC-FXS5

ポリエステル製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

※3,000円（税込み3,150円）

●ワイドコンバージョンレンズ WL-FX9B

詳細は139ページをご覧ください。

※16,000円（税込み16,800円）

●イメージメモリーカードリーダー DPC-R1

イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード 、スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なファイル転送を行います。
- Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- iMac、iBookおよびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh（Mac OS 8.6〜9.2/X（10.1.2〜10.1.5））

※オープン価格

●PCカードアダプター DPC-AD

xD-ピクチャーカード あるいはスマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。2種類のメディアのうちどちらか一方を使用できます。
- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 8.6〜9.2/X（10.1.2〜10.1.5）

※オープン価格

●コンパクトフラッシュ™カードアダプター DPC-CF

xD-ピクチャーカード を挿入するとコンパクトフラッシュ™カード（TYPE Ⅰ）として使用できます。
- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 8.6〜9.2/X（10.1.2〜10.1.5）

※オープン価格

●xD-ピクチャーカード™USBドライブ DPC-UD1

xD-ピクチャーカード 専用の小型カードリーダーです。USBポートに差し込むだけでデータの読み込み、書き込みが可能です（Windows 98/98 SEを除いてドライバのインストールが不要です）。
- Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 9.0〜9.2.2/X（10.0.4〜10.2.6）

※オープン価格

コンバージョンレンズの紹介

コンバージョンレンズを使う

■使用できるコンバージョンレンズ

●ワイドコンバージョンレンズ WL-FX9B

レンズのF値を変えずに焦点距離を0.79倍（広角：30mm相当）に変換します。

矢印方向にねじ込んで取り付けます。

ワイドコンバージョンレンズ仕様

倍率：0.79倍
レンズ構成：3群3枚構成
撮影可能距離：約90cm〜無限遠（∞）
外形寸法：φ70mm×32mm
質量：185g
付属品：レンズキャップ（前後）、レンズポーチ

- 広角側での使用をおすすめします。望遠側ではゆがみが大きくなります。
- ワイドコンバージョンレンズ使用時は内蔵フラッシュを併用できません。
- ワイドコンバージョンレンズを使用して太陽や強烈なライトに向けて撮影すると、ゴースト＊が発生する恐れがあります。
  このような場合は太陽などの強い光源を、撮影できる範囲からできるだけ避けるようにして撮影すると軽減するか消える場合があります。

＊ゴースト
強い光が直接レンズ面に当たり、レンズ内で光が乱反射して光源とは別の場所に光の玉や輪が現れる現象です。

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所
次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。
- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意
水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意
本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、xD-ピクチャーカード に水滴がつくことがあります。このようなときは xD-ピクチャーカード を取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは
本機を長時間お使いにならないときは、電池、xD-ピクチャーカード を取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき
- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池や単3形ニッケル水素電池を使用してください。単3形マンガン乾電池や単3形ニカド電池は、使用できません。
- アルカリ乾電池は銘柄により電池寿命（使用時間）の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命がかなり短い場合があります。

電池についてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。
- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、4本すべてを新しい電池にお取り換えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、単3形ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

⚠ 万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

⚠ 電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

単3形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくためのご注意

- デジタルカメラで使用する電池として単3形ニッケル水素電池（以下ニッケル水素電池）は、アルカリ乾電池に比べてカメラで撮影できる枚数が多いなど優れていますが、ニッケル水素電池の本来の電池性能を発揮させるために使用方法にはご注意が必要です。
- お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
  「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能を使っての放電と充電を数回繰り返すことにより、「不活性」や「メモリー効果」によって一時的に低下した電池性能を回復させ、ニッケル水素電池本来の性能を発揮させることができます。
  「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。
  「充電池放電」操作は142ページをご参照ください。

アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

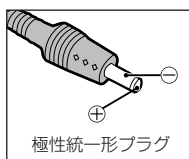
■電池の破棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

小型充電式電池（ニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。

詳細は、「有限責任中間法人JBRC」のホームページをご参照ください。
［ホームページ］http://www.jbrc.net/hp/

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

必ず専用のACパワーアダプターAC-5VX／5VH／5VHS（別売、JEITA規格、極性統一形プラグ付き）をお使いください。
弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因となることがあります。

- 室内専用です。
- カメラのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- カメラのDC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

充電池放電の操作をする

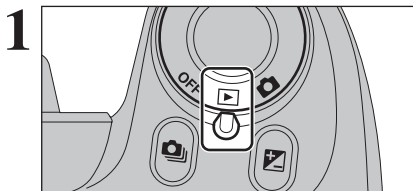
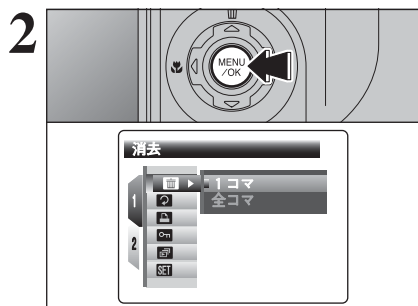
充電池放電機能は、ニッケル水素電池（充電式電池）のみでご使用ください。
アルカリ乾電池で充電池放電機能を使用すると、乾電池が使用できなくなります。

以下のようなときに充電池放電をご使用ください。
- 充電後の使用可能時間が短くなったとき
- 長期間使用しなかったとき
- 新しくニッケル水素電池を購入したとき

ACパワーアダプターを使用しているときは、充電池放電を行わないでください。外部から電源供給されるためカメラ内のニッケル水素電池は放電されません。

1

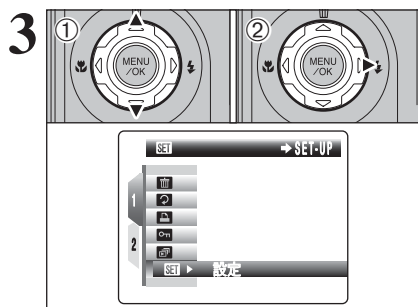
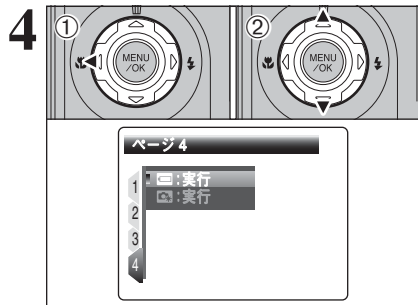
電源レバーを “▶” に合わせます。

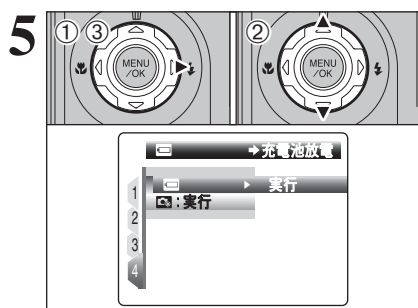
2

“MENU/OK” ボタンを押して、メニューを表示します。

! アルカリ乾電池は充電池放電の操作を行わないでください。

3

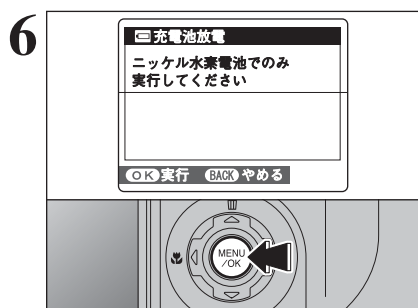
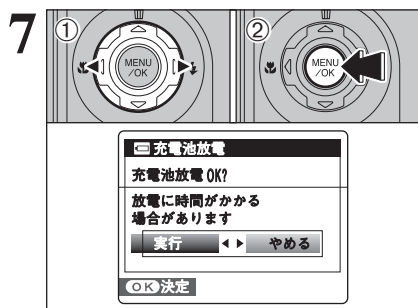
①“▲▼” で “SET” SET-UPを選びます。
②“▶” を押します。

4

①“◀”でページ番号に移ります。
②“▲▼”で“ページ4”を選びます。

5

①“▶”で項目に移ります。
②“▲▼”で“▭”充電池放電を選びます。
③“▶”を押します。

6

“MENU/OK”ボタンを押します。

7

①“◀▶”で“実行”を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押します。
画面が切り換わり放電が開始されます。電池残量表示が赤点灯から赤点滅になり放電が終了すると、カメラの電源が切れます。

❗放電中に操作を中止したいときは“DISP/BACK”ボタンを押します。

xD-ピクチャーカード™についてのご注意

■ xD-ピクチャーカード について
デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体xD-Picture Card (xD-ピクチャーカード) です。
xD-ピクチャーカード の中には、半導体メモリー(NAND型フラッシュメモリー)が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。

■ファイル保持について
以下の場合、記録したファイルが消滅(破壊)することがあります。記録したファイルの消滅(破壊)については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
＊お客様または第三者が xD-ピクチャーカード の使いかたを誤ったとき
＊カメラやパソコンなどから xD-ピクチャーカード へアクセス中(データ通信中など)にカードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
＊その他、誤った使いかたをしたとき

大切なファイルは別のメディア(MOディスク、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど)にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意
● xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
● xD-ピクチャーカード をカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
● xD-ピクチャーカード の記録中、消去(フォーマット)中は、絶対に xD-ピクチャーカード を取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。 xD-ピクチャーカード が破壊されることがあります。
●指定以外の xD-ピクチャーカード はお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
● xD-ピクチャーカード は精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
●強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
●高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用、保管は避けてください。
● xD-ピクチャーカード の接触面(金色の部分)がゴミや皮脂などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
●保管や持ち運びする場合は専用ケースか専用キャリングケースに入れることをおすすめします。
●静電気を帯びた xD-ピクチャーカード をカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
●ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
●長時間お使いになったあと、取り出した xD-ピクチャーカード が温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
● xD-ピクチャーカード には寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このようなときは新しいものをお買い求めください。
● xD-ピクチャーカード にはラベル類は一切はらないでください。 xD-ピクチャーカード の出し入れの際、故障の原因になります。
●万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しい xD-ピクチャーカード とお取り換えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■ xD-ピクチャーカード をパソコンで使用する場合のご注意
●パソコンで使用したあとの xD-ピクチャーカード を使って撮影する場合、 xD-ピクチャーカード のフォーマットはカメラで行ってください。
● xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
●パソコンで xD-ピクチャーカード のフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。 xD-ピクチャーカード がカメラで使用できなくなることがあります。
● xD-ピクチャーカード 上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
●画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。

xD-ピクチャーカード™の主な仕様

形　　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード xD-Picture Card (xD-ピクチャーカード)
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～+40℃ 湿度 80%以下(結露しないこと)
外形寸法	25mm×20mm×2.2mm (幅×高さ×厚み)

警告表示

▶画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　置
（赤点灯） （赤点滅）	電池の残量が減っている、またはない。	新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
!	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚を使用してください。
!AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	●暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 ●AFロック撮影をしてください。
絞り、シャッタースピード表示（赤点灯）	AE連動範囲外。	適正な明るさ（露出）ではありませんが、撮影できます。
フォーカスエラー **ズームエラー**	カメラが誤作動または故障している。	●レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ●電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カードがありません	xD-ピクチャーカード が入っていない。	xD-ピクチャーカード をセットしてください。
フォーマットされていません	● xD-ピクチャーカード がフォーマット（初期化）されていない。 ● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 ●カメラが故障している。	● xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットしてください。 ● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カードエラー	● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● xD-ピクチャーカード のフォーマットが異常。 ●カメラが故障している。 ● xD-ピクチャーカード が壊れている。	● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
空き容量がありません	xD-ピクチャーカード に空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のある xD-ピクチャーカード を使用してください。
記録できませんでした	● xD-ピクチャーカード と本体の接触異常または xD-ピクチャーカード の異常のため記録できない。 ●撮影した画像が xD-ピクチャーカード の空き容量を超えて記録できない。	● xD-ピクチャーカード を入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●新しい xD-ピクチャーカード を使用してください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットした xD-ピクチャーカード で撮影したため、記録が間に合わなくなった。	カメラでフォーマットした xD-ピクチャーカード をお使いください。
コマNO.の上限です	コマNO.が999-9999に達している。	① フォーマットした xD-ピクチャーカード をカメラにセットします。 ② SET-UPメニューでコマNO.を「新規」にします。 ③ 撮影します（コマNO.が「100-0001」より開始されます）。 ④ SET-UPメニューでコマNO.を「連番」にします。
再生できません	●正常に記録されていないファイルを再生しようとした。 ● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 ●カメラが故障している。 ●本機以外で記録した静止画または動画を再生しようとした。	●再生することはできません。 ● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●再生することはできません。

警告表示

警告表示	警告内容	処　置
枚数制限をこえています	5000枚以上の画像を日付再生しようとした。	5000枚以上の画像は日付再生できません。
プロテクトされています	● プロテクトされているファイルを消去しようとした。 ● プロテクトされているファイルにボイスメモを付けようとした。 ● プロテクトされているファイルを回転しようとした。	● プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。 ● プロテクトしたファイルにボイスメモは付けられません。プロテクトを解除してください。 ● プロテクトしたファイルは回転できません。プロテクトを解除してください。
ボイス再生できません	● ボイスメモファイルが異常。 ● カメラが故障している。	● ボイスメモを再生することはできません。 ● 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
03M トリミングできません **RAW トリミングできません**	0.3Mの画像、RAW設定で撮影した画像をトリミングしようとした。	トリミングはできません。
トリミングできません	● 本機以外で撮影した画像をトリミングしようとした。 ● 画像が壊れている。	トリミングはできません。
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一 **xD-ピクチャーカード** 内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。別の **xD-ピクチャーカード** にプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません **RAW 設定されています** **設定できません**	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとした。	画像の形式上プリント予約できません。
回転できません	動画を回転しようとした。	画像の形式上回転できません。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができなかった。	● USBケーブル（mini-B）の接続を確認してください。 ● プリンターの電源が入っているか確認してください。
プリンターエラー	PictBridgeに関する表示。	● プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 ● プリンターの電源をいったん切ってから、再度入れてください。 ● お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	PictBridgeに関する表示。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は “MENU/OK” ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	PictBridgeに関する表示。	● お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターがJFIF-JPEG、Exif-JPEG形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 ● 本機で撮影したデータですか？ 本機で撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	PictBridgeに関する表示。	● 動画とCCD-RAWはプリントできません。 ● 本機で撮影したデータですか？ 本機で撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。 ●電池が逆に入っている。 ●電池カバーが正しく閉まっていない。 ●長時間、電池とＡＣパワーアダプターを両方とも抜いて放置した。	●新しい電池または充電済みの電池と交換してください。 ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●電池を正しい方向に入れてください。 ●電池カバーを正しく閉めてください。 ●電池を入れて数秒待つ、またはACパワーアダプターを接続して数秒待ってから電源を入れてください。
電源が途中で切れる。	電池が消耗している。	新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●電池の寿命。 ●充電式電池の場合は電池が不活性化している、またはメモリー効果により電池の能力が落ちている。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しい電池と交換してください。 ●充電池放電機能を用いて充電式電池の能力を回復させてください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	● xD-ピクチャーカード が入っていない。 ● xD-ピクチャーカード に空き容量がなく、これ以上記録できない。 ● xD-ピクチャーカード がフォーマットされていない。 ● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● xD-ピクチャーカード が壊れている。 ●オートパワーオフになり、電源が切れた。 ●電池が消耗している。	● xD-ピクチャーカード を入れてください。 ●新しい xD-ピクチャーカード を入れるか、不要なコマを消去してください。 ●カメラでフォーマットしてください。 ● xD-ピクチャーカード の接触面を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しい xD-ピクチャーカード を入れてください。 ●電源を入れてください。 ●新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
フラッシュ撮影ができない。	●フラッシュ充電中にシャッターボタンを押した。 ●電池が消耗している。 ●撮影モードが“Ⓝ、▲”に設定されている。 ●連写が設定されている。 ●フラッシュ設定が“⊛”に設定されている。	●フラッシュの充電が完了してからシャッターボタンを押してください。 ●新しい電池または充電済みの電池と交換してください。 ●撮影モードを変更してください。 ●連写を“OFF”に設定してください。 ●フラッシュ設定を“⊛”以外に設定してください。
フラッシュがポップアップしない。	●フラッシュ設定が“⊛”になっている。 ●フラッシュ撮影の必要がない。	●フラッシュ設定を“⊛”以外にしてください。 ●フラッシュ撮影したい場合はフラッシュ設定を“↯”にしてください。
フラッシュの設定を制限されて選べない。	撮影モードが“AUTO、👪、Ⓝ、▲、☾、S、A、M”に設定されている。	シーンに合わせた設定になるため制限されます。フラッシュの設定を重視するときは撮影モードを変更してください。
フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	●被写体が遠い。 ●フラッシュに指が掛かっている。	●フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。 ●カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●マクロを設定したまま、遠景を撮影した。 ●マクロを設定しないで、近距離を撮影した。 ●オートフォーカスの苦手な被写体を撮影した。	●レンズを清掃してください。 ●マクロを解除してください。 ●マクロを設定してください。 ●AF/AEロックまたは“MF”マニュアルフォーカス撮影をしてください。
画像に点状のノイズがある。	気温が高い環境でスローシャッター（長時間露光）で撮影した。	CCDの特性によるもので故障ではありません。

困ったときは

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
カメラから音が出ない。	●カメラの音量設定が小さくなっている。 ●撮影/録音中にマイクをふさいでいる。 ●再生中にスピーカーをふさいでいる。	●音量を調節してください。 ●撮影/録音時はマイクをふさがないでください。 ●スピーカーをふさがないでください。
1コマ消去でコマが消せない。	コマがプロテクトされている。	プロテクトしたカメラでプロテクトを解除してください。
全コマの消去で、すべてのコマが消せない。		
画面に日本語以外の言語が表示される。	SET-UPの「言語/LANG.」で日本語以外の言語が設定されている。	①“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。 ②“▲▼”を押して“SET”SET-UPを選び、“▶”を押します。 ③“▲▼”で「言語/LANG.」を選択します。 ④“▶”を押します。 ⑤“▲▼”を何回か押して「日本語」に変更します。 ⑥“MENU/OK”ボタンを押します。
テレビに画像、音声が出ない。	●動画再生中に専用A/V(音声/映像)ケーブルを接続した。 ●カメラとテレビの接続が間違っている。 ●テレビの入力が「テレビ」になっている。 ●“NTSC PAL”ビデオ出力が“PAL”になっている。 ●テレビの音量が小さくなっている。	●動画再生を停止させてから、接続し直して再生してください。 ●正しく接続し直してください。 ●テレビの入力を「ビデオ」にしてください。 ●“NTSC”に設定してください(➡P.92)。 ●音量を調節してください。
テレビの画像が黒白になる。	“NTSC PAL”ビデオ出力が“PAL”になっている。	“NTSC”に設定してください(➡P.92)。
PC(パソコン)接続で、カメラの液晶モニターに撮影または再生画面が表示される。	●PCまたはカメラにUSBケーブル(mini-B)が正しく接続されていない。 ●PCの電源が入っていない。	●正しく接続してください。 ●PCの電源を入れてください。
カメラが正常に動作しなくなった。	カメラが予期しない状態になっている。	電池、ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カメラのモードダイヤルを操作しても作動しない。	●カメラの誤作動。 ●電池が消耗している。	●電池、ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。 ●新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
PictBridgeでプリントできない。	SET-UPの“ ”USB設定が“ ⇋”ピクトブリッジになっていない。	SET-UPの“ ”USB設定を“ ⇋”ピクトブリッジにしてください。
USB設定が“ ⇋”のままパソコンに接続した。		下記手順に従いカメラをパソコンから取り外してください。 ●Windowsの場合 ①「新しいハードウェア」(または「スキャナとカメラ」)ウィザードが表示されます。 ウィザードが表示されない場合は、③に進んでください。 ②[キャンセル]ボタンをクリックします。 ③パソコンからカメラを取り外します。 ●Macintoshの場合 ①ドライバを探す画面などが表示されます。 画面が表示されない場合は、③に進んでください。 ②[キャンセル]ボタンをクリックします。 ③パソコンからカメラを取り外します。

主な仕様

システム

型番	FinePix S5200
有効画素数	512万画素
撮像素子	1/2.5型　スーパーCCDハニカムHR　原色フィルター採用　総画素数 522万画素
記録メディア	xD-ピクチャーカード（16MB〜1GB）
記録方式	静止画：DCF準拠 圧　縮：Exif Ver.2.2　JPEG準拠/DPOF対応 非圧縮：CCD-RAW（RAF） 動　画：DCF準拠（AVI形式、Motion JPEG） 音　声：WAVE形式、モノラル
記録画素数（ピクセル）	2592×1944/2736×1824（3:2）/2048×1536/1600×1200/640×480
ファイルサイズ	別表（➡150ページ）に記載
レンズ	名　称：フジノン光学式10倍ズームレンズ 焦点距離：f=6.3mm〜63mm（35mmフィルム換算：約38mm〜約380mm相当） 開放F値：F3.2〜F3.5
デジタルズーム	最大約5.7倍（光学10倍ズームと併用して最大約57倍）
絞り（広角端）	F3.2〜F8（9段）　1/3EVステップ
撮影可能範囲	標　準：[広角] 約90cm〜∞（クイックショット時：約2m〜∞） [望遠] 約2m〜∞（クイックショット時：約4m〜∞） マクロ：[広角] 約10cm〜約2m（クイックショット時：約10cm〜約2m） [望遠] 約90cm〜約2m（クイックショット時：約90cm〜約2m）
撮像感度	AUTO、ISO 64/100/200/400/800/1600
測光方式	TTL64分割測光　マルチ/スポット/アベレージ
露出制御	プログラムAE（“P”モード時：プログラムシフト可能）/ シャッター優先AE/絞り優先AE/マニュアル露出
シーンポジション	（ブレ軽減）/N（ナチュラルフォト）/（人物）/▲（風景）/（夜景）
露出補正	−2EV〜+2EV　1/3EVステップ
シャッタースピード	15秒〜1/2000秒（メカニカルシャッター併用）
連写	連写：最短約0.5秒間隔で最大3コマまで サイクル連写：最短約0.5秒間隔で、シャッターボタンを離した直前の3コマまで 40コマ連写：最短約1.1秒間隔
オートブラケティング	±1/3EV、±2/3EV、±1EV
フォーカス	モード：シングルAF/コンティニュアスAF/マニュアルフォーカス AF方式：TTLコントラストAF、AF補助光付き AFフレーム選択：センター固定AF/オートエリアAF/エリア選択AF（49ポイント）
ホワイトバランス	シーン自動認識オート/ プリセット（晴天/日陰/昼光色蛍光灯/昼白色蛍光灯/白色蛍光灯/電球）/カスタム
セルフタイマー	約10秒/約2秒
フラッシュ	自動ポップアップ式　CCD調光によるオートフラッシュ 撮影可能距離（感度AUTO時）： 広角：約30cm〜約4m 望遠：約80cm〜約4m
フラッシュ発光モード	オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/赤目軽減＋スローシンクロ
ファインダー	0.33型　カラー液晶ファインダー　約11.5万画素（視野率 約100%）、 視度調節機構付き
液晶モニター	1.8型　低温ポリシリコンTFTカラー液晶モニター　約11.5万画素（視野率 約100%）
動画	640×480ピクセル/320×240ピクセル　30フレーム/秒、音声付き（モノラル）、 最長で標準記録時間まで連続記録可能、撮影中のズームはできません。
撮影時機能	クイックショット、アシストウインドウ、フレーミングガイド（ベストフレーミング）、 コマNo.メモリー
再生時機能	トリミング、画像回転、オートプレイ、マルチ再生、日付再生、ヒストグラム表示、 ボイスメモ、高輝度警告表示

主な仕様

システム

その他の機能	PictBridge対応、Exif Print対応、PRINT Image MatchingⅡ対応、言語設定（日本語、英語）、世界時計（時差設定）、ファインピックスフォトモード、充電池放電機能

入・出力端子

ビデオ出力	NTSC/PAL方式（モノラル音声付き）
デジタル入出力	USB2.0 High-Speed
DC入力端子	専用ACパワーアダプター　AC-5VX（別売）

電源部、その他

電源	単3形アルカリ乾電池4本（付属）/単3形ニッケル水素電池4本（別売）

電池作動可能枚数の目安

電池の種類	液晶モニター使用時	液晶ファインダー使用時
単3形アルカリ乾電池 LR6	約250枚	約270枚
単3形ニッケル水素電池 HR-AA（ニッケル水素2500）	約500枚	約540枚

CIPA（カメラ映像機器工業会：Camera & Imaging Products Association）規格による電池寿命測定方法（抜粋）：アルカリ乾電池は付属のものを使用。ニッケル水素電池は富士フイルムイメージング製ニッケル水素電池2500を使用。記録メディアは xD-ピクチャーカード を使用。液晶モニターON、温度（23℃）、30秒毎に1回撮影。撮影ごとに光学ズームを広角側と望遠側で交互に繰り返して端点まで移動し、2回に1回フラッシュをフル発光、10回に1回電源OFF/ONして撮影。

● 注意：アルカリ乾電池の容量やニッケル水素電池の充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示す電池作動可能枚数を保証するものではありません。低温時では電池作動可能枚数が少なくなります。

本体外形寸法	113.5mm×85.0mm×112.0mm（幅×高さ×奥行き）＊突起部含まず
本体質量	約370g（付属電池、 xD-ピクチャーカード 含まず）
撮影時質量	約470g（付属電池、 xD-ピクチャーカード 含む）
動作環境	温度0℃～＋40℃ 湿度80%以下（結露しないこと）

■ xD-ピクチャーカード 標準撮影枚数/記録時間

撮影枚数/記録時間/ファイルサイズは被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数は xD-ピクチャーカード の容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	5M F	5M N	3:2	3M	2M	03M	RAW	動画 640	動画 320
記録画素数	2592×1944（約504万）		2736×1824（約499万）	2048×1536（約315万）	1600×1200（約192万）	640×480（約31万）	—	640×480	320×240
画像1枚のファイルサイズ	2.5MB	1.3MB	1.3MB	780KB	630KB	130KB	11MB	—	—
DPC-16（16MB）	6	12	12	19	25	122	1	13秒	26秒
DPC-32（32MB）	12	25	25	40	50	247	2	27秒	54秒
DPC-64（64MB）	25	50	51	81	101	497	5	55秒	1分49秒
DPC-128（128MB）	51	102	103	162	204	997	11	1分51秒	3分39秒
DPC-256（256MB）	102	204	207	325	409	1997	23	3分43秒	7分19秒
DPC-512/M512（512MB）	205	409	414	651	818	3993	46	7分26秒	14分39秒
DPC-M1GB（1GB）	412	819	830	1305	1639	7995	92	14分54秒	29分20秒

＊仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊レンズの特性により撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

用語の解説

EV
: 露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式
: Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。

FinePix Photo mode（ファインピックスフォトモード）
: 静止画撮影時の記録画像のサイズ変更（ピクセル）、感度変更（感度）、色合い変更（FinePixカラー）および、静止画再生時のプリント枚数等（DPOF）の設定ができるモードです。
FinePixフォトモード“*F*”ボタンを押すことで、設定画面を呼び出し、簡単に設定できます。

JPEG（ジェイペグ）
: Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）
: 画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマットAVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows　：Windows Media Player　＊DirectX8.0以降必要
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

WAVE（ウェイブ）
: 音声を保存するためのWindowsにおける標準フォーマットで、拡張子は“.WAV”です。
記録形式には非圧縮記録と圧縮記録があります。本機では非圧縮記録を採用しています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows　：Windows Media Player
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

スミア
: 撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写るCCD特有の現象。

デジタルズーム
: レンズを動かすことで、被写体を拡大して撮影する光学ズームとは異なり、カメラの内部処理で被写体を大きく見せて撮影する機能です。光学ズームと併用すると、より大きく撮影することができますが、撮影された画像の画質は劣化します。

不活性
: ニッケル水素電池は、長期間使用しないで保管されていたとき、電池内部に電気が流れにくい物質が増加し休眠状態になる場合があります。このような電池の状態を不活性と呼びます。
不活性状態のニッケル水素電池は電気が流れにくいため本来の電池性能を発揮することができない場合があります。

フレームレート
: フレームレートとは1秒間に撮影または再生される画像の数（コマ数）を表す単位で、例えば1秒間に10コマを連続して撮影している場合は10フレーム/秒と記します。
参考　テレビは約30フレーム/秒です。

ホワイトバランス
: 人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。

メモリー効果
: ニッケル水素電池を最後まで使い切らないで充電する操作を繰り返すと、本来の電池性能が低下する場合があります。このような現象をメモリー効果と呼びます。

索　引

この索引の使い方

●この索引は、カメラ編とソフトウェア編を別々に記載しています。カメラ本体については、カメラ編を、FinePixViewerについては、ソフトウェア編を参照してください。

●目的のページを探すには？

◆一覧表リスト◆

カメラ編

アイコン（抜粋）

詳細は本文をご参照ください。

索　引

ソフトウェア編

◆一覧表リスト◆

ソフトウェアのお問い合わせの前に…

1 次のような方法で調べることができます。

インストール

本書を読みながら、インストールしてください。

FinePixViewerの使い方

「ヘルプ」メニューの「FinePixViewerの使い方」をクリックして、使い方を調べることができます。

エラーメッセージの意味

トラブルシューティング（➡135、136ページ）をご参照ください。

コンピュータ用語

・本書の用語解説（➡107ページ）をお読みください。
・インターネットで、「コンピュータ用語」を検索してください。

パソコンの操作方法

Windows：「スタート」メニューの「ヘルプ」から調べることができます。
Macintosh：Mac OS（Finder）の「ヘルプ」メニューの「Mac ヘルプ」から調べることができます。

2 富士写真フイルム製品Q&A・お問い合わせ（http://fujifilm.jp/support/dc/index.html）、またはインターネットメニューの「サポート登録変更」から、ホームページで調べてください。

＊「サポート」をご利用いただくには画像ネットサービスへのユーザー登録が必要です。

3 FAX、電話でお問い合わせください。
より早く正確な回答のために、157ページのご質問用紙にご記入の上、下記の情報もご用意ください。

・カメラの機種名
・FinePixViewerのバージョンまたはCD-ROMのタイトル
・エラーメッセージ
・どのようなときにトラブルが発生しますか？/トラブルが発生する直前の操作は？/カメラの状態は？/トラブルが発生する頻度は？

ソフトウェアのお問い合わせは

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

●ImageMixer VCD2 LE for FinePixに関するお問い合わせは…
　ピクセラユーザーサポートセンター　TEL：06-6633-3900
　ピクセラホームページ　http://www.imagemixer.com/

●FinePixViewerに関するお問い合わせは…

── 富士写真フイルム製品Q&A・お問い合わせ ──

・弊社ホームページ…http://fujifilm.jp/support/dc/index.html
・富士フイルムFinePixサポートセンター

市内通話料でOK
0570-00-1060
※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・ＰＨＳ・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は
TEL：0424-81-1673

（月曜日～金曜日　午前 9:00～午後5:40　土曜日　午前10:00～午後5:00　日・祝日・年末年始を除く）
ファクスをご利用の場合は…FAX：0424-81-0162
（24時間受付：返信対応は電話の受付時間と同一です）
※予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ご質問用紙

FAXでのお問い合わせは、この「ご質問用紙」をA4サイズにコピーして、質問事項および使用環境を詳しくお書きください。ボールペン、サインペンで楷書にてお書きください。

フリガナ お 名 前			
ご 住 所	〒		
電 話 番 号	(　　　)　　　－	ファクス番号	(　　　)　　　－
E-mail			
ご記入日	年　　月　　日		
カメラの機種名			
FinePixViewerのバージョン またはCD-ROMのタイトル			
コンピュータ機種名		OSバージョン	
メ モ リ 容 量	MB	ハードディスク容量	GB
接 続 機 器 名		そ　の　他	
エラーメッセージなど			
ご質問内容			

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保障期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店またはサービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■調子が悪い時はまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。
使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePixサポートセンターへお問い合わせください。電話番号が裏表紙に記載されています。

■故障と思われるときは

当社サービスステーションに修理をご依頼ください。サービスステーションのリストが裏表紙に、主なサービスステーションの地図が次のページにあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。なお、集配ルートの都合上、サービスステーションに直接ご依頼いただくと、お預かりの期間は短くなります。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下·衝撃、砂·泥かぶり、冠水·浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 8 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

■修理に関する情報は

- 修理サービスQ&A

http://www.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html
修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

- 修理納期検索サービス

http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp
東京もしくは大阪のサービスステーションに修理依頼品を送付あるいは持込された場合、修理完了予定日を検索することができます。

- FinePix修理概算見積サービス

http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php
当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePixサポートセンター等のお問合せ先、あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

アフターサービスについて

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

●FinePixクイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが3日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。
  【クイックリペアサービス申し込み先】
  インターネット：
  http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php
  電話：　03-3436-2224
  ファクス：　03-3431-3470
  申し込みに際し、161ページの「個人情報の取扱について」をご確認下さい。
- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●FinePix特急30分修理（持込修理）

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです

- サービスステーションは下記７箇所です。

東京 大阪 名古屋	下記地図を参照下さい。
札幌 仙台 広島 福岡	当社ホームページ http://fujifilm.jp/ をご覧ください。

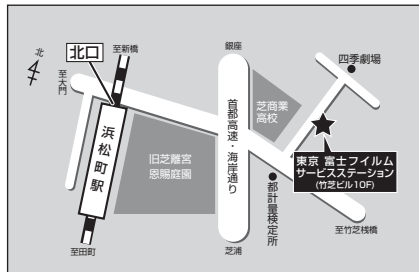
- 専任技術者が対応しますので、その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引取り時にサービスステーション窓口でお支払い下さい。

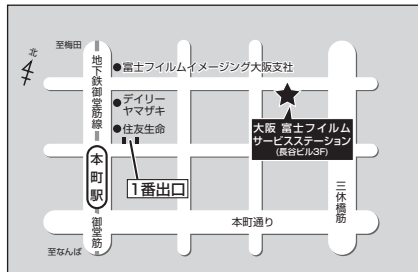
●サービスステーションへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●お買上店への持込修理

- 修理料金及びその支払方法については、お持ちいただいたお店にご確認下さい。

★東　京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分
TEL（03）3436-1315

★大　阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分
TEL（06）6260-0915

FinePix S5200 修理依頼票

※予め161ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。
※本紙は拡大コピーしてお使いください。※下表の□は、該当する項目にチェック（✓）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		FAX番号	
ご住所	〒　　―		

ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある8桁の番号です。 修理お問合せ時にご連絡ください。	No.

修理品への添付	□保証書　・　□xD-ピクチャーカード　・　□電池
□（　　　　）	□（　　　　）
□（　　　　）	□（　　　　）
見積	□要（修理金額　　　　円以上見積り）　・　□不要
見積連絡方法	□電話　・　□FAX
故障症状（故障時の様子）	
ご購入時期	20　　年　　月
修理履歴	□初回　・　□再依頼（□同一症状　・　□別症状）
発生状況：発生頻度	□開始時のみ・□いつも　・　□時々（　　日に　　回）
発生状況：動作モード	□再生時　・　□撮影時　・　□ショックを与えると
発生状況：他機との接続	□無　・　□有（接続機　　　　）
発生状況：使用電源	

★名古屋：富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分
TEL（052）202-1851

【受付時間】
東京・大阪・名古屋：
月～金　9：00～17：40
土　10：00～17：00
日・祝日・年末年始を除く

札幌・仙台・広島・福岡：
月～金　9：00～12：00
13：00～17：40
土・日・祝日・年末年始を除く

● 地図は、当社ホームページ http://fujifilm.jp/をご覧ください。

富士写真フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムFinePixサポートセンター

ナビダイヤル

0570-00-1060 / 携帯電話・PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は 0424-81-1673

市内通話料金でご利用いただけます

月曜日～金曜日 午前9：00～午後5：40 土曜日 午前10：00～午後5：00 日・祝日・年末年始を除く

FAX 0424-81-0162

受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

※予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/ または http://www.finepix.com/

弊社ホームページの自己解決に役立つ「Ｑ＆Ａ検索」もご利用ください。

●修理の受付は…

富士フイルムサービスステーションではお客様の利便性向上のため、各種の修理サービスを用意しております。
お気軽にご利用ください。

サービスステーション名および住所・電話番号			
東京	〒105-0022	東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル 10F	(03)3436-1315
大阪	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル3F	(06)6260-0915
名古屋	〒460-0008	名古屋市中区栄1-12-19	(052)202-1851
札幌	〒060-0002	札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館 3F	(011)222-3973
仙台	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル 1F	(022)265-2149
広島	〒732-0816	広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター 11F	(082)256-3511
福岡	〒812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1 富士フイルム 福岡ビル 3F	(092)281-4863

■お急ぎの場合は、全国どこからでも

【FinePix クイックリペアサービス】：お預かりからお届け迄が3日の宅配修理サービス

■お近くにサービスステーションがあれば

【FinePix 特急修理30分】：30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00）TEL 03-3406-2982

FPT-507107-PW